

目黒区美術館年報 平成30(2018)・31/令和元(2019)・2(2020)年度

目黒区美術館年報

平成30(2018)・平成31/令和元(2019)・令和2(2020)年度

I 展覧会

没後50年 藤田嗣治 本のしごと —文字を装う絵の世界

会期：2018年4月14日(土)～6月10日(日) 50日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

監修：林洋子(美術史家)

企画協力：株式会社キュレイターズ

入場者数：10,834人

担当学芸員：佐川タ子

巡回：西宮市大谷記念美術館(2018年1月13日～2月25日)

ベルナール・ビュフェ美術館(2018年6月23日～10月30日)

東京富士美術館(2018年12月15日～2019年2月24日)



1913年に渡仏し、1920年代に発表した乳白色の肌をもった裸婦像が高い評価を得、フランスで画家としての地位を確立した藤田嗣治は、絵画制作と並行して書籍や雑誌の装幀・挿絵を生涯にわたり数多く手がけている。本展は、その藤田の「本のしごと」に着目し、戦前のフランスで発行された挿絵本を中心に、1930年代から40年代の日本での出版に関わる仕事、1950年フランスに移住した後に出版された大型豪華本などを一堂に展覧した。挿絵本の創作につながるものとして、藤田が家族や友人に送った直筆の絵葉書や絵手紙も取り上げ、藤田の紙の上での多彩な表現を紹介した。さらに、巡回館各館が所蔵する藤田の絵画作品(油彩画、水彩画、版画等)と当館所蔵の旧シャーマン・コレクションから陶器や木製玩具、テーブルなど、藤田の手仕事を感じられる稀少な作品も展示し、藤田の幅広い創作活動を紹介した。

●カタログ

サイズ：21.0×14.9cm/320ページ/装幀2種

デザイン：高橋善吉、久禮綾香(広告丸)/発行：株式会社キュレイターズ

内容：

ごあいさつ | 「藤田嗣治 本のしごととその周辺」展に寄せて一紙の上の創作としての「装本」と「手紙」[林洋子] | 序章 絵と言葉への前奏曲 / 藤田嗣治の書簡(1) — 澤宛の絵葉書と妻とみへの手紙 [佐川タ子] | 1章 パリでの出版 | 2章 日本での本に関わる仕事と様々な制作 / 藤田嗣治と阪神間の芸術家たち [下村朝香] / 藤田嗣治の書簡(2) — 1949年のフランク・シャーマン宛の絵手紙 [佐川タ子] | 3章 戦後フランスでの出版 | 4章 藤田嗣治と猫 / 藤田の挿絵本と猫 [松岡佳世] / フランスの挿絵本文化と藤田 [松岡佳世] | 藤田嗣治 略年譜

●広報印刷物

ポスター B2/チラシ A4

デザイン：高橋善吉、久禮綾香(広告丸)

●関連催事

1. 特別講演会「藤田嗣治—〈絵〉と〈言葉〉」

講師：矢内みどり(美術史家)/開催日：4月22日(日)/会場：当館1階ワークショップ/参加者：84人

2. ギャラリートーク

ナビゲーター：佐川タ子(当館学芸員)/開催日：4月29日(日)/参加者：34人

3. 大人のための美術カフェ

ナビゲーター：佐川タ子(当館学芸員)/開催日：5月12日(土)/参加者：43人

●主要関連記事

1. 小林真理『没後50年 藤田嗣治 本のしごと』展』『公明新聞』2018年5月9日

2. 岡田俊則「藤田嗣治の挿絵を堪能する機会」『すこやか健保』2018年4月号

3. 『monoマガジン』No.833 2018年

4. 『Discover Japan』2018年5月号

5. 『Art Collector's』2018年5月号

6. 『UOMO』2018年6月号

目次

I 展覧会

【平成30(2018)年度】	没後50年 藤田嗣治 本のしごと一文字を装う絵の世界	4
	フィンランド陶芸 一芸術家たちのユートピア	9
	村上友晴 一ひかり、降りそそぐ	14
	めぐろの子どもたち展	16
	目黒区美術館コレクション展 コレクションのく現在 いま —絵画・彫刻・版画 特集展示：鈴木省三の絵画	17
【平成31/令和元(2019)年度】	世紀末ウィーンのグラフィック デザインそして生活の刷新にむけて	20
	太田喜二郎と藤井厚二 日本の光を追い求めた画家と建築家	28
	めぐろの障がい者アート展 日々のよろこび	33
	線の迷宮〈ラビリンス〉Ⅲ 齋藤芽生とフローラの神殿	36
	めぐろの子どもたち展	40
	目黒区美術館コレクション展 越境者たち Beyond the Borders 同時開催：山下新太郎のファミリーポートレート	41
【令和2(2020)年度】	あそぶひと 一人形と子どもの暮らし	44
	目黒区美術館コレクション展 LIFE 一コロナ禍を生きる私たちの命と暮らし	52
	視ることの楽しみ 一画材と素材の引き出し博物館	57
	前田利 とし 為 春雨に真珠をみた人 一前田家の近代美術コレクション	61
	包む 一日本の伝統パッケージ 【令和3(2021)年度に延期】	
	障がいのあるアーティストによる作品展 日々のよろこび2020 【令和3(2021)年度に延期】	
	めぐろの子どもたち展 【中止】	64

II 教育普及事業

(1) ワークショップ活動

【平成30(2018)年度】	1. ワークショップ夏「自然のモチーフで遊ぶ」	65
	2. ワークショップ春「美術を見る・知るⅣ」	66
【平成31/令和元(2019)年度】	1. ワークショップ夏「建築教室 一光と遊ぶ」	66
	2. ワークショップ春「からだのワークショップ：からだを動かす・見つめる」【中止】	67
【令和2(2020)年度】	1. ワークショップ夏 【中止】	68
	2. ワークショップ春「離れてあそぶ初めての うちんち! ワークショップ」	68
(2) アウトリーチ・トイの日		69
(3) ギャラリーツアー		69
(4) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー		70
(5) デザインキャンプ		70
(6) 美術講座		71
(7) めぐろオータムアート		71
(8) その他		72

III 新収蔵作品	73
IV 作品等貸出	83
V 刊行物	86
VI 入館状況	87
VII 区民ギャラリー	90
VIII ボランティア	94
IX 博物館実習	95
X 名簿	96
XI 施設	97
XII 沿革	98
XIII 案内	98

出品リスト

凡例

・出品作品について、章ごとに分けて記載した。

・作品のデータは以下の順に記載した。

作品＝出品番号 | 作品名・作品名の欧文表記 | 制作年 | 技法・材質 | 所蔵

書籍＝出品番号 | 書名(外国語書の場合は欧文表記も) | 発行年 | 著者等 | 出版社 | 所蔵

・書籍や版画など所蔵先が複数あるものについて、作品保護の為に当館では展示しなかった所蔵先のものも併記した。

・所蔵表記のうち、目黒区美術館蔵の旧シャーマン・コレクションのものには館名の後に「※」印を付した。

No. 作品名(書名) | 制作年(発行年) | 技法・材質/著者等 | (書籍については)出版社 | 所蔵

■序章 絵と言葉への前奏曲

- 序-01 接吻 Baiser | 1904年 | 水彩・紙 | 目黒区美術館
- 序-02 葉書(澤登治宛) 12点 | 1905-06年 | 水彩・紙 | 目黒区美術館
- 序-03_1 妻とみに宛てた書簡 1914年 2月27日パリ | 1914年 | 水彩・紙 | 公益財団法人平野政吉美術財団
- 序-03_2 妻とみに宛てた書簡 1914年 2月27日パリ | 1914年 | 水彩・紙 | 公益財団法人平野政吉美術財団
- 序-03_3 妻とみに宛てた書簡 1914年 3月11日パリ | 1914年 | 水彩・紙 | 公益財団法人平野政吉美術財団
- 序-04 赤毛の女 Rousse | 1917年 | 水彩・紙 | 目黒区美術館
- 序-05 断崖の若いカップル Jeune Couple devant | 1917年 | 油彩・キャンバス | ベルナル・ビュフェ美術館

■1章 パリでの出版

- 1-01 『詩数篇』 Quelques poèmes | 1919年 | 小牧近江著 | ラ・ベル・エディション社刊 | 東京富士美術館、北海道立近代美術館
- 1-02 『レ・レトル・パリジェンヌ』 Les Lettres Parisiennes | 1919年 | ジャシント・グロウ寄稿、ジョルジュ・ピュマン編集 | 出版社名不明 | 東京富士美術館
- 1-03 『アマルと王の手紙』 Amal et la lettre du roi | 1922年 | ラビンドラナート・タゴール著(アンドレ・ジッド訳) | リュシアン・ヴォーゲル社(版権:ガリマール社)刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館
- 1-04 『東方所説』 Connaissance de l'Est | 1925年 | ポール・クロデル著 | ジョルジュ・クレ社刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館
- 1-05 『ボール王の冒険』 Les aventures du Roi Pausole | 1925年 | ビエール・ルイス著 | アルテム・ファイアル社刊 | 東京国立近代美術館、目黒区美術館、個人蔵
- 1-06 『イマジエ』 L'Imagier | 1927年 | 創作木版協会刊 | ベルナル・ビュフェ美術館
- 1-07 『世界平和(平和への寄せ書き)』 Pax Mundi (Livre d'or de la paix) | 1932年 | S.E. ポール・イマンス序文 | パクスユニス協会刊 | 東京富士美術館
- 1-08 『ヴァニコロ』 Vanikoro | 1923年 | リュシアン・ファール著 | 新フランス評論社(NRF)刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館
- 1-09 『オリンピック競技』 Jeux Olympiques | 1925年 | ジェオ・シャルル著 | 新フランス評論(NRF)刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館
- 1-10 『おまえは私を好きになる(三幕の喜劇)』 Tu m'aimeras... (comédie en trois actes) | 1926年 | クロード・ダジール著 | ボーディニエール出版刊 | 東京富士美術館、ベルナル・ビュフェ美術館
- 1-11 『嫉妬の詩』 Poèmes de jalousie | 1926年 | クレール & イワン・ゴル著 | ジャン・ビュドリ商会刊 | 東京富士美術館
- 1-12 『突風』 Coupe de vents | 1926年 | ジュオザス・ティスリャヴァ著(H. イズデブスカ訳) | 東京国立近代美術館
- 1-13 『スパードの犬(現代版画集より)』 自画像 Le chien de pique (anthologie de l'estampe moderne) | 1927年 | トリスタン・ベルナル寄稿、ヨゼフ・ケスノル編集 | プ・キ・グランプ社刊 | 東京富士美術館、ベルナル・ビュフェ美術館(本図のみ)、目黒区美術館(本図のみ)
- 1-14 『ムッシューU』 Mr.U | 1927年 | ポール・モラン著 | カイエ・リーブル出版刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館
- 1-15 『ピブラック』 Pybrac | 1927年 | ビエール・ルイス著 | シテール・オ・コック・アリディ社刊 | 東京富士美術館
- 1-16 『平行棒』 Barres Parallèles | 1927年 | ミシェル・ヴォケール著 | フランソワ・ベルヌアル印刷刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館、目黒区美術館
- 1-17 『アンドレ・ジッド』 André Gide | 1928年 | ポール・ヴァレリーほか | キャピトル出版刊 | 東京富士美術館
- 1-18 『獣一党』 Bêtes & Cie | 1928年 | アンリ・ショーメ著 | クラ・エディション社刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館、目黒区美術館
- 1-19 『フジタ』 Foujita | 1924年頃 | ミシェル・ヴォケール著 | ジョルジュ・クレ社刊 | 国立新美術館、個人蔵
- 1-20 『フジタ』 Foujita | 1928年 | ポール・モランほか著 | クロニック・ド・ジュール出版刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館、目黒区美術館
- 1-21 『エロスの愉しみ』 Les divertissements d'Eros | 1927年 | ジャック・ブランドジョン＝オッフエンバック著 | アンリ・バルヴィル刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館
- 1-22 『愛の園』 Le Verger des Amours | 1924年 | ギョーム・アポリネール著 | モナコ刊 | 東京富士美術館
- 1-23 『タブロー・ド・パリ』 Tableaux de Paris | 1927年 | ポール・ヴァレリーほか | エミール＝ポール・フレール社刊 | 東京富士美術館、目黒区美術館
- 1-24 『キキ回想録』 Kiki, Souvenirs | 1929年 | キキ著 | アンリ・プロカ刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館
- 1-25 『モンパルナスの芸術家たち』 Les Montparnos | 1929年 | ミシェル・ジョルジュ＝ミシェル著 | ファスケル出版刊 | 東京富士美術館、目黒区美術館
- 1-26 『モンパルナスの夜と憂愁』 Les nuits et les ennuis du Mont-Parnasse | 1929年 | ルシアン・アレシー著 | ジョーグ社刊 | 東京富士美術館
- 1-27 『国民美術協会における日本美術展』 Exposition d'art japonais au Salon de la Société Nationale des Beaux-Arts | 1922年 | アベユ・ドール社刊 | 個人蔵
- 1-28 『日本昔噺』 Légendes Japonaises | 1923年 | 藤田嗣治編集・訳、クロード・ファレル序文 | アベユ・ドール社刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館、目黒区美術館、個人蔵
- 1-29 『芸者のうた』(豪華版) Chansons des Geishas | 1926年 | エミール・スタインベル＝オーベルラン、岩村秀武著 | ジョルジュ・クレ社刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館、目黒区美術館
- 1-30 『芸者のうた』(普及版) Chansons des Geishas | 1926年 | エミール・スタインベル＝オーベルラン、岩村秀武著 | ジョルジュ・クレ社刊 | 目黒区美術館、個人蔵
- 1-31 『日本の心をおとずれるまなざし』 Un coup d'oeil sur l'âme japonaise | 1923年 | ポール・クロデル著 | 新フランス評論社(NRF)刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館

No.	作品名(書名)	制作年(発行年)	技法・材質／著者等	(書籍については)出版社	所蔵
1-32	『朝日の中の黒鳥』 L'Oiseau noir dans le soleil levant	1927年	ポール・クローデル著	エクセルシオール出版刊	東京国立近代美術館、東京富士美術館、目黒区美術館、個人蔵
1-33	『お菊さん』 Madame Chrysanthème	1926年	ビエール・ロティ著	エクセルシオール出版刊	東京富士美術館、目黒区美術館
1-34	『お梅が三度目の春』 La troisième jeunesse de Madame Prune	1926年	ビエール・ロティ著	ドウヴァンベス美術出版刊	東京富士美術館、目黒区美術館
1-35	『御遠足』 L'honorable partie de campagne	1927年	トマ・ローカ著	ガリマール社刊	東京富士美術館、目黒区美術館
1-36	『御遠足』 L'honorable partie de campagne	1958年	トマ・ローカ著	フランス書籍クラブ刊	東京国立近代美術館、個人蔵
1-37	『八景』 Les huit renommées	1927年	キク・ヤマタ著	アンドレ・デルブーク出版刊	〈特装本〉東京国立近代美術館、東京富士美術館、〈普及本〉東京国立近代美術館、目黒区美術館、個人蔵
1-38	『静御前』 Shizouka, Princesse Tranquille	1929年	キク・ヤマタ著	M-P. トレミア刊	東京富士美術館、ベルナール・ビュフェ美術館
1-39	『千の黄金の花弁をもつ花』 La fleur aux mille pétales d'or	1930年	リュシアン・グロー博士著	アボロ社刊	東京国立近代美術館、目黒区美術館
1-40	『芭蕉とその弟子のハイカイ』 Haikai de Bashō et de ses disciples	1936年	松尾芭蕉ほか計9人著(松尾邦之助、エミール・スタインシルベル＝オーベルラン訳・解説)	財団法人国際文化振興会刊	東京国立近代美術館、東京富士美術館、目黒区美術館、個人蔵
1-41	『中毒に就て』 Propos d'un intoxiqué	1929年	ジュール・ボワシエール著	ジャヴァル&ブルドー刊	東京富士美術館
1-42	『マリア・ラニ』 Maria Lani	1929年	ジャン・コクトー、マック・ラモほか著	カトル・シュマン出版刊	東京富士美術館
1-43	『現代美術におけるスウェーデン・バレエ』 Les Ballets Suédois dans l'Art contemporain	1931年	ミシェル・フォーキン、アルゴ・ハクヴィニウス、ロルフ・ドゥ・マレほか著	トリアノン出版刊	東京富士美術館
1-44	『イメージとたたかひ』 Combat avec l'image	1941年	ジャン・ジロドゥー著	エミール＝ポール・フレール出版刊	東京国立近代美術館、東京富士美術館
1-45	動物群 Animaux	1924年	油彩・キャンバス		目黒区美術館
1-46	裸婦 Femme nue	1923-24年	エッチング・紙		目黒区美術館※
1-47	裸婦と猫 Femme nue et Chat	1927年頃	カルコグラフィ・紙		目黒区美術館※
1-48	自画像 Autoportrait	1927年頃	カルコグラフィ・紙		目黒区美術館
1-49	少年像 Portrait de Garçon	1929年頃	銅版・紙		目黒区美術館※
1-50	横たわる裸婦 Femme nue allongée	1920-29年	銅版・紙		目黒区美術館※
1-51	立っている裸婦 Femme nue debout	1929年	銅版・紙		目黒区美術館※
1-52	静物(糸巻) Nature morte (Bobines)	1926-29年	銅版・紙		目黒区美術館※
1-53	静物(インク壺) Nature morte (Encrier)	1926-29年	銅版・紙		目黒区美術館※
1-54	10人の子どもたち Dix Enfants	1924年	油彩・キャンバス		目黒区美術館
1-55	裸婦(キキ・ド・モンパルナス) Femme nue (Kiki de Montparnasse)	1929年	鉛筆・紙		目黒区美術館

■2章 日本での本に関わる仕事と様々な制作

2-01	『巴里の横顔』	1929年	藤田嗣治著	実業之日本社刊	東京国立近代美術館、目黒区美術館、個人蔵
2-02	『わが最終歌集』	1929年	岡本かの子著	改造社刊	個人蔵
2-03	『表皮は動く。』	1930年	北村兼子著	平凡社刊	個人蔵
2-04	『地球一遊』	1930年	北村兼子著	改善社刊	個人蔵
2-05	『パラマウント・ピクトリアル』昭和5年9月号	1930年		芝蘭館刊	個人蔵
2-06	『柳や』第39号小唄の巻	1930年	柳屋画廊刊		個人蔵
2-07	『暮春詩集』	1934年	阪本越郎著	金星堂刊	東京国立近代美術館、個人蔵
2-08	『母の手』	1934年	レオン・フラビエ著(深尾須磨子訳)		個人蔵
2-09	『蚤の市』	1935年	石黒敬七著	岡倉書房刊	個人蔵
2-10	『三つの声』	1935年	ポール・クローデル著(長谷川善雄訳)	立命館出版部刊	個人蔵
2-11	『東邦所説』	1936年	ポール・クローデル著(長谷川善雄訳)	立命館出版部刊	個人蔵
2-12	『マリウス』	1938年	マルセル・パニョル著(永戸俊雄訳)	白水社刊	個人蔵
2-13	『回想の巴里』	1947年	柳澤健著	酣灯社刊	個人蔵
2-14	『あの巴里この巴里』	1949年	柳澤健著	酣灯社刊	個人蔵
2-15	『旅愁』	1937年	横光利一著	東京日日新聞、大阪毎日新聞刊	個人蔵
2-16	『紀行世界図絵』	1936年	柳澤健著	岡倉書房刊	個人蔵
2-17	『インドシナ詩集』 Poésies indochinoises	1942年	森三千代著	明治書房刊	東京国立近代美術館、個人蔵
2-18	『腕一本』	1936年	藤田嗣治著	東邦美術協会刊	〈特装本〉東京国立近代美術館、〈普及本〉東京国立近代美術館、西宮市大谷記念美術館、目黒区美術館、個人蔵
2-19	『随筆集 地を泳ぐ』	1942年	藤田嗣治著	書物展望社刊	〈特装本〉東京国立近代美術館、〈普及本〉目黒区美術館、個人蔵
2-20	『巴里の星と夜』	1948年	柳澤健著	世界の日本社刊	東京国立近代美術館
2-21	『支那事変 北支の巻』	1937年	山本夷彦著	改造社刊	個人蔵
2-22	『戦線』	1938年	林芙美子著	朝日新聞社刊	個人蔵
2-23	『還らぬ中隊』	1939年	丹羽文雄著	中央公論社刊	個人蔵
2-24	『ノロ高地』	1941年	草葉栄著	鱗書房刊	個人蔵
2-25	『写真週報』1941年7月2日号	1941年	高島正雄著	情報局刊	個人蔵
2-26	『バルシヤガル草原』	1942年	高島正雄著	鱗書房刊	個人蔵
2-27	『海軍魂』	1942年	植村茂夫著	東水社刊	西宮市大谷記念美術館
2-28	『友を語る』	1938年	東京日日新聞社文学部編	東京日日新聞社・大阪毎日新聞社刊	個人蔵

No. 作品名(書名) | 制作年(発行年) | 技法・材質／著者等 | (書籍については)出版社 | 所蔵

- 2-29 『女流作家』1939年 | 美川きよ著 | 中央公論社刊 | 個人蔵
- 2-30_1 『北海の漁夫』(新日本文藝叢書) | 1942年 | 沙和宋一著 | 錦城出版社刊 | 個人蔵
- 2-30_2 『春の門』(新日本文藝叢書) | 1942年 | 打木村治著 | 錦城出版社刊 | 個人蔵
- 2-31 『白蘭』 | 1943年 | 岡田八千代著 | 大元社刊 | 個人蔵
- 2-32 『霞菊の館』 | 1944年 | 西條八十著 | 同盟出版社刊 | 個人蔵
- 2-33 『東京ロマンス』 | 1946年 | アーネスト・ホープライト著(大久保康雄訳) | コバルト社刊 | 個人蔵
- 2-34 『落葉日記』 | 1947年 | 岸田國士著 | 大地書房刊 | 個人蔵
- 2-35 『紫足の娘』 | 1947年 | 佐多稲子著 | 大泉書店刊 | 個人蔵
- 2-36 『ミシシッピ川のたんけん』 | 1947年 | 波多野完治著 | 国立書院刊 | 個人蔵
- 2-37 『婦人之友』1935年1月号～12月号 | 1935年 | 婦人之友社刊 | 個人蔵
- 2-38_1 『ホーム・ライフ』1936年9月号 | 1936年 | 大阪毎日新聞社・東京日日新聞社刊 | 個人蔵
- 2-38_2 『ホーム・ライフ』1936年11月号 | 1936年 | 大阪毎日新聞社・東京日日新聞社刊 | 個人蔵
- 2-38_3 『ホーム・ライフ』1936年12月号 | 1936年 | 大阪毎日新聞社・東京日日新聞社刊 | 西宮市大谷記念美術館
- 2-38_4 『ホーム・ライフ』1937年1月号 | 1937年 | 大阪毎日新聞社・東京日日新聞社刊 | 西宮市大谷記念美術館
- 2-38_5 『ホーム・ライフ』1937年2月号 | 1937年 | 大阪毎日新聞社・東京日日新聞社刊 | 西宮市大谷記念美術館
- 2-38_6 『ホーム・ライフ』1937年3月号 | 1937年 | 大阪毎日新聞社・東京日日新聞社刊 | 個人蔵
- 2-38_7 『ホーム・ライフ』1937年4月号 | 1937年 | 大阪毎日新聞社・東京日日新聞社刊 | 個人蔵
- 2-38_8 『ホーム・ライフ』1937年6月号 | 1937年 | 大阪毎日新聞社・東京日日新聞社刊 | 山鬼文庫
- 2-38_9 『ホーム・ライフ』1937年7月号 | 1937年 | 大阪毎日新聞社・東京日日新聞社刊 | 個人蔵
- 2-39 『スタイル』1936年6月創刊号 | 1936年 | スタイル社刊 | 個人蔵
- 2-40 『文藝春秋』昭和11年4月特別号 | 1936年 | 文藝春秋社刊 | 個人蔵
- 2-41 『文藝春秋』昭和16年新年特別号 | 1941年 | 文藝春秋社刊 | 個人蔵
- 2-42 『新美術』1943年3月号 | 1943年 | 春島会刊 | 個人蔵
- 2-43_1 『女性』1946年1月号 | 1946年 | 新生社刊 | 個人蔵
- 2-43_2 『女性』1946年7月号 | 1946年 | 新生社刊 | 個人蔵
- 2-43_3 『女性』1946年9月号 | 1946年 | 新生社刊 | 個人蔵
- 2-43_4 『女性』1946年10月号 | 1946年 | 新生社刊 | 個人蔵
- 2-44 『婦人公論』1947年1月号 | 1947年 | 中央公論社刊 | 個人蔵
- 2-45 『人間』1947年6月号 | 1947年 | 鎌倉文庫刊 | 個人蔵
- 2-46 『ヨーロッパ』第1巻第1号 | 1947年 | 鎌倉文庫刊 | 個人蔵
- 2-47 腕をあげる裸婦 Nude Raising Her Arm | 1932年 | 墨、水彩、パステル・紙 | 西宮市大谷記念美術館
- 2-48 メキシコの少年 Garçons Mexicains | 1933年 | 水彩・紙 | 目黒区美術館*
- 2-49 自画像、猫、犬 Autoportrait | 1934年 | デッサン | ベルナル・ビュフェ美術館
- 2-50 キス・ミー(人形、頭) Kiss Me (Poupées, Têtes) | 1946年 | 彩色、木 | 目黒区美術館*
- 2-51 キス・ミー(人形、全身) Kiss Me (Poupées, Pied) | 1946年 | 彩色、木 | 目黒区美術館*
- 2-52 顔(8枚組絵皿) Visages (Assortiment de 8 Assiette) | 1948年頃 | 陶器 | 目黒区美術館*
- 2-53 エッフェル塔(皿) Tour Eiffel (Assiette) | 1948年頃 | 陶器 | 目黒区美術館*
- 2-54 アダムとイブ(皿) Adam et Eve (Assiette) | 1948年頃 | 陶器 | 目黒区美術館*
- 2-55 燭台女(壺) Femme de Chandelier (Pot) | 1948年頃 | 陶器 | 目黒区美術館*
- 2-56 猫とねずみ Chat et Rat (Assiette) | 1948年頃 | 陶器 | 目黒区美術館*
- 2-57 円形テーブル Table Ronde | 制作年不詳 | 象嵌、木 | 目黒区美術館*
- 2-58 トランク(遺品) Valise (Objet Laisse) | 制作年不詳 | 目黒区美術館*
- 2-59 シャーマン氏像 Monsieur Sherman | 1947年 | 水彩、紙 | 目黒区美術館*
- 2-60 書簡(フランク・シャーマン宛)[複製34枚] | 1949年 | インク、水彩、色鉛筆・紙 | 目黒区美術館*
- 2-61 グッバイ、ニューヨーク Good-By New York | 1950年 | 木版、コラージュ・紙 | 目黒区美術館*

■3章 戦後フランスでの出版

- 3-01 『魅せられたる河』 La Rivière enchantée | 1951年 | ルネ・エロンド・ヴィルフォス著 | ベルナル・クライン刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館
- 3-02 『海龍』 Le Dragon des Mers | 1955年 | ジャン・コクトー著 | ジョルジュ・ギョ社刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館、目黒区美術館、ベルナル・ビュフェ美術館、個人蔵
- 3-03 『しがない職業と少ない稼ぎ』 Les petits métiers et gagne-petit | 1960年 | アルベール・フルニエ、ギイ・ドルナン著 | ビエール・ド・タルタス刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館
- 3-04 『四十雀』 La Mésangère | 1963年 | ジャン・コクトー著 | ビエール・ド・タルタス刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館
- 3-05 『葡萄酒、花、炎』 Vins, fleurs et flammes | 1952年 | ジョルジュ・デュアメルほか著 | ベルナル・クライン刊 | 東京富士美術館
- 3-06 『花のバリの出来事』 C'est arrivé en plein Paris | 1956年 | イヴォヌヌ・ド・ブレモン・ダール著 | アンリ・ルフェーブル美術出版社刊 | 東京国立近代美術館
- 3-07 『ユキの打ち明け話』 Les confidences de Youki | 1957年 | ユキ・デスノス著 | アルテーム・ファイヤール出版社刊 | 東京国立近代美術館、東京富士美術館
- 3-08_1 『「時代の証人」展カタログ(幸福)』 Les Peintres témoins de leurs temps: LE BONHEUR | 1955年 | ベルナル・ビュフェ美術館
- 3-08_2 『「時代の証人」展カタログ(スポーツ)』 Les Peintres témoins de leurs temps: LE SPORT | 1957年 | ベルナル・ビュフェ美術館

No.	作品名(書籍名)	制作年(発行年)	技法・材質／著者等	(書籍については)出版社	所蔵
3-08_3	『時代の証人』展カタログ(パリジェンヌ)』 Les Peintres témoins de leurs temps: Les parisiennes 1958年 ベルナール・ビュフェ美術館				
3-08_4	『時代の証人』展カタログ(機械時代)』 Les Peintres témoins de leurs temps: L'AGE MECANIQUE 1959年 ベルナール・ビュフェ美術館				
3-08_5	『時代の証人』展カタログ(青春)』 Les Peintres témoins de leurs temps: la jeunesse 1960年 個人蔵				
3-08_6	『時代の証人』展カタログ(フランスの豊かさ)』 Les Peintres témoins de leurs temps: RICHESSES DE LA FRANCE 1961年 ベルナール・ビュフェ美術館				
3-08_7	『時代の証人』展カタログ(肖像画の復興)』 Les Peintres témoins de leurs temps: REHABILITA DU PORTRAIT 発行年不詳 個人蔵				
3-09	『ラ・フォンテーヌ 二十の寓話』 La Fontaine, 20 Fables 1961年 ジャン・ド・ラ・フォンテーヌ著 ジャスパール・ボリュス商会刊 東京富士美術館				
3-10	『蜂蜜のような甘さ、または東方に輝く月』 Douce-comme-le-Miel ou la lune brille à l'Est 1962年 ジョルジュ・ボノー著 アルテーム・ファイヤール書店刊 東京国立近代美術館				
3-11	『パリの時代に』 Au temps de Paris 1964年 レオン＝ポール・ファルグ著 ビエール・ド・タルタス刊 東京国立近代美術館、東京富士美術館				
3-15	ポスター「フジタ展」 Affiche de l'exposition <Foujita> 1956年 リトグラフ・紙 ベルナール・ビュフェ美術館				
3-16	ポスター「時代の証人画家たち展(青春)」 Affiche de l'exposition <Les Peintres témoins de leurs temps: la jeunesse> 1960年 目黒区美術館				

■4章 藤田嗣治と猫

- 4-01 『猫の本』 A Book of Cats | 1930年 | マイケル・ジョセフ著 | コピチ・フリード出版刊 | 東京富士美術館、ベルナール・ビュフェ美術館
- 4-02 『夜と猫』 Night and the Cat | 1950年 | エリザベス・コーツワース著 | マクミラン・カンパニー刊 | 東京国立近代美術館、ベルナール・ビュフェ美術館
- 4-03 白い猫 Chat blanc | 1929年 | 木版(多色刷り)・紙 | ベルナール・ビュフェ美術館
- 4-04 二匹の猫 Deux Chats | 1931年 | リトグラフ・紙 | 目黒区美術館*
- 4-06 花、眠り猫 Chat endormi au Fleurs | 1938年 | 水彩・紙 | ベルナール・ビュフェ美術館
- 4-07 長閑 Chat bâillant | 制作年不詳 | 水彩、墨・紙 | ベルナール・ビュフェ美術館
- 4-08 猫 Chat | 制作年不詳 | 水彩、墨・紙 | ベルナール・ビュフェ美術館
- 4-09 猫之図 Chat | 制作年不詳 | 水彩、墨・紙 | ベルナール・ビュフェ美術館

〈特別出品〉

- S-01 雪のバリの街並み Paysage de neige, Paris | 1917年 | 油彩・キャンバス | ベルナール・ビュフェ美術館
- S-02 夢見る女 Anges endormis | 1951年 | 油彩・キャンバス | ベルナール・ビュフェ美術館

〈参考出品〉

- M-01 房州白浜にて A Shirahama en Bōshū | 1935年 | 水彩・紙 | 目黒区美術館*
- M-02 君代のプロフィール Profil de Kimiyo | 1938年頃 | 水彩・紙 | 目黒区美術館*
- M-03 裸婦 Femme Nue | 1925-29年 | リトグラフ・紙 | 目黒区美術館*
- M-04 二人の少女のプロフィール Profil de Deux Filles | 1925年頃 | リトグラフ・紙 | 目黒区美術館*
- M-05 スカーフを巻いた女 Une Fille Enroulant une Écharpe | 1925年 | リトグラフ・紙 | 目黒区美術館*
- M-06 裸婦 Femme Nue | 1925年 | リトグラフ・紙 | 目黒区美術館*
- M-07 自画像 Autoportrait | 1934年頃 | 木版・紙 | 目黒区美術館*
- M-08 家族 Famille | 1948年 | 油彩・キャンバス | 目黒区美術館*



カタログ



A4チラシ

日本・フィンランド外交関係樹立100周年記念 フィンランド陶芸 — 芸術家たちのユートピア

会期：2018年7月14日(土)～9月6日(木) 47日間
会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール
主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館
後援：フィンランド大使館、フィンランドセンター
協賛：大日本印刷、フィンエアー、フィンエアーカーゴ、
サッポロホールディングス株式会社
特別協力：コレクション・カッコネン
協力：有限会社スコープ、アラビア、イッタラ
企画協力：S2株式会社
入場者数：10,211人
担当学芸員：加藤絵美



巡回：茨城県陶芸美術館(2018年4月21日～7月1日)、岐阜県現代陶芸美術館(2018年11月17日～2019年2月24日)、山口県立萩美術館・浦上記念館(2019年4月20日～6月30日)、大阪市立東洋陶磁美術館(2019年7月13日～10月14日)

同時開催：ワークショップ夏「自然のモチーフで遊ぶ」

日本とフィンランドの外交関係樹立100周年を記念して開催した本展では、芸術作品としてのフィンランド陶芸に焦点を当て、その黎明期から、最盛期ともいえる1950年代・60年代までを15作家137点の名作で辿った。

展示室Aでは、19世紀末から1950年代頃までを紹介した。アーツ・アンド・クラフツ運動の影響を大きく受けたフィンランドの美術・工芸が、1900年のパリ万国博覧会で高く評価され、世界的な注目を集めた。さらに美術工芸中央学校など教育機関が整備されたことに加え、アラビア製陶所における美術部門が設立されたことによって、フィンランド陶芸は躍進を見せることとなった。そして第二次大戦後は国内に留まらず、ミラノ・トリエンナーレなどの国際展において、世界的な評価を受ける結果となった。本展のハイライトともなる時期の作品は、濃灰色のカーペットと展示台の上に配置し、ここに天井から降り注ぐ自然光によって浮かび上がるようにした。

続いて展示室Bでは、ビルゲル・カイピアイネンの巨大な彫像《ビーズバード(シャクシギ)》を部屋の中心に据え、周囲に伝統的な陶板画とは一線を画した、詩情豊かな絵画的表現の陶板や皿を展示した。

最後に展示室Cでは、隣国スウェーデンに倣った機能主義に加え、日本の美術や工芸にも影響を受けたテーブルウェアなど日用食器の数々を展示した。

●カタログ

サイズ：20.4×21.8cm、256ページ

デザイン：亀井伸二、原純子(STORK)／発行：株式会社国書刊行会

内容：

メッセージ フィンランドの陶芸 | ごあいさつ | 近代世界における工芸の理想—フィンランド陶芸の精神と新感覚—[ハッリ・カルハ] | フィンランド陶芸—独自性の発露と日本におけるその受容[山口敦子] | Chapter 1. フィンランド陶芸の萌芽—ナショナル・ロマンティズム | Chapter 2. 近隣諸国の影響を受けて—アール・デコ | Chapter 3. フィンランド陶芸の確立—オーガニック・モダニズム | Chapter 4. フィンランド陶芸の展開—ビクトリアリズム | Chapter 5. プロダクト・デザイン—フィンランドと日本 | 資料画像 1900年パリ万国博覧会から1960年代 | 関連年表 | 関連人名等一覧 | コレクション・カッコネンについて[ハッリ・カルハ] | 作品リスト | 主要参考文献

●広報印刷物

ポスター B2／チラシ A4

デザイン：亀井伸二、原純子(STORK)

●関連催事

1. 講演会「フィンランドのアラビア窯—カイ・フランクと芸術家たち」

講師：山口敦子(岐阜県現代陶芸美術館学芸員)／開催日：7月14日(土)／参加者：54人

2. 特別講演会「フィンランドという国と人、その生活とデザイン」

講師：島崎信(武蔵野美術大学名誉教授、日本フィンランドデザイン協会理事長)／開催日：7月22日(日)／参加者：72人

3. 大人のための美術カフェ

ナビゲーター：加藤絵美(当館学芸員)／開催日：8月25日(土)／参加者：29人

●主要関連記事

1. 「フィンランド陶芸の美」『東京新聞』夕刊 2018年7月28日
2. 「Around Tokyo」『朝日新聞』夕刊 2018年8月3日
3. 『北欧テイストの部屋づくり』24号
4. 『Hanako』2018年7月26日号
5. 『月刊ブレーン』2018年9月号
6. 「ミハエル・シルキン 北欧デザイン前夜の試行錯誤」『芸術新潮』2018年9月号

出品リスト

凡例

・章ごとに分け、第1章～第4章は、出品番号 | 作家名 | 作品名 | 制作(製作)年 | 製陶所名等 | サイズ (縦×横/縦×径/縦×横×奥行) | 所蔵 の順に、第5章は、出品番号 | 製陶所名等 | 作品(シリーズ)名等 | 制作(製作)年 | デザイナー名 | 製陶所名等 | サイズ(縦×横/縦×径) | 所蔵 の順に記載した。
・所蔵欄の「◎」印はコレクション・カッコンネンを示す。

No.	作家名	作品名	制作(製作)年	製陶所名等	サイズ(cm)	所蔵
Chapter 1 フィンランド陶芸の萌芽—ナショナル・ロマンティシズム						
1	アルフレッド・ウィリアム・フィンチ	花瓶	1897-1902年	アイリス工房	25.5×11.3	◎
2	アルフレッド・ウィリアム・フィンチ	花瓶	1897-1902年	アイリス工房	12.0×9.0	◎
3	アルフレッド・ウィリアム・フィンチ	花瓶	1897-1902年	アイリス工房	24.0×18.0	◎
4	アルフレッド・ウィリアム・フィンチ	手付瓶	1897-1902年	アイリス工房	19.0×19.0	◎
5	アルフレッド・ウィリアム・フィンチ	ボウル	1897-1902年	アイリス工房	7.0×19.0	◎
6	アルフレッド・ウィリアム・フィンチ	蓋付水差し	1897-1902年	アイリス工房	23.0×17.0	◎
7		花瓶《フェンニア》	1902-23年	アラビア製陶所	35.0×10.0	◎
8		筒花瓶《フェンニア》	1902-23年	アラビア製陶所	26.5×8.3	◎
9		花瓶《フェンニア》	1902-23年	アラビア製陶所	29.5×18.0	◎
10		花瓶《フェンニア》	1902-23年	アラビア製陶所	21.5×15.0	◎
11		花瓶《フェンニア》	1902-23年	アラビア製陶所	18.0×15.0	◎
12		花瓶《カレヴァ》	1906-14年	アラビア製陶所	28.0×15.0	◎
13		花瓶《カレヴァ》	1906-14年	アラビア製陶所	26.0×9.0	◎
14		花瓶《アウラ》	1902-14年	アラビア製陶所	23.5×13.0	◎
15		花瓶《アウラ》	1902-14年	アラビア製陶所	22.0×14.0	◎
16		花瓶《アウラ》	1902-14年	アラビア製陶所	16.0×9.5	◎
17	アルフレッド・ウィリアム・フィンチ	壺	1900年代初期		29.0×22.0	◎
18	アルフレッド・ウィリアム・フィンチ	壺	1900年代初期		13.0×14.0	◎
19	アルフレッド・ウィリアム・フィンチ	花瓶	1900年代初期		19.0×9.0	◎
20	エルサ・エレニウス	ボウル	1930-40年代		9.0×13.5	◎
21	エルサ・エレニウス	花瓶	1930年代		18.0×11.0	◎
22	エルサ・エレニウス	ボウル	1930年代		25.0×22.0	◎
23	イェルダ・テスレフ	ボウル	1920年代		13.0×18.0	◎
24	イェルダ・テスレフ	ボウル	1920年代		8.5×10.0	◎
Chapter 2 近隣諸国の影響を受けて—アール・デコ						
25	テューラ・ルンドグレン	蓋付壺	1920年代初期	アラビア製陶所	27.0×12.0	◎
26	テューラ・ルンドグレン	彫像(人物)	1931-35年	アラビア製陶所	17.0×14.0	◎
27	テューラ・ルンドグレン	彫像(人物)	1931-35年	アラビア製陶所	14.0×17.0	◎

No.	作家名	作品名	制作(製作)年	製陶所名等	サイズ(cm)	所蔵
28	テューラ・ルンドグレン	彫像《カラ》	1931-35年	アラビア製陶所	15.0×17.0	◎
29	テューラ・ルンドグレン	彫像《カラ》	1931-35年	アラビア製陶所	13.5×17.0	◎
30	ウルト・エクホルム	蓋付ジャー	1932-35年	アラビア製陶所	18.0×12.0	◎
31	ケルットウ・スヴァント=ヴァーヤカッリオ	蓋付ジャー	1935年頃	クピッターン・サヴィ製陶所	24.0×22.0	個人蔵
32	ケルットウ・スヴァント=ヴァーヤカッリオ	蓋付ジャー	1935年頃	クピッターン・サヴィ製陶所	13.0×11.0	個人蔵
33	ケルットウ・スヴァント=ヴァーヤカッリオ	貼花人物花瓶	1935年頃	クピッターン・サヴィ製陶所	22.0×15.0	個人蔵
34	ケルットウ・スヴァント=ヴァーヤカッリオ	水差し	1935年頃	クピッターン・サヴィ製陶所	32.0×22.0	個人蔵
35	ミハエル・シルキン	耳付壺(熊と狩人)	1937年頃	アラビア製陶所	39.0×32.0	◎
36	ミハエル・シルキン	彫像(狐)	1940年代	アラビア製陶所	14.0×26.0	◎
37	ミハエル・シルキン	彫像(駱駝)	1940年代	アラビア製陶所	38.0×38.0	◎
38	ミハエル・シルキン	彫像(オオヤマネコ)	1940年代	アラビア製陶所	20.0×52.0	◎
39	ミハエル・シルキン	彫像(若い女性と悪魔)	1940年代末期	アラビア製陶所	48.0×15.0	◎
40	ミハエル・シルキン	彫像(鬼)	1950年代	アラビア製陶所	25.0×36.0	◎
41	ミハエル・シルキン	彫像(猫)	1950年代	アラビア製陶所	30.0×46.0	◎
42	ミハエル・シルキン	彫像(泉)	1950年代	アラビア製陶所	41.0×32.0	◎
43	ミハエル・シルキン	彫像(泉)	1950年代	アラビア製陶所	36.0×18.0	◎
44	ミハエル・シルキン	彫像(泉)	1950年代	アラビア製陶所	32.0×16.0	◎
45	ミハエル・シルキン	彫像(熊)	1960年頃	アラビア製陶所	22.0×45.0	◎

Chapter3 フィンランド陶芸の確立ーオーガニック・モダニズム

46	トイニ・ムオナ	筒花瓶	1940年代	アラビア製陶所	35.5×5.0	◎
47	トイニ・ムオナ	筒花瓶	1940年代	アラビア製陶所	39.0×5.6	◎
48	トイニ・ムオナ	筒花瓶	1940-50年代	アラビア製陶所	44.0×7.0	◎
49	トイニ・ムオナ	筒花瓶	1940-50年代	アラビア製陶所	50.5×7.7	◎
50	トイニ・ムオナ	筒花瓶	1940-50年代	アラビア製陶所	43.0×5.5	◎
51	トイニ・ムオナ	筒花瓶	1950年代	アラビア製陶所	46.0×8.0	◎
52	トイニ・ムオナ	花瓶	1951年	アラビア製陶所	35.0×20.5	◎
53	トイニ・ムオナ	皿	1960年頃	アラビア製陶所	3.0×46.8	◎
54	トイニ・ムオナ	筒花瓶	1957年頃	アラビア製陶所	34.0×5.0	◎
55	トイニ・ムオナ	ボウル	1957年頃	アラビア製陶所	5.0×14.0	◎
56	トイニ・ムオナ	花瓶	1957年頃	アラビア製陶所	17.0×6.5	◎
57	トイニ・ムオナ	花瓶	1957年頃	アラビア製陶所	16.5×6.2	◎
58	トイニ・ムオナ	皿	1960年代	アラビア製陶所	6.0×53.0	◎
59	キュッリッキ・サルメンハーラ	ボウル	1950年代初期	アラビア製陶所	14.0×18.5	◎
60	キュッリッキ・サルメンハーラ	ボウル	1950年代初期	アラビア製陶所	9.0×23.0	◎
61	キュッリッキ・サルメンハーラ	花瓶	1952-53年	アラビア製陶所	31.0×10.0	◎
62	キュッリッキ・サルメンハーラ	花瓶	1952-53年	アラビア製陶所	40.0×10.0	◎
63	キュッリッキ・サルメンハーラ	ボウル	1952-54年	アラビア製陶所	6.7×18.4	◎
64	キュッリッキ・サルメンハーラ	ボウル	1952-54年	アラビア製陶所	5.8×14.6	◎
65	キュッリッキ・サルメンハーラ	ボウル	1952-54年	アラビア製陶所	9.0×19.8	◎
66	キュッリッキ・サルメンハーラ	壺	1957年頃	アラビア製陶所	12.0×18.0	◎
67	キュッリッキ・サルメンハーラ	壺	1957-60年頃	アラビア製陶所	35.0×35.0	◎
68	キュッリッキ・サルメンハーラ	壺	1957-60年頃	アラビア製陶所	20.0×16.0	◎
69	キュッリッキ・サルメンハーラ	壺	1957年	アラビア製陶所	34.0×34.0	◎

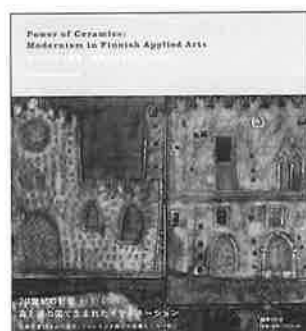
No.	作家名	作品名	制作(製作)年	製陶所名等	サイズ(cm)	所蔵
70	キュリッキ・サルメンハーラ	壺	1958年頃	アラビア製陶所	30.0×31.0	◎
71	アウネ・シーメス	蓋付カップ・受皿	1950年代	アラビア製陶所	8.5×11.7	◎
72	アウネ・シーメス	カップ	1950年代	アラビア製陶所	5.3×9.0	◎
73	アウネ・シーメス	カップ	1950年代	アラビア製陶所	6.0×7.6	◎
74	アウネ・シーメス	カップ	1950-60年代	アラビア製陶所	12.0×12.4	◎
75	アウネ・シーメス	カップ	1950-60年代	アラビア製陶所	9.2×11.0	◎
76	アウネ・シーメス	カップ	1950-60年代	アラビア製陶所	12.1×12.2	◎
77	アウネ・シーメス	ボウル	1950-60年代	アラビア製陶所	5.7×20.6	◎
78	アウネ・シーメス	ボウル	1950-60年代	アラビア製陶所	6.5×18.1	◎
79	アウネ・シーメス	ボウル	1950年代	アラビア製陶所	8.0×18.8	◎
80	アウネ・シーメス	ボウル	1950年代	アラビア製陶所	4.0×15.0	◎
81	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	ボウル	1940-50年代	アラビア製陶所	13.0×28.5	◎
82	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	ボウル	1940-50年代	アラビア製陶所	8.0×14.5	◎
83	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	ボウル	1940-50年代	アラビア製陶所	12.2×20.2	◎
84	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	ボウル	1940-50年代	アラビア製陶所	6.6×20.2	◎
85	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	ボウル	1950年代	アラビア製陶所	9.0×36.0	◎
86	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	ボウル	1950年代	アラビア製陶所	4.5×7.7	◎
87	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	ボウル	1950年代	アラビア製陶所	4.5×7.5	◎
88	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	ボウル	1950年代	アラビア製陶所	4.5×7.4	◎
89	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	ボウル	1950年代	アラビア製陶所	4.5×7.7	◎
90	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	ボウル	1950年代	アラビア製陶所	4.5×7.4	◎
91	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	ボウル(ライス・ボーセリン)	1950年代	アラビア製陶所	10.0×21.2	◎
92	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	ボウル(ライス・ボーセリン)	1950年代	アラビア製陶所	7.2×11.8	◎
93	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	ボウル(ライス・ボーセリン)	1950年代	アラビア製陶所	13.2×14.5	◎

Chapter 4 フィンランド陶芸の展開—ビクトリアリズム

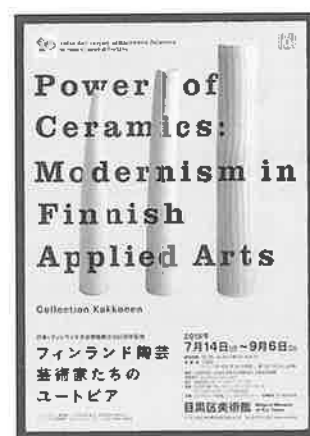
94	ビルゲル・カイピアイネン	陶板《眠れる森の美女》	1945年頃	アラビア製陶所	40.5×41.0	◎
95	ビルゲル・カイピアイネン	陶板《折り》	1945年頃	アラビア製陶所	40.5×40.5	◎
96	ビルゲル・カイピアイネン	陶板《サーカス》	1946年頃	アラビア製陶所	41.0×41.0	◎
97	ビルゲル・カイピアイネン	陶板《二人の女性》	1953年頃	アラビア製陶所	43.3×44.8×7.0	◎
98	ビルゲル・カイピアイネン	陶板《飛行》	1950年代	アラビア製陶所	39.0×36.0×19.0	◎
99	ビルゲル・カイピアイネン	燭台(天使)	1957年頃	ロールストランド製陶所	48.0×22.0	◎
100	ビルゲル・カイピアイネン	燭台(天使)	1957年頃	ロールストランド製陶所	30.0×20.0	◎
101	ビルゲル・カイピアイネン	彫像《ビーズバード(シャクシギ)》	1960年頃	アラビア製陶所	80.0×137.0×40.0	個人蔵
102	ビルゲル・カイピアイネン	彫像《ビーズバード(シャクシギ)》	1960年代	アラビア製陶所	81.0×88.0×28.0	個人蔵
103	ビルゲル・カイピアイネン	彫像《ビーズバード》	1960年代	アラビア製陶所	59.0×57.0×30.0	個人蔵
104	ビルゲル・カイピアイネン	彫像《フラワーツリー》	1960年代	アラビア製陶所	47.0×18.0	◎
105	ビルゲル・カイピアイネン	彫像《フラワーツリー》	1964年	アラビア製陶	37.0×14.0	◎
106	ビルゲル・カイピアイネン	彫像《天使》	1967年頃	アラビア製陶所	43.0×42.0	◎
107	ビルゲル・カイピアイネン	飾皿(蓋)	1960年代末期	アラビア製陶所	51.0×43.3×5.0	◎
108	ビルゲル・カイピアイネン	レリーフ(洋梨)	1960年代末期	アラビア製陶所	56.0×78.0×11.0	◎
109	ビルゲル・カイピアイネン	飾皿(果実)	1970-80年代	アラビア製陶所	31.8×47.5×4.5	◎
110	ビルゲル・カイピアイネン	飾皿(テーブルのある部屋)	1980年代	アラビア製陶所	40.0×54.0×8.0	◎
111	ルート・ブリュック	陶板《静物(ピッチャーと魚)》	1949年頃	アラビア製陶所	32.0×32.0	◎

No.	作家名	作品名	制作(製作)年	製陶所名等	サイズ(cm)	所蔵
112	ルート・ブリュック	陶板《勇者サンブサ》	1950年代初期	アラビア製陶所	37.0×46.0	◎
113	ルート・ブリュック	陶板《聖体祭》	1952-53年	アラビア製陶所	86.0×138.0	◎
114	ルート・ブリュック	陶板《草むらの3羽》	1953年頃	アラビア製陶所	37.0×47.0	◎
115	ルート・ブリュック	陶板《カレリアの船楼(アダムとイヴ)》	1950年代	アラビア製陶所	55.5×20.0	◎
116	ルート・ブリュック	陶板《ヴェネツィアの宮殿 ジョルノ》	1950年代	アラビア製陶所	60.0×26.0	◎
117	ルート・ブリュック	陶板《ヴェネツィアの宮殿 窓辺の人々》	1954-58年頃	アラビア製陶所	48.0×42.0	◎
118	ルート・ブリュック	陶板《イースターエッグの箱》	1955年頃	アラビア製陶所	27.0×34.0	◎
119	ルート・ブリュック	陶板《ノアの箱舟》	1956年頃	アラビア製陶所	47.0×56.0	◎
120	ルート・ブリュック	陶板《ピリッタ》	1950年代	アラビア製陶所	49.0×43.0	◎
121	ルート・ブリュック	陶板《タイル・コンポジション》	970年代	アラビア製陶所	49.0×41.0	◎

No.	製陶所名等	作品(シリーズ)名等	制作(製作)年	デザイナー名	サイズ(cm)	所蔵
Chapter 5 プロダクト・デザインーフィンランドと日本						
122	アラビア製陶所	《シニヴァルコ》	1936-40. 1949-54年	クルト・エクホルム	ピッチャー:15.5×19.6	岐阜県現代陶芸美術館
123	アラビア製陶所	《ライス・ボーセリン》	1951-73年	フリードル・ホルツァー＝シャルバリ	オーバルボウル:8.5×17.1	岐阜県現代陶芸美術館
124	アラビア製陶所	《キルタ》	1953-74年	カイ・フランク	ピッチャー:17.0×18.0	岐阜県現代陶芸美術館
125	アラビア製陶所	《ヴァレンシア》	1960-2002年	ウツラ・プロコペ	コーヒーポット:15.4×13.5	岐阜県現代陶芸美術館
126	アラビア製陶所	《ルスカ》	1960-99年	ウツラ・プロコペ	ティーポット:12.0×25.2	岐阜県現代陶芸美術館
127	アラビア製陶所	《パラティージ》	1969-73. 1988, 2000年-	ビルゲル・カイピアイネン	オーヴァルプレート(大): 36.2×41.8	岐阜県現代陶芸美術館
128	アラビア製陶所	《ロケロパティ(KF1)》	1958-62年	カイ・フランク	23.8×23.8	岐阜県現代陶芸美術館
129	アラビア製陶所	《ロケロパティ(KF1)》	1958-62年	カイ・フランク	23.8×23.8	岐阜県現代陶芸美術館
130	アラビア製陶所	《ロケロパティ(KF2)》	1958-62年	カイ・フランク	25.2×30.8	岐阜県現代陶芸美術館
131	アラビア製陶所	テーブルベル	1950年代初期	カイ・フランク	7.0×8.5	◎
132	ヌータヤルヴィガラス製作所	タンブラー	1952-55年	カイ・フランク	11.6×11.5	◎
133	ヌータヤルヴィガラス製作所	タンブラー	1952-55年	カイ・フランク	5.7×10.0	◎
134	ヌータヤルヴィガラス製作所	タンブラー	1952-55年	カイ・フランク	19.1×10.4	◎
135	ヌータヤルヴィガラス製作所	タンブラー	1952-55年	カイ・フランク	29.5×10.9	◎
136	ヌータヤルヴィガラス製作所	タンブラー	1952-55年	カイ・フランク	13.0×9.2	◎
137	アラビア製陶所	アラビア製陶所ポスター	1952年	タビオ・ヴィルッカ	106.0×65.0	◎



カタログ



A4チラシ

村上友晴 — ひかり、降りそそぐ

会期：2018年10月13日(土)～12月6日(木) 47日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

入場者数：4,223人

担当学芸員：降旗千賀子



目黒区ゆかりの作家を紹介する展覧会として、上目黒にアトリエを構え、この年80歳を迎えた美術家・村上友晴の世界を、油彩画から版画、そして鉛筆やニードルを駆使した近作である紙の作品など、全35件で展覧した。

開館当初から当館は村上の作品に注目し、村上の節目となる重要な作品を収蔵してきた。本展では、当館所蔵の作品を核に、作家蔵、個人蔵の作品から選りすぐり、村上が東京藝術大学の日本画科在籍中から取り組んでいた重厚な「黒」、そしてその後展開する漆の肌合いを思わせる「赤」、近年取り組んでいる鉛筆やニードルによる深淵な紙の表現としての「白」など、村上の「色」に注目し、展示を構成した。

メインとした展示室Aでは、当館蔵の黒い油彩画100号2点を大壁面に並置し、サブタイトルで示したように天井の自然採光を取り入れ、光を受ける黒の世界を演出した。中規模の展示室Bは、小聖堂をイメージして床をコンクリートむき出しにし、14点からなる《十字架の道》を、小さな黒い作品《アイコン》を中心に、左右に振り分けて展示した。また小さな展示室Cでは、激しく強い印象の作品1点に対し、自然石を配置し、それぞれの悠久なる時間を呼応させた。

こうした静謐な設えと、素材を丁寧にデリケートに駆使して制作する村上作品の質感が作り出した緊張感の漂う空間は、豊饒な奥行きを感じさせるものとして評価された。

●カタログ

サイズ：24.0×24.0cm／88ページ

デザイン：中野豪雄、原聡実(中野デザイン事務所)／発行：目黒区美術館

内容：

ごあいさつ | 作品図版 black / red / white | 展示会場 | 村上友晴—ひかり、降りそそぐ[降旗千賀子] | 年譜 | 参考文献 | 出品リスト

●広報印刷物

ポスター B2／チラシ A4

デザイン：中野豪雄、原聡実(中野デザイン事務所)

●関連催事

1. ミュージアムコンサート

出演：ヴォーカル・アンサンブル カペラ

開催日：11月23日(金・祝)／参加者：75人

2. 大人のための美術カフェ

ナビゲーター：降旗千賀子(当館学芸員)

開催日：11月24日(土)／参加者：27人

●主要関連記事

1. 芥川喜好「形がないことのやすらぎ」『読売新聞』

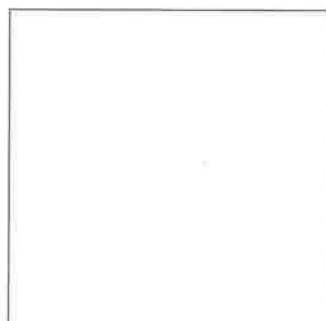
2018年1月24日

2. 中井康之(国立国際美術館)「芸術作品について」

DNP Art Communications 2019年1月15日

3. 「2018年展覧会ベスト3」『美術手帖』編集長・

岩渕貞哉)「美術手帖web版



カタログ



B2ポスター

出品リスト

凡例

・作品のデータは、出品番号 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質／支持体 | サイズ | 所蔵 | 図録掲載ページ の順で記載した。

・所蔵先表記のないものについては、村上友晴氏と横田茂ギャラリーの協力によるもの。

・作品名だけでは識別が困難なため、末尾に図録掲載ページを記載した。

No.	作品名	制作年	技法・材質／支持体	サイズ(cm)	所蔵	図録掲載 ページ
1	無題	1963年	顔料・油彩／紙・板	116.7×91.0×3.0		[p.13]
2	無題	1980・1981・1982年	油彩・炭／キャンバス	162.0×130.0×3.0	目黒区美術館	[p.14]
3	無題	1985・1986・1987年	油彩・炭／キャンバス	162.0×130.0×3.0	目黒区美術館	[p.15]
4	無題	1998・1999年	油彩／キャンバス	162.0×130.0×3.0		[p.17]
5	無題	1989・1990年	油彩／キャンバス	91.0×72.8×3.8		[p.18]
6	無題	1980・1982・1983年	油彩・炭／キャンバス	91.0×73.0×3.0	個人蔵	[p.18]
7	無題	1985年	油彩／紙	83.2×64.0	個人蔵	[p.19]
8	聖夜	2007年	墨・油彩・鉛筆・鉄筆／紙	19.1×15.1		[p.20]
9	聖夜	2007年	墨・油彩・鉛筆・鉄筆／紙	19.1×15.1		[p.21]
10	無題	2014年	油彩／キャンバス	53.2×45.5×3.0	個人蔵	[p.22]
11	無題	2013年	油彩・炭／キャンバス	23.0×16.4×2.7		[p.23]
12	ICON	1997・1998・2008年	油彩・炭／キャンバス	23.0 16.4×2.7		[p.23]
13	無題	1984年	油彩・アクリル／紙	59.2×47.5	個人蔵	[p.28]
14	無題	1983年	油彩・アクリル／紙	59.5×47.3	個人蔵	[p.28]
15	無題	1983年	油彩・アクリル／紙	59.5×47.5	個人蔵	[p.29]
16	無題	1980年	水彩／紙	62.5×50.7		[p.31]
17	東大寺 修二会一晨朝／日中／ 日没／初夜／半夜／後夜[6点組]	1990年	石版、アクリル、油彩／紙(和紙)	42.8 (6.7)×31.5 (5.0) ed. 6/6	目黒区美術館	[p.32]
18	東大寺	1985年	油彩・アクリル／紙	72.4×58.2	個人蔵	[p.35]
19	無題	1984年	油彩・アクリル／紙	59.5×47.3	目黒区美術館	[p.36]
20	無題	1984年	油彩・アクリル／紙	59.0×47.2	目黒区美術館	[p.36]
21	無題	2016年	油彩・アクリル／紙	60.8×45.8	個人蔵	[p.37]
22	無題	2018年	鉛筆・ニードル／紙	19.0×25.0		[p.41]
23	無題	2018年	鉛筆・ニードル／紙	15.0×23.5		[p.43]
24	無題	2018年	鉛筆・ニードル／紙	19.1×25.2		[p.44]
25	無題	2016年	鉛筆・ニードル／紙	24.2×30.3		[p.45]
26	無題	2015年	鉛筆・ニードル／紙	18.2×22.5		[p.47]
27	無題	2017年	鉛筆・ニードル／紙	25.1×19.1		[p.49]
28	マリア礼拝堂	2012年	鉛筆・ニードル／紙	22.7×18.3	個人蔵	[p.51]
29	無題	1977年	鉛筆／紙	64.7×50.3	個人蔵	[p.52]
30	無題	1984年	鉛筆／紙	49.3×60.2	個人蔵	[p.53]
31	psalm 1(詩篇1)[8点組]	1979年	ドライポイント／紙	30.5×24.5 ed. 5 / 10	目黒区美術館	[p.54]
32	無題	1981年	インク、ペン／紙	60.7×48.6	個人蔵	[p.57]
33	十字架の道[14点組]	2001年	ドライポイント ニードル／紙(アルシュ紙)	22.0×15.3 ed. 1/7	目黒区美術館	[p.59]
34	無題(礼文)	1986年	油彩・アクリル／紙	61.7×45.2	個人蔵	[p.64]
35	無題(礼文)	1986年	油彩・アクリル／紙	61.5×45.3	個人蔵	[p.65]

めぐろの子どもたち展

平成30年度 目黒区立幼稚園・こども園、小中学校連合展覧会

会期：2019年1月19日(土)～2月3日(木) 14日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ、
区民ギャラリー

主催：目黒区立幼稚園・こども園長会、目黒区立小学校長会、
目黒区立中学校長会、目黒区立特別支援学級設置校長会、
目黒区教育会、目黒区美術館、目黒区、目黒区教育委員会

入場者数：10,499人

担当学芸員：加藤絵美、吉田暁子



同時開催：米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展、
中国北京市東城区児童・生徒書画作品展

目黒区立の幼稚園・こども園、小・中学校の子どもたちの作品を、表現活動の成果として展示する本展は、子どもたちの鑑賞教育の場としても機能している。教職員の手により行われ、それを鑑賞することで、展示は保護者や地域の人々が、教育現場における子どもたちの活動を理解する場として長きにわたりその役割を果たしている。今回は、「米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展」および「中国北京市東城区児童・生徒書画作品展」を同時開催した。(作品数：4,173点)

●広報印刷物

ポスター B2/チラシ A4

チラシ裏面内容：ごあいさつ(主催者) | 幼稚園・こども園 | 小学校・図画工作 | 小学校・書写 | 中学校・美術 | 中学校・書写 | 特別支援学級 | 米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展 | 中国北京市東城区児童・生徒書画作品展



A4チラシ

コレクションの〈現在〉—^{いま}絵画・彫刻・版画 +特集展示 鈴木省三の絵画

会期：2019年2月16日(土)～3月24日(木) 32日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

協力：小島びじゅつ室

入場者数：2,447人

担当学芸員：佐川タ子

同時開催：ワークショップ春「美術を見る・知るIV」



当館での企画展の開催や作品展示をきっかけに収蔵作品となった作品の中から、1980年代以降の現代美術を取り上げた。1階エントランスホールには山田光の陶芸、諏訪直樹の絵画、展示室Aでは彫刻家の青木野枝、多和圭三の大型作品を版画やドローイングとともに展示し、展示ロビーと展示室Cでは、山中信夫の写真、井田照一の版画、篠田教夫や寺崎百合子鉛筆による細密絵画を展覧した。

そして、展示室Bでは、当館で開催した「色」をテーマにしたシリーズ展覧会『色の博物誌』の「緑—豊潤な影」(2001年)、「黄—地の力 & 空の光」(2004年)の出品作家・鈴木省三の絵画を取り上げ、油彩と水彩、計25点の特集展示をした。

●広報印刷物

ポスター B2/チラシ A4

酒井田成之(酒井田デザイン事務所)

●関連催事

1. 大人のための美術カフェ〈特別編〉美術トーク「鈴木省三の絵画の愉しみかた」

ゲストスピーカー：小島静二氏(小島びじゅつ室主宰)／開催日：3月9日(土)／参加者：80人



B2ポスター

出品リスト

凡例

・出品作品について、「コレクションの現在」と「特集展示: 鈴木省三の絵画」に分けて記載した。

・作品のデータは、出品番号 | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質等 | サイズ(縦×横) | 所蔵等 の順で記載した。ただし、版画集からの作品については、版画集の情報を始めに記載し、続けて個々の作品情報を記載した。

・所蔵先について、特に記載のないものは目黒区美術館蔵。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質等	サイズ(cm) []内は紙寸	所蔵等
■コレクション展						
I-01	山田光	銀泥 矩形とパイプ	1995年	陶、金属	h.56.5×w.38.5×d.8.0	
I-02	諏訪直樹	P-1-8306	1983年	アクリル・綿布(軸装)	200.0×140.0	
I-03	諏訪直樹	PH-8-8419	1984年	アクリル・綿布(軸装)	200.0×140.0	
I-04	青木野枝	Untitled[7点組]	1994年	鉄	各.h.300.0×d.121.0	
I-05-1	青木野枝	雲垣2(版画集『雲垣』より)	1997年	ドライポイント 1版1色・紙	29.2×22.6[52.0×43.0]	ed. B.A.T
I-05-2	青木野枝	雲垣3(版画集『雲垣』より)	1997年	ドライポイント 1版1色・紙	29.2×22.6[52.0×43.0]	ed. B.A.T
I-05-3	青木野枝	雲垣4(版画集『雲垣』より)	1997年	ドライポイント 1版1色・紙	29.2×22.6[52.0×43.0]	ed. B.A.T
I-06-1	青木野枝	寒天2(版画集『寒天』より)	2000年	エッチング、ドライポイント・紙	17.5×22.5[41.0×36.5]	ed. 4/30
I-06-2	青木野枝	寒天4(版画集『寒天』より)	2000年	エッチング、ドライポイント・紙	22.5×17.5[41.0×36.5]	ed. 4/30
I-06-3	青木野枝	寒天5(版画集『寒天』より)	2000年	エッチング、ドライポイント・紙	26.0×22.5[41.0×36.5]	ed. 4/30
I-07	多和圭三	景色ー境界ー[2点組]	2008年	鉄	10.1×291.5×298.5, 12.5×291.5×298.5	
I-08	多和圭三	景色ーものー	2014年	インク、鉛筆・紙	31.8×40.8	作家蔵
I-09	多和圭三	ものー虚ー	2014年	インク、鉛筆・紙	31.8×40.7	作家蔵
I-10	多和圭三	ものー虚ー	2014年	インク、鉛筆・紙	31.8×40.7	作家蔵
I-11	多和圭三	ものー虚ー	2014年	インク、鉛筆・紙	31.8×40.7	作家蔵
I-12	井田照一	版画集『Surface is the Between - Lotus Sutra-』より 7点	1979年	リトグラフ、シルクスクリーン エッチングなど	50.3×35.6(紙寸)	ed. 12/100
		紙とインクの間に金網 No.2		シルクスクリーン、墨インク、油絵具・紙	47.0×33.0	
		墨インクのしみと墨インクの しみの間に紙 No.5		フォトシルクスクリーン、墨インク 2版 2度両面刷り・紙	46.0×31.0	
		同じ線と同じ線の間に紙 No.3		リトグラフ(亜鉛板)、墨インク 1版 2度両面刷り・紙	50.0×33.0	
		落下のしみと拡がるしみの間に紙		フォトシルクスクリーン、墨インク 2版2度両面刷り・紙	47.0×33.0	
		墨インクの中の紗		シルクスクリーン、墨インク、紗・紙	50.0×35.0	
		落下と水平		リトグラフ(亜鉛板)、墨インク 2版2度両面刷り・紙	47.0×33.0	
		揺ききずと揺く事の間に紙 No.6		リトグラフ、エッチング(亜鉛板、銅板) 墨インク、2版2度両面刷り・紙	46.0×31.0	
I-13	山中信夫	マンハッタン太陽 6	1980年	ピンホール写真(タイプC写真)	20.4×25.4	
I-14	山中信夫	マンハッタン太陽 11	1980年	ピンホール写真(タイプC写真)	20.4×25.4	
I-15	山中信夫	マンハッタン太陽 17	1980年	ピンホール写真(タイプC写真)	20.4×25.4	
I-16	山中信夫	マンハッタン太陽 18	1980年	ピンホール写真(タイプC写真)	20.4×25.4	
I-17	山中信夫	マンハッタン太陽 19	1980年	ピンホール写真(タイプC写真)	20.4×25.4	
I-18	山中信夫	マンハッタン太陽 22	1980年	ピンホール写真(タイプC写真)	20.4×25.4	
I-19	山中信夫	東京太陽 4	1980-81年	ピンホール写真(タイプC写真)	25.4×30.5	
I-20	山中信夫	東京太陽 8	1980-81年	ピンホール写真(タイプC写真)	25.4×30.5	
I-21	山中信夫	東京太陽 12	1980-81年	ピンホール写真(タイプC写真)	25.5×30.4	
I-22	山中信夫	東京太陽 15	1980-81年	ピンホール写真(タイプC写真)	30.5×25.3	
I-23	山中信夫	東京太陽 65	1980-81年	ピンホール写真(タイプC写真)	25.3×30.4	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質等	サイズ(cm) []内は紙寸	所蔵等
I-24	蒲地清爾	屋敷様	1988年	エッチング、アクアチント・紙	60.2×45.2[77.8×53.0]	ed. 41/50
I-25	久保卓治	Brazilian Dragonfly	1998年	エンブレイヴィング アクアチント・紙(ハーネミュール紙)	15.0×18.0[38.0×28.5]	ed. E.A.
I-26	寺崎百合子	ボルゲーゼ公園	1992年	黒色鉛筆・紙54.5×76.5		
I-27	寺崎百合子	オペラ座	1992年	黒色鉛筆・紙57.6×76.6		
I-28	篠田教夫	海辺の断崖	2000-02年	鉛筆、消しゴム、水彩・紙(ケント紙)	40.0×68.0	菊池由佳 コレクション
I-29	篠田教夫	海辺の断崖 II	2003-07年	鉛筆、消しゴム、水彩・紙(ケント紙)	65.0×48.0	
I-30	柄澤齊	版画集『燭罪傾(七つの大罪)による』より 8点	1974-75年	木口木版、雁皮刷・アルシュ紙	38.3×28.5(紙寸)	ed. A.P
		虚栄 II			14.4×10.2	
		食欲 II			15.2×9.5	
		憤怒 II			14.0×10.0	
		怠惰 II			15.0×9.2	
		大食 II			15.1×9.4	
		嫉妬 II			15.1×9.1	
		姦淫 II			13.5×10.1	
		死の舞踏			15.3×10.1	

■特集展示鈴木省三の絵画 ※特集展示出品作品はすべて小島びじゅつ室所蔵

II-01	鈴木省三	緑 II 一滴	1983年	油彩、オイルスティック・ゴム板	120.0×70.0
II-02	鈴木省三	静かな呼吸 I	1994-95年	油彩、オイルスティック リキッドゴム・キャンバス	180.0×130.0
II-03	鈴木省三	地面からの空 IV	1997年	油彩、オイルスティック、 リキッドゴム・キャンバス	180.0×130.0
II-04	鈴木省三	聖夜	1987年	油彩、パステル・ゴム板	18.3×30.0
II-05	鈴木省三	重力の光	1996年	油彩・キャンバス	45.6×37.8
II-06	鈴木省三	谷古入[やこいり]	1996	油彩・キャンバス	53.0×45.5
II-07	鈴木省三	一万年の旅路	1999年	油彩・キャンバス	65.6×53.0
II-08	鈴木省三	夜の雲	1999年	油彩・綿布	45.2×38.0
II-09	鈴木省三	陽	1999年	油彩・キャンバス	53.2×45.4
II-10	鈴木省三	夜のクニ	2003年	油彩・キャンバス	38.1×45.3
II-11	鈴木省三	For Sohtatsu	2006年	油彩・キャンバス	52.0×73.0
II-12	鈴木省三	無題	2007年	油彩・キャンバス	18.2×25.9
II-13	鈴木省三	世界の門	2008年	油彩・キャンバス	22.3×27.6
II-14	鈴木省三	果樹苑ミミ	2010年	油彩・キャンバス	38.0×45.4
II-15	鈴木省三	無題		水彩・紙	28.7×19.4(紙寸)
II-16	鈴木省三	無題		水彩・紙	27.4×21.9(紙寸)
II-17	鈴木省三	無題		水彩、鉛筆・紙	28.6×19.4(紙寸)
II-18	鈴木省三	無題		水彩・紙	24.0×17.2(紙寸)
II-19	鈴木省三	無題		水彩・紙	23.5×19.0(紙寸)
II-20	鈴木省三	無題	2004年	水彩・紙	19.2×23.8(紙寸)
II-21	鈴木省三	無題		水彩・紙	19.4×28.7(紙寸)
II-22	鈴木省三	無題		水彩、鉛筆・紙	35.5×27.2(紙寸)
II-23	鈴木省三	無題		水彩・紙	45.3×37.7(紙寸)
II-24	鈴木省三	無題		水彩・紙	35.5×27.2(紙寸)
II-25	鈴木省三	無題		水彩・紙	45.3×37.5(紙寸)

世紀末ウィーンのグラフィック —デザインそして生活の刷新にむけて

会期：2019年4月13日(土)～6月9日(日) 50日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館、
京都国立近代美術館

入場者数：13,348人

担当学芸員：佐川夕子

巡回：京都国立近代美術館(2019年1月12日～2月24日)



本展は、京都国立近代美術館が2015年に収蔵した約300件にのぼる世紀末ウィーンのグラフィック作品群の研究成果を基に同館が企画したもので、同館の協力のもと開催した。

19世紀末から20世紀初頭のウィーンは、グスタム・クリムトやヨーゼフ・ホフマンらを中心に、新しい時代に相応しい芸術とデザインの在り方が模索され、絵画、彫刻、建築をはじめ数多くの作品が誕生した。なかでも、グラフィックの分野は、印刷技術の発展や雑誌メディアの隆盛を背景にめざましい発展をし、人々や社会に新しい芸術の動向を伝え、浸透させる上でも重要な役割を担っていた。本展では、ウィーン分離派やウィーン工房のデザインや作品、当時数多く制作された多色刷木版作品やさかんに刊行された美術雑誌や書籍に見るグラフィックを紹介した。また、武蔵野美術大学所蔵のリヒャルト・ルクシュによる石膏彫像とアドルフ・ロースの家具一式も展示し、建築や家具なども紹介し、同時代のウィーンの芸術の息吹と魅力を伝えた。

●カタログ

サイズ：18.8×23.3cm／392ページ／装幀2種

デザイン：西岡勉／発行：京都国立近代美術館

内容：

ごあいさつ | 世紀末ウィーンのグラフィック—デザインそして生活の刷新にむけて [池田祐子] | I ウィーン分離派とクリムト | II 新しいデザインの探求 | III 版画復興とグラフィックの刷新 | IV 新しい生活へ | ポストカードと建築家—リンクシュトラーセの建設に遡る建築的思考の分裂 [本橋仁] | 作家解説 | 資料 | 図録番号・所蔵作品番号対応表 | 作品リスト

●広報印刷物

ポスター B2／チラシ A4(二つ折り)／広報用カード(5.5×9.0cm)

デザイン：西岡勉

●関連催事

1. 講演会「世紀末ウィーンとグラフィック—総合芸術に見る民主化の試み」

講師：池田祐子(京都国立近代美術館学芸課長/本展企画者)／開催日：4月20日(土)／参加者：79人

2. 講演会「世紀末ウィーンの社会と文化」

講師：山之内克子(神戸市外国語大学教授 [オーストリア、ウィーン文化史])／開催日：5月12日(日)／参加者：104人

3. 大人ののための美術カフェ「様式のない時代は可能—世紀末ウィーンの建築から考える」

講師：本橋仁(京都国立近代美術館特定研究員)／開催日：5月26日(日)／参加者：69人

●主要関連記事

1. 「春の話題展&アートイベント×114・展覧会情報」『月刊美術』 2019年4月号

2. 「美術展&美術館 2019最新版」『ぴあMOOK』 2019年4月30日号

3. 「セレクト10 今月の展覧会&コンペティション」月刊ブレン(2019年6月1日号)

出品リスト

凡例

・作品のデータは、出品番号 | 作家名等 | 作品・資料名 | 制作年 | 所蔵等 の順に記載した。

・所蔵先について、「※」印を付けたII-55、II-73-2〜8は武蔵野美術大学美術館・図書館の所蔵で、それ以外はすべて京都国立近代美術館の所蔵である。

No. 作家名等 | 作品・資料名 | 制作年 | 所蔵等

■ I ウィーン分離派とクリムト

1. ウィーン分離派—展覧会と機関誌『ヴェル・サクルム』

- I-1 グスタフ・クリムト | ウィーン分離派の蔵書票 | 1900年頃
- I-2 アドルフ・ベーム | 第1回ウィーン分離派展記念〈ヴェル・サクルム〉絵葉書 No. 2 | 1898年
- I-3-1 コロマン・モーザー | 第1回ウィーン分離派展記念〈ヴェル・サクルム〉絵葉書 No. 1 | 1898年
- I-3-2 コロマン・モーザー | 第1回ウィーン分離派展記念〈ヴェル・サクルム〉絵葉書 No. 4 | 1898年
- I-3-3 コロマン・モーザー | 第1回ウィーン分離派展記念〈ヴェル・サクルム〉絵葉書 No. 7 | 1898年
- I-4 菊川英山(挿画) | ポスター〈分離派オーストリア造形芸術家協会 第6回美術展〉 | 1900年頃
- I-5 オーストリア造形芸術家協会(編) | 『オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉年報第1号』 | 1899年
- I-6 オーストリア造形芸術家協会(編)/アドルフ・ベーム(装丁) | 『第5回オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉展カタログ』 | 1899年
- I-7 オーストリア造形芸術家協会(編) | 『第6回オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉展カタログ』 | 1900年
- I-8 オーストリア造形芸術家協会(編)/ヨーゼフ・マリア・アウヘンター(表紙デザイン) | 『第7回オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉展カタログ』 | 1900年
- I-9 オーストリア造形芸術家協会(編)/コロマン・モーザー(装丁) | 『第8回オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉展カタログ』 | 1900年
- I-10 オーストリア造形芸術家協会(編)/ヨーゼフ・ホフマン(装丁) | 『第10回オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉展カタログ』 | 1901年
- I-11 オーストリア造形芸術家協会(編) | 『第12回オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉展カタログ』 | 1901年
- I-12 オーストリア造形芸術家協会(編)/コロマン・モーザー(装丁) | 『第13回オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉展カタログ』 | 1902年
- I-13 アルフレート・ローラー(表紙デザイン) | 『ドイツの芸術と装飾』第14回オーストリア造形芸術家協会〈ウィーン分離派〉展特集号』(第5年次第10号) | 1902年7月
- I-14 オーストリア造形芸術家協会(編)/コロマン・モーザー(装丁)、レオポルト・シュトルバ(表紙デザイン) | 『第15回オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉展カタログ』 | 1902年
- I-15 オーストリア造形芸術家協会(編)/レオポルト・パウアー(装丁) | 『第17回オーストリア造形芸術家協会〈分離派〉展カタログ』 | 1903年
- I-16 オーストリア造形芸術家協会(編)/コロマン・モーザー(装丁) | 『第18回オーストリア造形芸術家協会ウィーン〈分離派〉展:グスタフ・クリムト特集展カタログ』 | 1903年
- I-17 オーストリア造形芸術家協会(編)/アドルフ・ベーム(装丁) | 『第20回オーストリア造形芸術家協会ウィーン〈分離派〉展カタログ』 | 1904年
- I-18 オーストリア造形芸術家協会(編) | 『第31回オーストリア造形芸術家協会ウィーン〈分離派〉展:現代ロシア美術展カタログ』 | 1904年
- I-19 オーストリア造形芸術家協会(編) | 『第99回オーストリア造形芸術家協会ウィーン〈分離派〉展:クリムト記念展カタログ』 | 1928年
- I-20 『第13回オーストリア造形芸術家協会ウィーン〈分離派〉展参加要項』 | 1902年
- I-21 ヘルマン・パール(著)/ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ(表紙デザイン・挿画) | 『分離派』 | 1900年
- I-22 ルートヴィヒ・ヘヴェシ(著)/ヨーゼフ・ホフマン(装丁) | 『分離派の8年間:批判・論争・年史』 | 1906年
- I-23 オーストリア造形芸術家協会(編) | 『ヴェル・サクルム:オーストリア造形芸術家協会機関誌』[1900年〜「オーストリア造形芸術家協会報告書」 | 1898-1903[1904]年
- I-24 コロマン・モーザー | バラのある少女の頭部 | 1898年頃
- I-25 マキシミアン・レンツ | 春 | 1898年
- I-26 マキシミアン・レンツ | 秋 | 1898年
- I-27 フリードリヒ・ケーニヒ | 庭(春) | 1898年
- I-28 フリードリヒ・ケーニヒ | 鍍金術師 | 1899年
- I-29 フリードリヒ・ケーニヒ | ミューズ礼賛 | 1901年
- I-30 ルドルフ・イエットマー | プロメテウス[『ヴェル・サクルム』(第5年次、1902年、109頁)のためのオリジナル版画] | 1900年頃
- I-31-1 ルドルフ・イエットマー | 結葉(秋)[〈ヴェル・サクルム・カレンダー1902年〉10月絵のデザイン(『ヴェル・サクルム』第5年次、1902年、22頁)] | 1901年
- I-31-2 ルドルフ・イエットマー | 秋の木葉 | [〈ヴェル・サクルム・カレンダー1902年〉10月絵のデザイン(『ヴェル・サクルム』第5年次、1902年、23頁)] | 1901年
- I-32 フェルディナント・アンドリ | 〈ヴェル・サクルム・カレンダー〉のためのデザイン案 | 1901年
- I-33 フェルディナント・アンドリ | 刈入れ時[〈ヴェル・サクルム・カレンダー〉のためのデザイン案] | 1901年
- I-34 バター造りの農婦 | 1901年頃
- I-35 マルクス・ペーマー | ファウストとヴァーグナー[『ヴェル・サクルム』(第6年次、1903年、36頁)のための挿画] | 1902年
- I-36 コロマン・モーザー | 11月[『ヴェル・サクルム』(第5年次、1902年、267頁)のためのオリジナル版画] | 1902年
- I-37 カール・モル | 雪に埋もれデブリンクの別荘(ホーエ・ヴァルチ)[『ヴェル・サクルム』(第6年次、1903年、275頁)のためのオリジナル版画] | 1903年
- I-38 カール・モル | ホーエ・ヴァルチの別荘(コロマン・モーザー邸)[『ヴェル・サクルム』(第6年次、1903年、271頁)のためのオリジナル版画] | 1903年
- I-39 レオポルト・ブラウエンシュタイナー | 葦 | 1903年頃
- I-40 ミレーヴァ・ローラー | 女の隊列 | 1904年頃
- I-41 マキシミアン・クルツヴァイル | 自画像 | 1908年頃
- I-42 フェルディナント・アンドリ | グスタフ・クリムト像 | 1905年頃
- I-43 フェルディナント・アンドリ | 自画像 | 1908年頃
- I-44 コロマン・モーザー | コロマン・モーザーとエディタ(ディタ)・マウトナー=マルクホフの結婚通知ガード | 1905年

No. 作家名等 | 作品・資料名 | 制作年 | 所蔵等

- I-45 コロマン・モーザー | 1907年3月28日付ヘルマン・パール宛書簡 | 1907年
 I-46 エミール・オルリック | ヘルマン・パールの肖像 | 1909年
 I-47 エゴン・シーレ | アルトウール・レスラーの肖像 | 1914年
 I-48-a 作者不詳 | ベルトルト・レフラーのポートレート、自作ポスターの前で | 1910年頃
 I-48-b ルートヴィヒ・シュヴァーブ | ベルトルト・レフラーのポートレート | 1939年頃
 I-49-1 フェルディナント・アンドリ | 宗教画展(ウィーン分離派会館、1905年)のための壁画デザイン(1) | 1905年頃
 I-49-2 フェルディナント・アンドリ | 宗教画展(ウィーン分離派会館、1905年)のための壁画デザイン(2) | 1905年頃
 I-49-3 フェルディナント・アンドリ | 宗教画展(ウィーン分離派会館、1905年)のための壁画デザイン(3) | 1905年頃
 I-50 フェルディナント・アンドリ | 雲を背にする二人の女 | 1905年頃
 I-51-1 フェルディナント・アンドリ | 天使と二人の人物(1) | 1905年頃
 I-51-2 フェルディナント・アンドリ | 天使と二人の人物(2) | 1905年頃
 I-52 フェルディナント・アンドリ | 聖者のいる装飾的風景 | 1905年頃
 I-53 フェルディナント・アンドリ周辺作家 | 壁画のためのデザイン | 1912年頃
 I-54 フリードリヒ・ケーニヒ | ヴィトゲンシュタイン邸の絵画連作『シェークスピア『真夏の夜の夢』のための習作 | 1906年頃

2. クリムト、シーレそしてココシュカ

- I-55 グスタフ・クリムト | 右向きの浮遊する男性裸像[ウィーン大学大広間天井画《哲学》のための習作] | 1897-99年
 I-56 グスタフ・クリムト | 左を向いた半身立像[ウィーン大学大広間天井画《医学》のための習作:ソーニャ・クニプス旧蔵クリムト・スケッチブックの一枚] | [1901-07年]
 I-57 グスタフ・クリムト | 前向きの頭部および2つの手の習作[ウィーン大学大広間天井画《法学》の「真実の女神」のための習作] | [1903年頃]
 I-58 グスタフ・クリムト | 宣誓のポーズの2つの手、前腕を持ち上げた人物像右側部分、ならびに4つの足の習作[ウィーン大学大広間天井画《法学》の「正義の女神」および「エリーニエス(復讐の女神たち)のための習作] | [1903年頃]
 I-59 グスタフ・クリムト | 宣誓のポーズの3つの手の習作[ウィーン大学大広間天井画《法学》の「正義の女神」のための習作] | [1903年頃]
 I-60 グスタフ・クリムト | 古代ローマ人の長衣をまとった女性像(1)[ウィーン大学大広間天井画《法学》の「正義の女神」のための習作] | [1903-07年]
 I-61 グスタフ・クリムト | 古代ローマ人の長衣をまとった女性像(2)[ウィーン大学大広間天井画《法学》の「正義の女神」のための習作] | [1903-07年]
 I-62 グスタフ・クリムト | 古代ローマ人の長衣をまとった女性像(3)[ウィーン大学大広間天井画《法学》の「正義の女神」のための習作] | [1903-07年]
 I-63 グスタフ・クリムト | 板を支える手ならびに下向きの手の習作[ウィーン大学大広間天井画《法学》の「法則の女神」および「エリーニエス(復讐の女神たち)のための習作] | [1903年頃]
 I-64 グスタフ・クリムト | 左を向いて長い法服をまとった男の半身像[ウィーン大学大広間天井画《法学》の法学者のための習作] | [1903年頃]
 I-65 グスタフ・クリムト | 抱擁する二人の女性[《水蛇》](1904-07年)のための習作] | [1904年頃]
 I-66 グスタフ・クリムト | 横たわる裸婦[ルキアノス著『ルキアノスの遊女(ヘタイラ)の対話』(1907年刊)のための習作] | 1904年頃
 I-67 ルキアノス(著)/フランツ・ブライ(訳)/グスタフ・クリムト(画)/グスタフ・クリムト、ヨーゼフ・ホフマン(表紙デザイン)/ウィーン工房(装丁) | 『ルキアノスの遊女(ヘタイラ)の対話』 | 1907年
 I-68 ヘルマン・パール(著) | 『クリムト論』 | 1901年
 I-69 フェリックス・ザルテン(著)/ベルトルト・レフラー(表紙デザイン・装丁) | 『グスタフ・クリムト、時評』 | 1903年
 I-70 ポール・ヴェルレーヌ(著)/グスタフ・クリムト(画) | 『女たち』 | 1905年頃
 I-71 ヘルマン・パール、ペーター・アルデンベルク(序) | 『グスタフ・クリムト作品集』 | 1918年
 I-72 グスタフ・ネーベハイ(著) | 『グスタフ・クリムトの素描』 | 1918年
 I-73 H・Th・ワイデンフェルト(編)/ティエルク・ボッテマ(表紙デザイン)/マックス・アイスラー(文) | 『ヴェンディンゲン:グスタフ・クリムト特集号』(第3年次2号) | 1920年
 I-74 マックス・アイスラー(著)/ヨーゼフ・ホフマン(カバーデザイン) | 『グスタフ・クリムト』 | 1921年
 I-75 クンスト Schau・ウィーン(編) | 『クンスト Schau・ウィーン臨時カタログ 1908 年』 | 1908年
 I-76 エゴン・シーレ | 少年像 | 1912年
 I-77 アルベルト・パリス・フォン・ギュターズロー(著) | 『エゴン・シーレ』 | 1911年
 I-78 『第9回ノイエ・クンスト/ハンス・ゴルトツ 特集展:エゴン・シーレ(ウィーン)』 | 1913年
 I-79 『エゴン・シーレの素描』 | 1917年
 I-80 オскар・ココシュカ | 表面:かがみ込んだ裸婦/裏面:前傾姿勢 | 1906年頃

■ II 新しいデザインの探求

1. 図案集の隆盛

- II-1 コロマン・モーザー(表紙デザイン) | 『ゲルラハ&シェンク芸術家の家(ウィーン)で展示されたオリジナル・スケッチ、油彩画、水彩画、版画ならびにモデル作品』(第2版・改訂版) | 1896年
 II-2 マルティン・ゲルラハ(編)/カール・オットー・チェシュカ、ハインリヒ・レフラー、コロマン・モーザー、グスタフ・クリムト、ベルトルト・レフラーほか(画) | 『アレゴリー、新シリーズ、著名現代芸術家によるオリジナルデザイン』 | 1900年頃
 II-3 ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ | 『オルブリヒ アイデア集』 | 1900年
 II-4 カール・オットー・チェシュカ/マルティン・ゲルラハ(著) | 『ビネット形式のアイデア大全』(『ディ・クヴェレ(泉)』第1巻) | [1902年]
 II-5 カール・オットー・チェシュカ/マルティン・ゲルラハ | 『ビネット形式のアイデア大全』(『ディ・クヴェレ(泉)』第1巻)のためのデザイン案 | 1901年頃
 II-6 マックス・ベニルシュケ(著・画) | 『書籍装丁と平面模様』(『ディ・クヴェレ(泉)』第2巻) | 1902年
 II-7-1~19 マックス・ベニルシュケ | 『書籍装丁と平面模様』(『ディ・クヴェレ(泉)』第2巻)のためのデザイン案
 II-7-1 ビネット「二羽の鳥、鴛と鸛」 | 1900年頃
 II-7-2 ビネット「兎」 | 1901年頃
 II-7-3 ビネット「鳥」(1) | 1901年頃

No. 作家名等 | 作品・資料名 | 制作年 | 所蔵等

- II-7-4 花の装飾 1901年頃
 II-7-5 ベリー 1900-01年
 II-7-6 ビネット「花」 1901年頃
 II-7-7 ビネット「葉」 1901年頃
 II-7-8 ビネット「花卉」 1901年頃
 II-7-9 ビネット「茎」 1901年頃
 II-7-10 ビネット「葉」 1901年頃
 II-7-11 インディアンの頭部 1901年頃
 II-7-12 ビネット「木立」 1901年
 II-7-13 ビネット「女の横顔」 1901年
 II-7-14 ビネット「女の頭部」 1901年
 II-7-15 ビネット「魚」 1901年
 II-7-16 ビネット「少女の頭部」 1901年頃
 II-7-17 ビネット「鳥」(2) 1901年頃
 II-7-18 ビネット「髪がかかった女の頭部」 1901年頃
 II-7-19 女の頭部のある花 1901年頃
 II-8 コロマン・モーザー(著・画) | 「平面装飾」[『ディ・クヴェレ(泉)』第3巻] | [1902年]
 II-9 マルティン・ゲルラハ(編)/フーゴ・ヒンデルベルガー(顕微鏡写真) | 『自然領域のフォルム世界』[『ディ・クヴェレ(泉)』第5巻] | [1902-04年]
 II-10 フェリツィアン・フォン・ミルバハ、ヨーゼフ・ホフマン、コロマン・モーザー、アルフレート・ローラー(編) | 『ディ・フレッヒエ(平面)―装飾画、ポスター、書籍そして印刷物装丁のデザイン集 第1巻』 | [1903/04年]
 II-11 ベルトルト・レフラー(編) | 『ディ・フレッヒエ(平面)―装飾デザイン集(新シリーズ) 第II巻』 | 1910/11年
 II-12 フランツ・チジェク、ヘルマン・カストナー(編) | 『自由デッサン: フランツ・チジェク主宰専門コースの基礎である自然物および日用品のデッサン授業法』 | 1925年

2. デザイン研究のプラットフォーム―ウィーン工芸学校とウィーン工房を中心に

- II-13 ウィーン工芸学校生(画・装丁) | 『白に黒: ウィーンの作家たち、1902年2月6日 ウィーン工芸学校学生祭に寄せて』 | 1902年
 II-14 [ヨーゼフ・アウグスト・ルクス(著)] | 『若きウィーン ウィーン工芸学校作品集』 | [1907年]
 II-15 レオポルト・フォルストナー | 招待状<ウィーン工芸学校生主催仮装パーティー、1902年2月6日> | 1902年頃
 II-16 ウィーン工芸学校(編) | 『輪舞―歌曲のタペのためのプログラム』 | 1908年頃
 II-17 チャールズ・ホーム(編) | 『オーストリアにおける芸術再生』[『ザ・スチューディオ』1906年夏季特別号] | 1906年
 II-18 ウィーン工房/カール・オットー・チェシュカ(デザイン) | 『復活祭の贈物展』招待状 | 1905年頃
 II-19 ウィーン工房 | 第1回「食卓展」オープニング招待状 | 1905年頃
 II-20 フランツ・カール・デラヴィラ | ウィーン工房主催舞踏のタペ(1906年1月24日)への招待状 | 1906年
 II-21-1 コロマン・モーザー | 踊り子[ウィーン工房金工作品エンボスのためのデザイン] | 1904年頃
 II-21-2 コロマン・モーザー | 腕を上にあげた少女 立像[ウィーン工房金工作品エンボスのためのデザイン] | 1904年頃
 II-22-1 オスカー・ココシュカ | 花園[ウィーン工房絵葉書 No. 64] | 1906-08年
 II-22-2 オスカー・ココシュカ | 山麓で羊といる少女[ウィーン工房絵葉書 No. 79] | 1906-08年
 II-22-3 オスカー・ココシュカ | 窓辺の少女[ウィーン工房絵葉書 No. 152] | 1906-08年
 II-23 オーストリア=ハンガリー帝立王立宮廷国家印刷所(編)/ルドルフ・フォン・ラリッシュ(タイポグラフィ)/コロマン・モーザー(装丁)/カール・オットー・チェシュカ(画) | 『オーストリア=ハンガリー帝立王立宮廷国家印刷所 1804-1904年: 創設100周年を記念して』 | 1904年
 II-24 ウィーン工房(装丁) | 『オーストリア=ハンガリー帝立王立郵便貯金局設立25周年記念論集』 | 1908年
 II-25 ウルバン・ヤンケ | ウィーン風景 | 1906年頃
 II-26 ビエール・ジャネ(著)/フランツ・フォン・バイロス(画)/ウィーン工房(表紙デザイン) | 『16番目の結婚の喜び: 15の結婚の喜びに対する風刺―翻訳と原文』 | 1909年
 II-27 ウィーン工房[マックス・メル(編)/ヨーゼフ・ホフマン(装丁)] | 『ウィーン工房年鑑』 | 1911年
 II-28 作者不詳 | あるウィーン工房作家の手帳 | 1903年頃
 II-29 ウィーン工房(編)/マティルデ・フレークル、マリア・リカルツ、ダゴベルト・ペヒエ、フェリーツェ・リックス、エドゥアルト・ヴィマー=ヴィスグリルほか(画) | 『ウィーン・ファッション 1914/15(1・4・5号) | 1914/15年
 参考出品 フェリーツェ・リックス(フェリーツェ・リチ・上野=リックス) | 絵本 | 1915年頃
 II-30 ヨーゼフ・ウルバン | 装飾的な縦縞 | 1897年頃
 II-31 ゼルギウス・フルビィ | 夜会用バックのデザイン | 1897年頃
 II-32 ゼルギウス・フルビィ | 婦人帽用飾りビンのデザイン | 1898年頃
 II-33 ヨーゼフ・エンゲルハルト | 衝立(締め)デザイン案 | 1898年頃
 II-34 コロマン・モーザー | バラのある少女像 | 1898年頃
 II-35 エルヴィン・ブッヒンガー | ビネット「日没」 | 1898年頃
 II-36 エルヴィン・ブッヒンガー | ビネット「二人の少女の頭部」 | 1901年頃
 II-37 エルヴィン・ブッヒンガー | 少女の頭部がある縁飾り | 1900年頃
 II-38-1 アドルフ・ベーム | 雪山(「ゴールデン・ホテル案内パンフレット」デザイン案)(1) | 1900年頃
 II-38-2 アドルフ・ベーム | 飾り雪(「ゴールデン・ホテル案内パンフレット」デザイン案)(2) | 1900年頃
 II-39 ベルトルト・レフラー | 雑誌『愛するアウグスティン』タイトル装飾のためのデザイン案 | 1903年頃
 II-40 ベルトルト・レフラー | 死神将軍(装丁デザイン案) | 1903年
 II-41-1 コロマン・モーザー | マーブル紙(丸) | 1903年頃
 II-41-2 コロマン・モーザー | マーブル紙(青白い山椒魚) | 1903年頃
 II-41-3 コロマン・モーザー | マーブル紙(山椒魚、紡錘形) | 1903年頃
 II-41-4 コロマン・モーザー | マーブル紙(斑点のある山椒魚) | 1903年頃
 II-41-5 コロマン・モーザー | マーブル紙(山椒魚、球形) | 1903年頃

No. 作家名等 | 作品・資料名 | 制作年 | 所蔵等

- II-41-6 コロマン・モーザー | マーブル紙(山鯨魚、浮袋のあるドラゴン形) | 1903年頃
 II-41-7 コロマン・モーザー | マーブル紙(自然装飾模様) | 1905年頃
 II-42 ミレーヴァ・ローラー | 鏡を覗き込むニンフ | 1904年頃
 II-43 レオポルト・フォルストナー | モザイク・デザイン案(サロメ) | 1908年頃
 II-44 パウル・レス | 鳥のいる葉装飾模様 | 1907年頃
 II-45 ヴェンツェル・オズヴァルト | 鳥のいる縁飾り | 1908年頃
 II-46 カミラ・ビルケ | 百合の飾り | 1916年頃
 II-47 ヨーゼフ・ホフマン周辺作家 | ダイナミックな装飾 | 1910年頃
 II-48 エリザベート・クーディシュ=ツォバ | 十字架基標 | 1920年頃
 II-49 マリー・フォン・ウヒャティウス | 猿 | 1903年
 II-50 マリー・フォン・ウヒャティウス | 月の女神 | 1904年頃
 II-51 マリー・フォン・ウヒャティウス | 装飾デザイン(鷲) | 1905年
 II-52 マリー・フォン・ウヒャティウス | 跳びはねる鹿 | 1905年頃
 II-53 マリー・フォン・ウヒャティウス | ステンドグラスのデザイン | 1905年頃
 II-54 マリー・フォン・ウヒャティウス | 布地模様デザイン | 1906年頃
 II-55 リヒャルト・ルクシュ | 女性ヌード | 1905年頃 | *

3. オットー・ヴァーグナーとヨーゼフ・ホフマンそしてアドルフ・ロース

- II-56 ゴットリープ・テオドル・ケンプフ=ハルテンカンフ | オットー・ヴァーグナー像 | 1900年
 II-57 オットー・ヴァーグナー | 『ニーダーエスライヒ州立精神施設院附属教会(シュタインホーフ教会)建設完成解説書』 | 1907年
 II-58 オットー・ヴァーグナー | 『スケッチ・プロジェクト・完成建築作品集』 | 1910年
 II-59 パウル・ローラー(編)/ジークフリート・シュラム(写真)/カール・ベニルシュケ(装丁) | 『ヴァーグナー・シュレー 01』 | 1901年
 II-60 『ヴァーグナー・シュレー 1902-03 年および1903-04 年: 上級建築監督官オットー・ヴァーグナーの建築流派によるプロジェクト、習作ならびにスケッチ』 | 1905年
 II-61 『ヴァーグナー・シュレー 1905-07』 | 1907年頃
 II-62 オットー・シェーンタール(編) | 『ウィーン造形芸術アカデミーにおけるオットー・ヴァーグナー顕彰年—学生・プロジェクト・習作・素描作品集』 | 1912年
 II-63 ヨーゼフ・アウグスト・ルクス(著)/マックス・ベニルシュケ(装丁) | 『近代住宅とその内装: 近代の建築家たちとその流派による作品と下図の写真とカラー図版入』 | [1905年]
 II-64 (ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ) | 絵筆密くダラムシュタット芸術家コロニー、オルブリヒ教授邸 | 1906年
 II-65 ヨーゼフ・ホフマン | ブロンシア・カラー=ビネルのための家具デザイン案(a. 衣裳革箱/b. カウチ・テーブル/c. サイド・テーブル/d. サイド・テーブルほか/e. ナイト・テーブル/f. 肘掛け椅子) | 1908-13年
 II-66 ヨーゼフ・ホフマン | ブロンシア・カラー=ビネルのアトリエ・ハウス設計案 | 1908-10年
 II-67 オーストリア工作連盟(編) | 『ヨーゼフ・ホフマン、1930年12月15日60歳の誕生日に寄せて』(雑誌『女性年鑑』特別号) | 1930年
 II-68 エミール・ホッペ | ランタンのためのデザイン | 1910年頃
 II-69 エミール・ホッペ | 淡青色の傘がついた卓上ランプのデザイン | 1910年頃
 II-70 エミール・ホッペ | 黄色の傘がついた卓上ランプのデザイン | 1910年頃
 II-71 フランツ・シュヴァルツ | モニュメントのためのデザイン(フューガー賞のために) | 1912年頃
 II-72 アドルフ・ロース | 『ダス・アンデレ: 西欧文化紹介誌』 | 1903年
 II-73-1 アドルフ・ロース | 壁付家具 | 1904年頃 | *
 II-73-2 アドルフ・ロース | 壁付家具 | 1904年頃 | *
 II-73-3 アドルフ・ロース | 飾り棚 | 1904年頃 | *
 II-73-4 アドルフ・ロース | アームチェア(1) | 1904 年頃 | *
 II-73-5 アドルフ・ロース | アームチェア(2) | 1904年頃 | *
 II-73-6 アドルフ・ロース | エクステンションテーブル | 1904年頃 | *
 II-73-7 アドルフ・ロース | フラワーテーブル | 1904年頃 | *
 II-73-8 アドルフ・ロース | ネストテーブル | 1904年頃 | *

■ III 版画復興とグラフィックの刷新

1. 木版画の復興

- III-1 エミール・オルリーク | 旧きブラハ | 1897[1902]年
 III-2 マキシミリアン・クルツヴァイル | シェーンブルンのあずまや | 1903年頃
 III-3-1 マキシミリアン・クルツヴァイル | クッション(寝椅子に座るマルタ・クルツヴァイル) | 1903年
 III-3-2 マキシミリアン・クルツヴァイル | クッション | 1903年
 III-4 ノラ・エクスナー・フォン・ツムブッシュ | 蘭 | 1903年頃
 III-5 レオポルト・ブラウエンシュタイナー | 男の頭部(自画像) | 1905年頃
 III-6 レオポルト・ブラウエンシュタイナー | 屋根裏の幽霊 | 1906年頃
 III-7 レオポルト・ブラウエンシュタイナー | 木(『クンストシャウ 1908年』ポートフォリオのために) | 1906年頃
 III-8 レオポルト・ブラウエンシュタイナー | 葦の中のボート | 1906年頃
 III-9 カール・モル | ハイリゲンシュタットの聖ミヒャエル教会 | 1903年
 III-10 カール・モル | 冬(ウィーンのホーエ・ヴァルデ) | 1903年
 III-11 カール・モル(版画)/ヨーゼフ・ホフマン、ウィーン工房(装丁) | 版画集「ペーター・ヴェンの家」 | 1908年
 III-12 ヘーデ・ヤーン | リーヒテンシュタイン城(モラヴィア地方シュテルンベルク) | 1913年
 III-13 ミレーヴァ・ローラー | 風の女神 | 1904年頃

No. 作家名等 | 作品・資料名 | 制作年 | 所蔵等

Ⅲ-14	ミレーヴァ・ローラ 恋人たち 1904年頃
Ⅲ-15	マリー・フォン・ウヒャティウス 印刷機 1903年頃
Ⅲ-16	マリー・フォン・ウヒャティウス 老人の顔部 1905年頃
Ⅲ-17	マリー・フォン・ウヒャティウス 宛 1905年頃
Ⅲ-18-1	マリー・フォン・ウヒャティウス 大天使 1905年頃
Ⅲ-18-2	マリー・フォン・ウヒャティウス 大天使 1905年頃
Ⅲ-19	カール・クレネク 森の中の少女 1906年
Ⅲ-20	カール・クレネク 四季 1906年
Ⅲ-21	ブロンシア・コラー＝ピネル 木版画《岩山風景》のための下絵 1904年頃
Ⅲ-22	ブロンシア・コラー＝ピネル 岩山風景 1904年頃
Ⅲ-23	ブロンシア・コラー＝ピネル 悲しみ 1908年頃
Ⅲ-24	ルドルフ・カルヴァハ トリエステ港 1907-08年
Ⅲ-25	ルドルフ・カルヴァハ トリエステ港の荷積みするボート 1908年頃
Ⅲ-26-1	ルドルフ・カルヴァハ 港の船(1) 1908年頃
Ⅲ-26-2	ルドルフ・カルヴァハ 港の船(2) 1908年頃
Ⅲ-27	ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル シェーンブルンのあずまや 1911年
Ⅲ-28-1	ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル 豹(連作「シェーンブルンの動物たち」より) 1909年
Ⅲ-28-2	ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル 禿鶉(連作「シェーンブルンの動物たち」より) 1909年
Ⅲ-28-3	ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル ライオンの頭部(連作「シェーンブルンの動物たち」より) 1909年
Ⅲ-28-4	ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル フラミンゴ(連作「シェーンブルンの動物たち」より) 1909年
Ⅲ-28-5	ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル 三羽の青い鸚鵡(連作「シェーンブルンの動物たち」より) 1909年
Ⅲ-29	ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル 豹の小さい頭 1912年頃
Ⅲ-30	ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル 七羽の鸚鵡 1914年頃
Ⅲ-31	ベルトルト・レフラー ボールで遊ぶ童子 1910年頃
Ⅲ-32	ベルトルト・レフラー パンフルートを吹くピエロ 1910年頃
Ⅲ-33	ベルトルト・レフラー マーキュリー 1910年頃
Ⅲ-34	フランツ・フォン・ツューロウ 畑野の荷馬車 1905年頃
Ⅲ-35	フランツ・フォン・ツューロウ 豚飼 1908年頃
Ⅲ-36	フランツ・フォン・ツューロウ 庭の垣根 1911年頃
Ⅲ-37	フランツ・フォン・ツューロウ 畑野 1912年頃

2. 版画の新潮流

Ⅲ-38	オスカー・ラスケ 無名者の墓地 1904年頃
Ⅲ-39	フランツ・フォン・バイロス ボンボニエール 1907年
Ⅲ-40	レオポルト・シュトルバ 木のある風景 905年頃
Ⅲ-41	レオポルト・シュトルバ 砂丘風景 1905年頃
Ⅲ-42	エルンスト・シュテール 古代夜景(花瓶をもつ婦人) 1906年頃
Ⅲ-43	エルンスト・シュテール 山の湖 1906年頃
Ⅲ-44	エルンスト・シュテール 湖 1906年頃
Ⅲ-45	ルイーゼ・ボッセ 白服の婦人 1904年頃
Ⅲ-46	ルイーゼ・ボッセ リュージュ乗り 1904年頃
Ⅲ-47	ルイーゼ・ボッセ 庭 1906年頃
Ⅲ-48	ヴィルヘルム・リスト 五月の太陽 1902年頃
Ⅲ-49	フェルディナント・アンドリ 農夫と農婦 1900年
Ⅲ-50	フェルディナント・アンドリ 野良仕事 1906年
Ⅲ-51	フェルディナント・アンドリ 座る農婦 1906年
Ⅲ-52	オットー・フリードリヒ 新聞 1904年頃
Ⅲ-53	オットー・フリードリヒ デモンストレーション 1908年頃
Ⅲ-54	オットー・フリードリヒ 恋人たち 1905年頃
Ⅲ-55	オットー・フリードリヒ 最後の審判の日 1908年頃
Ⅲ-56	ミルバハ周辺 アンティークな顔部 1905年頃
Ⅲ-57	レオポルト・シュトルバ 木の下少女 1906年
Ⅲ-58	カール・クレネク 森の農家 1908年頃
Ⅲ-59	ベルトルト・レフラー 童子 1910年頃

3. 素描の魅力

Ⅲ-60	ヴィルヘルム・ベルナツィク 夜の気配(油彩画《ノインキルヒェン近郊シュタインフェルト、薄暮》草稿) 1898年頃
Ⅲ-61	ルドルフ・アイェットマー 一日の四つの刻 1898年頃
Ⅲ-62	ハインリヒ・レフラー オランダの紡ぎ女たち 1900年頃
Ⅲ-63	フェルディナント・アンドリ 雲のある風景 1901年頃
Ⅲ-64	フェルディナント・アンドリ 白樺のある山の風景 1910年頃
Ⅲ-65	フリードリヒ・ケーニヒ 勝利の女神 1899年頃
Ⅲ-66	フリードリヒ・ケーニヒ 麗く赤いローブの女性 1905年頃
Ⅲ-67	ミレーヴァ・ローラ ケープをまとう女 1904-05年
Ⅲ-68	ミレーヴァ・ローラ 女神と麗く少女 1904年頃
Ⅲ-69	ミレーヴァ・ローラ パラス・アテナ 1904年頃

No.	作家名等	作品・資料名	制作年	所蔵等
Ⅲ-70	ミレーヴァ・ローラー	四人の女	1904年	
Ⅲ-71	エーリヒ・マッリーナ	天使	1905年頃	
Ⅲ-72	エーリヒ・マッリーナ	母子のいる風景	1910年頃	
Ⅲ-73	フランツ・ツェレツニー	人物デッサン(a, シュベッサー, b, 画家マイアー・ホーファー, c, ライズインガー教授)	1906-07年(a, 1906年5月13日, b, 1907年4月12日)	
Ⅲ-74	レオポルト・ブラウエンシュタイナー	木のある庭場	1906年頃	
Ⅲ-75	ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル	花畑	1906年頃	
Ⅲ-76	ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル	チータ	1912年頃	
Ⅲ-77	ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル	山猫	1912年頃	
Ⅲ-78	ヨーゼフ・ディヴェーキー	葡萄売り	1906年頃	
Ⅲ-79	ハンス・ペーラー	立つ少女	1908年頃	
Ⅲ-80	カール・シュルダ	ロングドレスの婦人立像	1908年頃	
Ⅲ-81	カール・シュルダ	裸の少女	1908年頃	
Ⅲ-82	カール・シュルダ	恋人たち	1908年頃	
Ⅲ-83	エドゥアルト・ステラ	分離派風ライフスタイル	1908年頃	
Ⅲ-84	エアハルト・アマデウス・ディール	リュート奏者	1913年	

■IV 新しい生活へ

1. 日常生活とグラフィック・デザイン

IV-1	ヨーゼフ・アウグスト・ルクス(編)	『ホーエ・ヴァルテ: 芸術的教養と都市文化の育成のための隔週誌』	1904-08年
IV-2	ペーター・アルテンベルク(編)	『クンスト(芸術): 芸術とそのほか全てのための月刊誌』	1903/1904年
IV-3	カール・F・コチマー(編)	『フェア! ペーター・アルテンベルク: あらゆるものにおける近代的精神の表現』	1917/1918年
IV-4	アルフレート・ローラー	ポスター〈ウィーン近郊雪山鉄道〉	1897年
IV-5	コロマン・モーザー	ポスター〈オーストリア挿画新聞〉	1900年
IV-6	ベルトルト・レフラー	ポスター〈シュペルトブントの謝肉祭/世界は改善されねばならない〉	1903年頃
IV-7	テオドル・ツァシェ	ポスター〈第6回国際自動車展ウィーン 1906年〉	1906年
IV-8	デラヴィラ周辺	ポスター・デザイン案〈カフェ・アルハンブラ〉	1910年頃
IV-9	リヒャルト・ハルルフィンガー	ポスター〈造形芸術家経済連盟「美術」展覧会〉	1916年頃
IV-10	リヒャルト・ノイトラ	ポスター〈ウィーンの孤立と苦難〉	1918年頃
IV-11	オトカル・マッシャ	『オーストリアのポスター芸術』	[1915年]
IV-12	レオポルト・フォルストナー	案内状(L. W. アベルスの講話, アルノート画廊於)	1900年頃
IV-13	ベルトルト・レフラー(表紙デザイン)	プログラム『謝肉祭のおとぎの魔法, シュペルトブント主催仮面舞踏会』	1901年
IV-14	エディタ(ディタ)・モーザー	トランプカード	1905年
IV-15	カール・オットー・チェシュカ(装丁)/カール・オットー・チェシュカ, ベルトルト・レフラー, フリッツ・ツァイマー, オスカー・ココシュカ(第1号: 表紙・挿画)/モーリッツ・ユンク(第2号: 表紙・挿画)	『キャバレー〈フレーダーマウス〉上演本』第1号および第2号	1907年
IV-16	ルドルフ・イェットマー	フリッツ・ヴェルンドルフアーの蔵書票	1903年頃
IV-17	コロマン・モーザー	フリッツ・ヴェルンドルフアーの蔵書票	1903年
IV-18	オスカー・ココシュカ	エマ・パッヒャーの蔵書票	1909年頃
IV-19	ハインリヒ・レフラー, ヨーゼフ・ウルバン(挿画)	『オーストリア月次絵』	1900年
IV-20	コロマン・モーザー	月次絵	1899年頃
IV-21	カール・オットー・チェシュカ	1904年版カレンダー	1903年
IV-22	ハインリヒ・レフラー	シンデレラ(宮廷舞踏会)	1903年頃
IV-23	ベルトルト・レフラー	十二月(カレンダーのためのデザイン案)	1906年頃
IV-24	ルドルフ・ユンク	1908年版カレンダー	1907年
IV-25	エディタ(ディタ)・モーザー	1908年度版カレンダー	1907年
IV-26	エディタ(ディタ)・モーザー	1910年度版カレンダー	1909年
IV-27	エディタ(ディタ)・モーザー	1913年度版カレンダー	1912年
IV-28	フランツ・フォン・ツューロウ	月刊帳(1914年7月版, 1915年3月版)	1914/15年

2. 挿画と装丁

IV-29	ハンス・フラウングルーバー(編)/ベルトルト・レフラー(装丁・挿画)	『少年の魔法の角笛』(「ゲルラハ青少年叢書 第4巻」)	1902年
IV-30-1~7	ベルトルト・レフラー	『少年の魔法の角笛』(「ゲルラハ青少年叢書 第4巻」のための挿画)	1903年頃
IV-30-1		肩掛けを羽織る老女	1903年頃
IV-30-2		ドラゴン	1903年頃
IV-30-3		犬を連れて男	1903年頃
IV-30-4		愚か者ども(1)	1903年頃
IV-30-5		愚か者ども(2)	1903年頃
IV-30-6		傘を持つ小人	1903年頃
IV-30-7		小妖魔	1903年頃
IV-31	アウグスト・コピッシュ(著)/フェルディナント・アンドリ(挿画)	『精選詩集』(「ゲルラハ青少年叢書 第13巻」)	[1904年]
IV-32-1~6	フェルディナント・アンドリ	アウグスト・コピッシュ『精選詩集』(「ゲルラハ青少年叢書 第13巻」のための挿画)	1903年頃
IV-32-1		ライ麦おばさん	1903年頃

No.	作家名等	作品・資料名	制作年	所蔵等
	IV-32-2	騎兵の装飾模様	1903年頃	
	IV-32-3	眠れる小妖魔(詩「小さな帽子」のための挿画)	1903年頃	
	IV-32-4	ドアの中の男	1903年頃	
	IV-32-5	小妖魔	1903年頃	
	IV-32-6	佇む小妖魔	1903年頃	
IV-33-1	フリーゴ・シュタイナー=ブラーク	錫の兵隊(ニコラウス・レーナウ『精選詩集』『ゲルラハ青少年叢書 第10巻』のための挿画)	1905年	
IV-33-2	フリーゴ・シュタイナー=ブラーク	湯気のとつ薬罐がのったテーブル(ニコラウス・レーナウ『精選詩集』『ゲルラハ青少年叢書 第10巻』のための挿画)	1905年	
IV-34	フランツ・カール・デラヴィラ	『悲しい小節』	1906年	
IV-35	フランツ・カイルム(著)/カール・オットー・チェシュカ(挿画)	『ニーベルンゲン』(『ゲルラハ青少年叢書 第22巻』)	1908年頃	
IV-36	ベルトルト・レフラー	『白雪姫と七人のこびと』挿画のためのこびと習作	1908-11年頃	
IV-37	ベルトルト・レフラー	『白雪姫と七人のこびと』に関する草稿	1911年頃	
IV-38	ハインリヒ・レフラー(表紙デザイン)	『モデル中央組合総合カタログ』	1895年	
IV-39	ウィーン造形芸術家組合(編)/アルフレート・ローラー(表紙デザイン)	『リュブリャナのために:1895年春に発生した大地震で被災したライパハおよびその周辺地域の住民のために』	1895年	
IV-40	ウィーン・サイクリング・クラブ、(キュンストラ・ハウス)(編)/カール・ラビス、カール・ザイドル(文)/ラファエル・キルヒナー(装丁)/ラファエル・キルヒナー、ハインリヒ・レフラーほか(挿画)	『サイクリング!』	1897年	
IV-41	フェリシー・エーヴァルト(編)/コロマン・モーザー(装丁・挿画)	『青春の宝物:ドイツ詩集』	1897年	
IV-42	ゲオルク・シュタインハウゼン(著)/コロマン・モーザー(装丁)	『昔のドイツ商人』(『ドイツ文化史叢書 第2巻』)	1899年	
IV-43	コルネリウス・グルリット(著)/コロマン・モーザー(装丁)	『19世紀のドイツ美術』	1899年	
IV-44	ウィーン市舞踏会委員会(編)/コロマン・モーザー(装丁)	『ウィーン市舞踏会』	1901年2月9日	
IV-45	フランツ・セルヴァース(著)/コロマン・モーザー(装丁)	『ジョ・ヴァンニ・セガンティーニ:人生と作品』	1902年	
IV-46	ルートヴィヒ・ヘヴェシ(著)/コロマン・モーザー(装丁)	『19世紀のオーストリア美術』	1903年	
IV-47	ユリウス・ビトナー、コロマン・モーザー(著)/コロマン・モーザー(挿画)	『山の湖:コロマン・モーザーによる舞台美術デザインと解説』	1911年	
IV-48	ハンス・バトゲ(著)/ヨーゼフ・マリア・オルブリヒ(装丁・挿画)	『青春の祝祭:詩集』	1901年	
IV-49	カール・ベツヒャー、エーノホ・ハインリヒ・キッシュ(編)/ベルトルト・レフラー(装丁)	『第74回ドイツ自然科学者・医師会記念論文集、カールスパート、1902年』	1902年	
IV-50	ウィーン市議会(編)/ハインリヒ・レフラー、ヨーゼフ・ウルバン(装丁・挿画)	『ウィーン市シラー記念集』	1905年	
IV-51	W.ラブラー(選)/ハインリヒ・レフラー、ヨーゼフ・ウルバン(挿画)	『クリンク・クランク・グロリア:ドイツの民謡と童謡』	[1907年頃]	
IV-52	ヘッダー・ザウアー(著)/リヒャルト・テシュナー(表紙デザイン・挿画)	『詩集—赤き薔薇に雪降りしとき』	1904年	
IV-53	リヒャルト・テシュナー(装丁)	『アンナホーフ:文と画—A・ハーゼ家(プラハ)のモノグラフィ—』	1908年	
IV-54	ウィーン市舞踏会委員会(編)/レミギウス・ガイリンク(挿画)	『1909年ウィーン市舞踏会、1809年の開催日を記念して』	1909年	
IV-55	ジョン・ウィルモット・ロチェスター(著)/ユリウス・クリンガー(挿画)	『ソドム:ある遊戯』	1909年	
IV-56	作者不詳	『花嫁の花冠』	1909年	
IV-57		『コンコルディア舞踏会』	1912年2月12日	
IV-58	クレメンス・ブレンターノ(著)/カール・シュルダ(挿画)	『勇敢なカスベルと美しきアンネルの物語』	[1920年]	
IV-59	コロマン・モーザー	『アルベルティーナほか所載 昔の巨匠のデッサン集』(第4巻)の表紙のためのデザイン	1898年頃	
IV-60	フランツ・ヴァツィーク	丸い鏡を持つ二人の悪魔	1903年頃	
IV-61	フランツ・ヴァツィーク	ミュンヒハウゼン男爵	1904年頃	
IV-62	ベルトルト・レフラー	カップル	1903年頃	
IV-63	ベルトルト・レフラー	修道士(ヴィーナー出版のためのデザイン案)	1903年	
IV-64	アントン・ノーヴァク	風景(『リルケ詩集』のためのデザイン案)	1903年頃	
IV-65	カール・オットー・チェシュカ	雪の白とバラの紅(童話のための挿画)	1905年頃	
IV-66	カール・オットー・チェシュカ	童話のための挿絵	1905年頃	
IV-67	カール・オットー・チェシュカ	三人の騎士	1905年頃	



カタログ



B2ポスター

太田喜二郎と藤井厚二 日本の光を追い求めた画家と建築家

会期：2019年7月13日(土)～9月8日(日) 50日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館、読売新聞社、
美術館連絡協議会

協力：竹中工務店

協賛：ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興和、
日本テレビ放送網(東京会場)、サッポロホールディングス株式会社

監修：松隈章(竹中工務店)

入場者数：6,970人

担当学芸員：山田真規子、加藤絵美

巡回：京都文化博物館(2019年4月27日～6月23日)



同時開催：ワークショップ夏「建築教室 一光と遊ぶ」

ベルギーに留学し同国の印象派を学んだ洋画家の太田喜二郎は、目黒区美術館の館蔵作家。一方、自邸「聴竹居」で近年注目を集めている建築家の藤井厚二は、太田のアトリエ設計者であった。異なる分野で活躍した二人の交流を軸に、西洋と日本の文化の融合及び自然の中で移ろう光の追求を取り上げた。二つの分野をクロスする新しい視点の展覧会として注目を集めたのと同時に、これまであまり名前の知られていなかった太田の作品への関心が高まった。

●カタログ

サイズ：25.7×18.2cm(B5判)／148ページ

デザイン：大森裕二(オオモリデザインオフィス)／発行：株式会社青幻舎

内容：

ごあいさつ | 太田喜二郎と藤井厚二 [植田彩芳子] | 第1章 太田喜二郎 / 留学前—東京に学ぶ/ ベルギー留学/ サン・ピエール寺の連作/ 帰国後—点描で描く日本の光/ 新たな日本の光を追い求めて | 第2章 太田喜二郎と藤井厚二の交流 / 太田喜二郎邸—藤井厚二設計/ 茶事を通して/ 書簡のやり取り/ 藤井厚二の次女、小西章子氏の回想 | 第3章 藤井厚二 / 聴竹居—藤井厚二自邸/ 石崎庚作邸—京都市内に建つ藤井厚二作品1/ 喜多源逸邸—京都市内に建つ藤井厚二作品2/ 小川邸—京都市内に建つ藤井厚二作品3/ 竹中工務店時代/ 海外視察/ 執筆活動—『日本の住宅』 | 太田喜二郎の言葉 藤井厚二の言葉 | 建築家・藤井厚二について [松隈章] | 藤井厚二の家具とインテリア—和風と近代の融合 [小泉和子] | 滞欧期の太田喜二郎について [山田真規子] | 太田喜二郎と京都—変容の背景 [中谷至宏] | 展覧会から展覧会へ—画家と建築家の企画展はどのように立ち上がった [降旗千賀子] | 年譜 | 太田喜二郎と藤井厚二の書簡類 翻刻 | 主要参考文献 | 出品リスト

●広報印刷物

ポスター B2／チラシ A4

デザイン：大森裕二(オオモリデザインオフィス)

●関連催事

1. 講演会「太田喜二郎と藤井厚二」

講師：植田彩芳子(京都文化博物館 学芸員)／開催日：7月13日(土)／参加者：44人

2. 講演会「新しい芸術と藤井厚二の建築」

講師：藤森照信(東京都江戸東京博物館 館長)／開催日：7月14日(日)／参加者：94人

3. 藤井厚二建築ガイドツアー「聴竹居」+「八木邸」

ナビゲーター：松隈章(竹中工務店、聴竹居倶楽部代表理事)、降旗千賀子(フリーランスキュレーター)／開催日：7月20日(土)／参加者：20人

4. 対談「建築家・藤井厚二を語る」

パネリスト：谷藤史彦(ふくやま美術館 前副館長)×松隈章(竹中工務店、聴竹居倶楽部代表理事)／開催日：8月24日(土)／参加者：136人

5. 大人のための美術カフェ1「太田喜二郎とベルギー」

ナビゲーター：山田真規子(当館学芸員)／開催日：9月1日(日)／参加者：45人

6. 大人のための美術カフェ2「太田喜二郎邸の謎」

①ナビゲーター：河村容治(元東京都市大学教授、本展太田喜二郎邸CG復元映像制作者)／開催日：9月7日(土)／参加者：67人

②ナビゲーター：山田真規子(当館学芸員)／開催日：9月8日(日)／参加者：27人

●主要関連記事

1. 「日曜美術館 アートシーン」NHK Eテレ 2019年8月4日放送
2. 大西若人「日本の風景 点で描いたのは『田植』」『朝日新聞』2019年8月20日夕刊
3. 芥川喜好「時の余白に『夏の光が考えさせたこと』」『読売新聞』2019年8月24日

出品リスト

凡例

- ・章ごとに分け、作品等のデータは原則、出品番号 | 作家名 | 作品・資料名 | 制作年 | サイズ(縦×横×奥行) | 所蔵 の順に記載した。
- ・出品番号は図録の番号と一致する
- ・出品した作品・資料以外に、藤井厚二が設計した建築のデータ、展示した実測図面及び建築の写真パネルのデータも掲載した。
- ・第2章及び第3章の写真パネルの建物写真については、撮影：古川泰造、写真提供：竹中工務店。

出品番号	作家名	作品・資料名	制作年	サイズ(cm)	技法・材質	所蔵
■第1章 太田喜二郎						
1-1	太田喜二郎	自画像	1919-51(大正8-昭和26)年	33.0×23.0	油彩・キャンバス	個人蔵
1-2	太田喜二郎	目黒	1902(明治35)年9月16日	27.0×18.5	水彩・紙	個人蔵
1-3	太田喜二郎	多摩川の夕日	1902(明治35)年11月9日	15.0×24.0	水彩・紙	個人蔵
1-4	太田喜二郎	荏原郡御殿山にて	1902(明治35)年10月28日	24.0×15.0	水彩・紙	個人蔵
1-5	太田喜二郎	築地農商務省	1902(明治35)年11月6日	15.0×19.3	水彩・紙	個人蔵
1-6	太田喜二郎	東京より帰還岐阜にて	1902(明治35)年12月	24.0×15.0	水彩・紙	個人蔵
1-7	太田喜二郎	黒田清輝筆《裸体・女》模写		24.0×15.0	鉛筆・紙	個人蔵
1-8	太田喜二郎	黒田清輝筆《裸体・女》模写		24.0×15.1	鉛筆・紙	個人蔵
1-9	太田喜二郎	木蔭の少女	1909(明治42)年	80.0×56.0	油彩・キャンバス	個人蔵
1-10	太田喜二郎	窓辺読書	1910(明治43)年	81.0×65.0	油彩・キャンバス	京都国立近代美術館
1-11	太田喜二郎	裸体習作	1910(明治43)年春	90.0×45.0	油彩・キャンバス	個人蔵
1-12	太田喜二郎	水辺の街	1908-13(明治41-大正2)年	50.0×74.0	油彩・キャンバス	京都国立近代美術館
1-13	太田喜二郎	樹陰	1911(明治44)年	89.0×115.0	油彩・キャンバス	京都市美術館
1-14	太田喜二郎	蓮の成長の経過デッサン(1)		各30.5×19.0	墨、着彩・紙	個人蔵
1-15	太田喜二郎	蓮の成長の経過デッサン(2)		33.8×42.8(見開き)	インク、鉛筆・紙	個人蔵
1-16	太田喜二郎	サン・ピエール寺(夏の朝)	1910-11(明治43-44)年	73.0×50.2	油彩・キャンバス	姫路市立美術館
1-17	太田喜二郎	サン・ピエール寺(夕陽)	1910-11(明治43-44)年	72.5×50.5	油彩・キャンバス	姫路市立美術館
1-18	太田喜二郎	ベルギー風景	1910-11(明治43-44)年	73.5×49.5	油彩・キャンバス	府中市美術館
1-19	太田喜二郎	サン・ピエール寺(冬の朝)	1910-11(明治43-44)年	74.5×50.5	油彩・キャンバス	個人蔵
1-20	太田喜二郎	雪の朝	1910-11(明治43-44)年	74.2×50.0	油彩・キャンバス	目黒区美術館
1-21	太田喜二郎	乳屋の娘	1911(明治44)年	101.0×75.0	油彩・キャンバス	京都国立近代美術館
1-22	太田喜二郎	新緑の頃	1911(明治44)年	87.4×100.2	油彩・キャンバス	東京国立近代美術館
1-23	太田喜二郎	夏の朝(花摘図)	1911-1912(明治44-45)年頃	130.0×118.0	油彩・キャンバス	星野画廊
1-24	太田喜二郎	バルコンの女	1911-12(明治44-45)年頃	130.5×97.0	油彩・キャンバス	京都市美術館
1-25	太田喜二郎	赤い日傘	1912(大正元)年	162.0×130.0	油彩・キャンバス	新潟大学
1-26	太田喜二郎	風景	1908-13(明治41-大正2)年	65.2×50.1	油彩・キャンバス	目黒区美術館
1-27	太田喜二郎	みのりの秋	1913(大正2)年	95.3×130.2	油彩・キャンバス	東京藝術大学大学美術館
1-28	太田喜二郎	帰り路(穂婦帰路)	1913(大正2)年	122.0×115.0	油彩・キャンバス	静岡県立美術館
1-29	太田喜二郎	斜陽	1915(大正4)年	128.0×117.0	油彩・キャンバス	個人蔵
1-30	太田喜二郎	婦農	1915(大正4)年	91.0×81.0	油彩・キャンバス	個人蔵
1-31	太田喜二郎	小憩	1915(大正4)年	99.0×86.0	油彩・キャンバス	個人蔵
1-32	太田喜二郎	農婦	1915(大正4)年	117.0×91.0	油彩・キャンバス	個人蔵
1-33	太田喜二郎	桑つみ	1916(大正5)年	198.0×162.5	油彩・キャンバス	東京国立近代美術館
1-34	太田喜二郎	田植	1916(大正5)年	121.5×115.3	油彩・キャンバス	東京国立近代美術館
1-35	太田喜二郎	夏の星	1919(大正8)年	180.0×241.0	油彩・キャンバス	京都市美術館
1-36	太田喜二郎	田植	1927(昭和2)年	128.0×159.5	油彩・キャンバス	個人蔵
1-37	太田喜二郎	黄河海戦下絵	1934(昭和9)年頃	67.0×59.0(窓寸)	油彩・キャンバス	個人蔵
1-38	太田喜二郎	鶏	1935(昭和10)年	120.0×119.0	油彩・キャンバス	京都市美術館

1-39	太田喜二郎 雪晴れの港	1951(昭和26)年頃	66.0×81.0	油彩・キャンバス	個人蔵
参考	太田喜二郎の絵具箱				個人蔵

■第2章 太田喜二郎と藤井厚二の交流

建築:太田喜二郎邸

竣工年:1924(大正13)年[1929(昭和4)年増築、1931(昭和6)年増改築]

実測図面(想定復原図) 実測及び作図:古材文化の会

配置図兼1階平面図 2018(平成30)年/2階平面図 2018(平成30)年

建築の写真パネル 撮影:古川泰造、写真提供:竹中工務店

太田邸 外観/新画室(アトリエ)南側内観/玄関アプローチ/階段手摺り/居間全景/茶室次の間 肘掛け/アプローチ部分石畳/玄関見返し/新画室(アトリエ)北側内観/新画室(アトリエ)北側外観/応接室(旧画室)から新画室(アトリエ)へ/応接間(旧画室)/階段室/階段手摺り/居間天井/居間南側の小上がり/居間北側 造り付けベンチ収納/縁側天井/応接室扉 把手/玄関扉 藤焼製把手/縁側 吊り灯籠/井戸

出品番号	作家名	作品・資料名	制作年	サイズ(cm)	技法・材質	所蔵
2-1		太田邸 玄関照明 (コードペンダント)	1924(大正13)年	17.5×28.5×28.5	和紙・木 (シェード部分)	個人蔵
2-2	二星大輝	太田邸 模型1/50	2019(平成31)年	22.5×30.0×66.0	木製(シナ合板 及びヒノキ材)	協力:京都工芸繊維大学 松隈洋研究室
2-3		太田邸 屋根伏図 2階平面図 1階平面図 1/100		50.7×35.6	インク・紙	京都大学大学院工学 研究科建築学専攻
2-5	藤井厚二	太田邸 増改築のための スケッチ(ノート)		20.5×32.5(見開き)	インク・鉛筆・紙	個人蔵
2-11		加藤源之助編輯『加藤源之助 作品集』金港堂書店刊行	1930(昭和5)年6月5日	37.5×31.0×1.0	書籍	京都府立京都学・歴史館
参考		『太田喜二郎筆<庭> 帝国美術院 第12回美術展覧会出品』絵葉書				個人蔵

茶事を通して

2-6	太田喜二郎	寿月庵茶会絵巻	1935(昭和10)年	19.6×358.0(本紙)	墨・着彩・紙	個人蔵
2-7	藤井厚二	茶碗 龍胎		8.2×12.2(径)	陶器	個人蔵
2-8	藤井厚二	茶碗 白梅模様	1935(昭和10)年	6.3×12.5(径)	陶器	個人蔵
2-9	藤井厚二	茶碗 藤流 寄せ書き	1936(昭和11)年	6.2×13.0(径)	陶器	個人蔵
2-10	藤井厚二	茶碗 雁廻	1935(昭和10)年	4.5×15.5(径)	陶器	個人蔵
2-12	太田喜二郎	太田喜二郎から藤井厚二宛書簡	1935(昭和10)年10月21日	19.4×106.0	墨・着彩・紙	竹中工務店

書簡のやり取り

2-13	武田五一	武田五一から太田喜二郎宛書簡	1920(大正9)年6月23日	17.5×149.0	墨・紙	個人蔵
2-14	太田喜二郎	太田喜二郎から藤井厚二宛書簡	1931(昭和6)年2月24日	19.0×72.0	墨・紙	竹中工務店
2-15	太田喜二郎	太田喜二郎から藤井厚二宛書簡	1934(昭和9)年6月17日	19.0×72.5	墨・紙	竹中工務店
2-16	藤井厚二	藤井厚二から太田喜二郎宛葉書	1923(大正12)年9月29日	14.2×8.8	インク・紙	個人蔵
2-17	藤井厚二	藤井厚二から太田喜二郎宛葉書	1937(昭和12)年7月8日	13.9×9.0	インク・紙	個人蔵

■第3章 藤井厚二

1-40	太田喜二郎	藤井厚二肖像画	1938(昭和13)年冬	45.0×37.5	油彩・キャンバス	個人蔵
------	-------	---------	--------------	-----------	----------	-----

建築:聴竹居 旧藤井厚二自邸 ※2017(平成29)年国の重要文化財に指定

建築写真パネル

聴竹居の四季(新緑)/聴竹居の四季(雪景色)/聴竹居の四季(紅葉)/縁側(紅葉)玄関/客室/客室部分/客室窓/読書室と縁側/縁側(新緑)玄関扉/居室と玄関フロアの間にあるドアノブ/客室照明/居室の違い棚/食事室の間仕切り/タオル掛けバー/窓のビス/読書室の違い棚/縁側の吐き出し窓/居室から食事室を見る/食事室/居室の障子/居室

参考 『「聴竹居」実測図集 増補版』竹中工務店設計部 2018(平成30)年 彰国社

出品番号	作家名	作品・資料名	制作年	サイズ(cm)	技法・材質	所蔵
3-1	三浦模型	昭和3年の聴竹居敷地 復元模型1/300	2018(平成30)年	19.0×100.0×100.0	紙	竹中工務店
3-2	京都工芸繊維大学 博昭・松隈洋研究室	聴竹居全体模型1/50	2009(平成21)年	40.0×70.0×150.0	木製(シナ合板 及びビノキ材)	竹中工務店
3-3		聴竹居 配置図		70.4×53.1	インク・紙	京都大学大学院工学研究科建築学専攻
3-5		聴竹居 平面図、小屋伏図、 東西南北立面図1/100		46.5×63.0	鉛筆・方眼紙	京都大学大学院工学研究科建築学専攻
3-6		聴竹居 東立面図1/100		35.8×27.0	インク・紙	京都大学大学院工学研究科建築学専攻
3-7		聴竹居 南立面図1/100		36.0×27.1	インク・紙	京都大学大学院工学研究科建築学専攻
3-8		聴竹居 天井伏図		35.5×27.0	インク・方眼紙	京都大学大学院工学研究科建築学専攻
3-9		聴竹居 平面図		36.0×27.1	インク・方眼紙	京都大学大学院工学研究科建築学専攻
3-10		聴竹居 玄関展開図		35.6×27.0	インク・方眼紙	京都大学大学院工学研究科建築学専攻
3-11		聴竹居 客室詳細図		35.6×27.1	インク・方眼紙	京都大学大学院工学研究科建築学専攻
3-12		聴竹居 居室展開図		35.8×27.1	インク・方眼紙	京都大学大学院工学研究科建築学専攻
3-13		聴竹居 食事室展開図		35.7×27.1	インク・方眼紙	京都大学大学院工学研究科建築学専攻
3-14	藤井厚二	聴竹居 食事室から望む 居室の透視図		50.0×69.0	インク・紙	京都大学大学院工学研究科建築学専攻
3-15		聴竹居 客室 枕付肘掛椅子		77.0×49.0×65.0		竹中工務店
3-17	藤井厚二	聴竹居 スケッチブック-I		11.0×36.5(見開き)	インク、鉛筆・紙	竹中工務店
3-18	藤井厚二	聴竹居 スケッチブック-II		11.0×36.5(見開き)	インク、鉛筆・紙	竹中工務店

建築：石崎庚作(こうさく)邸 一京都市内に遺る藤井厚二作品 1

実測図面

実測及び作図：第10期京都市文化財マネージャー育成講座5班

1階平面図 2018(平成30)年

建築写真パネル

石崎邸外観／玄関／玄関見返し／階段室／応接間から玄関を望む／階段

建築：喜多源逸邸 一京都市内に遺る藤井厚二作品 2 ※2006年 国の登録有形文化財に登録

実測図面(想定復原図)

実測及び作図：古材文化の会

1階平面図 2018(平成30)年／2階平面図 2018(平成30)年

建築写真パネル

喜多邸外観／居間／玄関と応接間／縁側／階段室／階段／喜多邸外観／2階日本間／2階より、大文字焼きを望む

建築：小川邸 京都市内に遺る藤井厚二作品 3

実測図面

実測及び作図：古材文化の会

平面図 2018(平成30)年

建築写真パネル

小川邸外観／小川邸外観／玄関見返し／縁側／応接間／縁側／茶の間から居間、寝室を望む／寝室／居間／茶の間から居間、寝室を望む／玄関

出品番号	作家名	作品・資料名	制作年	サイズ(cm)	技法・材質	所蔵
竹中工務店時代						
3-22	藤井厚二	大阪朝日新聞社 立面案		61.5×38.0	インク・紙	竹中工務店
3-23	藤井厚二	大阪朝日新聞社 階段詳細検討図-1		54.5×78.0	インク・紙	竹中工務店
3-24	藤井厚二	大阪朝日新聞社 階段詳細検討図-2		54.5×78.0	インク・紙	竹中工務店

写真パネル

- 竹中工務店時代の藤井厚二(承業15周年記念写真 1914[大正3]年より)
- 大阪朝日新聞社 外観(『建築雑誌』第31輯第367号、日本建築学会、1917年7月より)
- 大阪朝日新聞社 エントランス(『建築雑誌』第31輯第367号、日本建築学会、1917年7月より)
- 大阪朝日新聞社 貴賓室(『建築雑誌』第31輯第367号、日本建築学会、1917年7月より)
- 大阪朝日新聞社 階段(『建築雑誌』第31輯第367号、日本建築学会、1917年7月より)

出品番号	作家名	作品・資料名	制作年	サイズ(cm)	技法・材質	所蔵
海外視察						
3-25		1919(大正8)年発行のパスポート	1919(大正8)年	30.0×21.8	墨、インク・紙	竹中工務店
3-26	藤井厚二	海外視察日記		21.0×26.0(見開き)	墨、インク・紙	竹中工務店
3-27	藤井厚二	海外視察アルバム		20.0×55.0(見開き)	写真アルバム	竹中工務店
3-28	藤井厚二	海外視察中の絵葉書		13.5×7.7-13.9×8.9	インク・紙	竹中工務店
執筆活動一『日本の住宅』						
3-29	藤井厚二	『日本の住宅』岩波書店(太田喜二郎旧蔵品)	1928(昭和3)年	19.0×38.0(見開き)	書籍	個人蔵
3-30	藤井厚二	『日本の住宅』岩波書店(藤井厚二旧蔵品)	1928(昭和3)年		書籍	竹中工務店
3-31	藤井厚二	『日本の住宅』藤井厚二自筆原稿		28.5×21.5	インク・紙	竹中工務店



カタログ



B2ポスター

めぐろの障がい者アート展 日々のよろこび

会期：2019年8月7日(土)～8月18日(日) 11日間

会場：区民ギャラリー

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館、目黒区

入場者数：975人

担当学芸員：吉田暁子



開館以来、地域に根差した美術館として展覧会や教育普及活動に力を注いできた歩みに基づき、目黒で暮らす障がいのある方たちの作った美術作品を紹介した。

目黒区内に6か所ある区立の障害者通所施設を中心に、区内在住・在学・在勤の方から募集した作品を展示するとともに、施設紹介コーナー、感想を壁に貼ってシェアできるスペース、窓ガラスに絵を描けるスペースなどを設け、障がいの有無にかかわらず交流を持てる空間を設けた。(出品総点数：203点)

●記録集

サイズ：29.7×21.0cm(A4判)/40ページ

デザイン：合田祥之(Aida Yoshiyuki Design)/発行：目黒区美術館

内容：

「めぐろの障がい者アート展 日々のよろこび」記録集の発行によせて | 作品画像 | イベント風景 | 会場メッセージ(本展アドバイザー) | 来場者によるメッセージ | 出品リスト

●広報印刷物

ポスター B2、B3/チラシ A4

デザイン：合田祥之(Aida Yoshiyuki Design)

●関連催事

1. トークイベント「日々のよろこび」

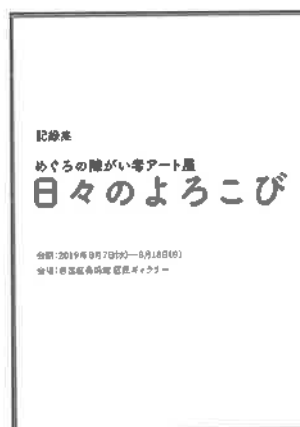
進行：吉田暁子(当館学芸員)/開催日：8月14日(水)/参加者：40人

2. 視覚障がいのある方とともにめぐる「太田喜二郎と藤井厚二」展鑑賞ツアー

ナビゲーター：白鳥建二、中川美枝子/開催日：8月18日(日)/参加者：10人

3. ヨーロッパの木の玩具で遊ぼう

開催日：8月10日(土)、11日(日)/参加者：10日 31人、11日 34人



記録集



B2ポスター

出品リスト

凡例

- ・作品のデータは、出品番号 | 作品名 | 点数 | 種別 | サイズ(縦×横)の順に記載した。
- ・出品番号は、一作家に対し一つの番号を付し、一作家が複数点出品している場合は枝番号を付した。
- ・複数の作品による組作品で寸法が何種かある場合は、丸数字の 패턴の寸法があることを示した。

No.	作品名	点数	種別	サイズ(cm)
1	ボクはあかりの“マモル”だよ	1	書籍	21.0×21.0×0.3
2	無題(帯締め)	1	染織	
3	妻のお気に入り(帯締め)	1	染織	42.0×5.0
4	無題	11	絵画	30.0×42.0
5	無題	20	絵画	10.0×15.0
6-1	スカイツリー	1	絵画	27.0×38.0
6-2	カブトムシ	1	絵画	27.0×38.0
6-3	無題	1	絵画	37.5×54.0
7	無題	23	絵画	①18.0×25.7 ②10.0×14.6
8	無題	6	絵画	
9	無題	15	絵画	①21.0×30.0 ②18.0×26.0
10	無題	8	絵画	①②38.0×54.0 ③37.5×54.0 ④27.0×38.0 ⑤29.5×42.0 ⑥21.0×29.7
11	無題	11	絵画	①21.0×30.0 ②18.0×25.5 ③38.0×54.0
12	無題	4	絵画	①38.0×54.0 ②30.0×42.0 ③27×38.0
13-1	井の頭線	1	絵画	38.0×54.0
13-2	無題	2	絵画	38.0×54.0
14	無題	10	絵画	①27.0×38.0 ②30.5×43.5 ③38.0×54.0
15	MAYOI	1	絵画	19.0×27.0
16	思うままに	1	絵画	27.0×38.0
17-1	30年	1	絵画	27.0×38.0
17-2	Enjoy	1	絵画	27.0×38.0
18	お父さんのヒゲ	1	絵画	27.0×38.0
19	たくさんのうさぎとハート	1	絵画	27.0×38.0
20	よる	1	絵画	27.0×38.0
21-1	元気だ!みんな	1	絵画	27.0×38.0
21-2	笑顔の東が丘	1	絵画	27.0×38.0
22	がんばった	1	絵画	φ52.0
23	無題	1	絵画	32.0×41.0×3.0
24	Mickey & Minnie	1	染織	35.0×35.0×15.0
25	さかな	1	絵画	27.0×38.0
26-1	山手線	1	絵画	27.0×38.0
26-2	ハンバーガー	1	絵画	27.0×38.0
27	木と子供	1	絵画	31.5×26.0
28	ロールパンと食パンとメロンパン	1	絵画	27.0×38.0
29	ドラえもん	1	絵画	38.0×27.0
30	ひまわり	1	絵画	27.0×38.0
31-1	人間の家	1	絵画	17.5×30.0
31-2	はな	1	絵画	24.5×21.0
32-1	夢のアイランドマーメイド	1	絵画	29.5×42.0
32-2	キラキラとした夢のファッション	1	絵画	38.0×27.0
33	無題	1	絵画	38.0×54.0
34	無題	1	絵画	38.0×54.0
35	総武線と小田急線	1	絵画	51.0×38.0

No.	作品名	点数	種別	サイズ(cm)
36	扉の向こう…	1	絵画	38.0×54.0
37	「乾杯!!!」	1	絵画	38.0×54.0
38	パープル	1	絵画	38.0×54.0
39	元気〜!	1	絵画	21.0×30.0
40	紅葉	1	絵画	21.0×29.7
41	攻撃!!!!	1	絵画	27.0×38.0
42	エレクトリカル☆ver.2	1	絵画	38.0×27.0
43	ARASHI	1	絵画	38.0×54.0
44-1	樹木	1	絵画	38.0×54.0
44-2	桜	1	絵画	38.0×54.0
45	ハロウィン	1	絵画	
46	彩り IRODORI	1	絵画	
47	野菜と果物	1	染織	36.5×28.0×15.0
48	無題	1	絵画	27.0×38.0
49	鴨捕りごんべえ	1	絵画	
50-1	花火	1	皮革作品	45.2×60.6
50-2	感情	1	皮革作品	45.2×60.6
50-3	魚	1	皮革作品	45.2×60.6
51	カレンダー	2	コラージュ	
52	海の中	1	絵画	38.0×53.0
53	静物	1	絵画	27.0×38.0
54-1	安息	1	絵画	27.0×38.0
54-2	元気	1	絵画	27.0×38.0
55	青い思い	1	絵画	
56	イルカ	1	絵画	25.5×36.5
57	マスク	1	絵画	38.3×27.2
58	薬牡丹	1	絵画	19.2×24.5(額)
59-1	たまねぎ	1	絵画	27.0×27.0
59-2	ざくろ	1	絵画	25.0×35.0
60-1	ドン	1	絵画	23.7×19.1
60-2	小夏	1	絵画	24.0×19.1
60-3	サトコ	1	絵画	23.8×19.1
60-4	ウガン	1	絵画	19.1×23.8
60-5	アラちゃん	1	絵画	19.1×23.8
61-1	海の中の魚たち	1	絵画	53.0×37.0
61-2	カクレクマノミと仲間たち	1	絵画	53.0×37.0
61-3	クロッキー帳	1	絵画	
62-1	カンナ	1	絵画	36.0×49.0
62-2	紫陽花	1	絵画	36.0×49.0
62-3	無題	1	絵画	36.0×49.0
62-4	春うっとり	1	絵画	36.0×49.0
62-5	昇り龍	1	染織	150.0×20.0
62-6	降り龍	1	染織	140.0×30.0
62-7	無題	1	染織	320.0×30.0
63	無題	15	絵画	27.0×38.0

線の迷宮〈ラビリンス〉Ⅲ 齋藤芽生とフローラの神殿

会期：2019年10月12日(土)～12月1日(日) 44日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

協力：ギャラリー・アートアンリミテッド、町田市立国際版画美術館

入場者数：5,263人

担当学芸員：加藤絵美



線の魅力と可能性に迫る企画「線の迷宮〈ラビリンス〉」シリーズの第3弾。今回は、独自の視点で現在と過去のはざまを描き出す齋藤芽生の作品約100点と、19世紀植物図鑑の至宝《フローラの神殿》全30点を同時に展覧し、「図鑑」のように複数の絵画と言葉で社会を描く現代作家の魅力に迫った。第1章「花の迷宮」では、作家が花をモチーフに描いた《毒花図鑑》等と《フローラの神殿》とともに展示した。第2章「窓の光景」では、作家が幼少期を過ごした団地の記憶と、成人してから再訪した経験をもとに描いた《晒野団地四畳半脂》等を紹介した。そして第3章「旅をする魂」では、旅に取材した作家の近作《密愛村Ⅲ・Ⅳ》等を展覧するとともに、作家が撮り溜めてきた写真をスライドショーとして初公開することで、時代の遺物と化していく建築物等、現代を見据える作家ならではの見方と表現に着目した。

●カタログ

サイズ：25.7×18.2cm (B5判) / 128ページ

デザイン：酒井田成之(酒井田デザイン事務所) / 発行：目黒区美術館

内容：

ごあいさつ | 彷徨的断章[齋藤芽生] | 第1章 花の迷宮—齋藤芽生とフローラの神殿 | 第2章 窓の光景 | 第3章 旅をする魂 | 《毒花図鑑》
テキスト | 《日本花色考 二十四の図案・二十四の読解》テキスト抜粋 | 観察者たちが掬いあげるもの[加藤絵美] | 出品リスト | 齋藤芽生略
歴 | 主要参考文献

●広報印刷物

ポスター B2 / チラシ A4

デザイン：酒井田成之(酒井田デザイン事務所)

●関連催事

1. 対談「山下裕二×齋藤芽生」

話し手：山下裕二(明治学院大学教授)、齋藤芽生(本展出品作家) / 開催日：10月19日(土) / 参加者：68人

2. ミュージアムコンサート

出演：mama! Milk(生駒祐子[アコーディオン]・清水恒輔[コントラバス]) / 開催日：11月3日(日・祝) / 参加者：61人

3. 作家によるギャラリートーク

ナビゲーター：齋藤芽生 / 開催日：①11月23日(土・祝) ②11月30日(土) ③12月1日(日) / 参加者：①30人 ②33人 ③40人

4. 大人のための美術カフェ

ナビゲーター：加藤絵美(当館学芸員)、齋藤芽生(本展出品作家) / 開催日：11月24日(日) / 参加者：44人

●主要関連記事

1. 渋谷和彦「鮮やかな色彩に潜む毒『齋藤芽生とフローラの神殿』」『産経新聞』2019年10月27日

2. 大西若人「黒白と極彩色 細密かつ濃厚に」『朝日新聞』2019年11月5日

3. 永田晶子「齋藤芽生 過去から紡ぐ世界」『毎日新聞』2019年11月14日

4. 「山下裕二のこれが欲しい! No.129 齋藤芽生『晒野団地四畳半脂』《姥捨小町鉄の浮橋》」『月刊アートコレクターズ』2019年12月号

出品リスト

凡例

・出品作品について、1章〜3章に分けて番号を付与した。

このうち、齋藤芽生作品の配列は、基本的に、各シリーズの最初に、①シリーズ番号 | シリーズ名 | 作家名 | 制作年 | 技法・素材 | サイズ | 所蔵 の順で記し、続いて②作品番号 | 作品タイトル を記した。ただし、①において、各作品でサイズや所蔵者が共通しない場合は、②に個別に記した。

なお、「6《フローラの神殿》」の配列では、①シリーズ番号 | シリーズ名 | 編者 | 制作年 | 所蔵者 の順で記し、続いて ②作品番号 | 作品タイトル | 制作者 | 制作年 | 技法・素材 | サイズ の順で記した。

・サイズの単位はcm。縦×横の順に記した。

・不詳もしくは必要な情報は空欄とした。

■第1章 花の迷宮

1 《毒花園鑑》 | 齋藤芽生 | 1993年 | アクリル、紙 | 57.5×40.2 | ギャラリー・アートアンリミテッド

- 1-1 フタマタカキツバタ
- 1-2 ヒバナノヒトケシ
- 1-3 サバキノ・カラバリーナ
- 1-4 トワノネムリヒメ(ウットーリ・ハルシオネーラ)
- 1-5 センジョーラ・ミソフォビーナ
- 1-6 トリカエーゼラ
- 1-7 デマワリ
- 1-8 監禁バラ
- 1-9 カソクソウ(デッド・ダイビング・レーザー 10000)
- 1-10 カミノオンチヲタマワリソウ
- 1-11 ケシ(チャンピオンズ・ブルー・ポピー)
- 1-12 ザンゲーノ・ワルゴ・ザンシタ
- 1-13 ナガカラミン・マチワープ
- 1-14 イマワノキワヒトリシズカ

2 《徒花園鑑》 | 齋藤芽生 | 2008年 | アクリル、紙 | 44.0×33.0

- 2-1 間男憂 | 本奈輝氏蔵
- 2-2 斜陽葵 | のどか氏蔵
- 2-3 脂百合 | ギャラリー・アートアンリミテッド
- 2-4 其奥草 | 個人蔵
- 2-5 他不見草 | 大越幸子コレクション
- 2-6 湯女蓮 | 個人蔵
- 2-7 母不妻 | 個人蔵
- 2-8 花形冠と黒衣蜘蛛 | 萩原佐和子氏蔵
- 2-9 芥々槐 | 前田庸子氏蔵
- 2-10 不祥草 | 個人蔵
- 2-11 恋清菖 | 鈴木裕達氏蔵

3 《徒花園》 | 齋藤芽生 | 2008年 | アクリル、紙 | 60.0×33.0 / 軸:高橋正子作 絹、他 | 109.0×54.0

- 3-1 電影蘭 | 個人蔵
- 3-2 剃刀撫子 | ギャラリー・アートアンリミテッド
- 3-3 毛玉鶏頭 | 個人蔵

4 《日本花色考 二十四の図案・二十四の読解》 | 齋藤芽生 | 1995年 | アクリル、紙 | 31.0×22.0 | 東京藝術大学

- [冷国日本]
- 4-1 血族 / 4-2 プラチナ / 4-3 燕三条 / 4-4 冷国日 / 4-5 水銀友禪 / 4-6 激しい滝そして男
- 4-7 その夜私の知らない雪崩 / 4-8 山の雪ニュース / 4-9 荒波ホテル / 4-10 高水圧の夜
- [激走日本]
- 4-11 全身 / 4-12 淫靡の青 / 4-13 娘のようなあなた / 4-14 汁を洩らす / 4-15 マネキン紹介 / 4-16 水の中の炎
- 4-17 激しい雨 / 4-18 死んでもいい / 4-19 羊はねむる / 4-20 君は夜を走れ

5-1 《自画像》 | 齋藤芽生 | 1995年 | アクリル、紙 | 31.0×22.0 | 東京藝術大学

5-2 《自画像》 | 齋藤芽生 | 1995年 | アクリル、紙 | 31.0×22.0 | 東京藝術大学

参考-1 最初期の花のドローイング | 齋藤芽生 | 1992年 | アクリルガッシュ、紙 | 作家蔵

参考-2 モビール | 齋藤芽生 | 1992年 | ビニール、紙、布、水引 | 作家蔵

6 フローラの神殿:リンネの雌雄蕊分類法新図解 | ロバート・ジョン・ソーントン編 | 1798-1807年(初版) | 6-1, 6, 9, 13, 20, 21 メゾチント(多色)、手彩色 / 6-2 スティップル法エングレーヴィング、エッチング(多色)、手彩色 / 6-3~5, 7, 8, 10~12, 14~19, 22~30 スティップル法エングレーヴィング、エッチング、アークチント(多色)、手彩色 | 町田市立国際版画美術館

- 6-1 ラップランド人の服装をしたリンネの肖像 | 画:ホフマン 版刻:キングスバリー | 49.6×35.0
- 6-2 植物に愛を射込むクビド | 画:ライナゲル 版刻:パーケ | 50.8×42.1
- 6-3 スノードロップ | 画:ベザー 版刻:ウォード | 1804年 | 48.0×34.6
- 6-4 ペルシア・シクラメン | 画:ベザー 版刻:エルメス | 1804年 | 48.4×40.8

- 6-5 ヒヤシンス | 画:エドワーズ 版刻:ワーナー | 1801年 | 54.6×43.5
- 6-6 バラ | 画:ソーントン 版刻:アールム | 1805年 | 48.4×37.3
- 6-7 カーネーション | 画:ヘンダーソン 版刻:コールドウォール | 1803年 | 40.0×52.0
- 6-8 オーリキュラ | 画:ヘンダーソン 版刻:ホプウッド | 1803年 | 46.8×36.0
- 6-9 チューリップ | 画:ライナグル 版刻:アールム | 1796年 | 48.0×36.0
- 6-10 ストレチア(極楽鳥花) | 画:ヘンダーソン 版刻:ケーパー | 1804年 | 44.6×35.5
- 6-11 アロエ | 画:ライナグル 版刻:メドランド | 1798年 | 44.0×36.2
- 6-12 ゲットウ(月桃) | 画:ヘンダーソン 版刻:コールドウォール | 1801年 | 51.8×38.8
- 6-13 夜の女王 | 画:ライナグル(花)、ベザー(背景) 版刻:ダンカートン | 1800年 | 48.6×36.4
- 6-14 ベゴニア | 画:ライナグル 版刻:コールドウォール | 1800年 | 51.6×38.2
- 6-15 ペニゴウカン(紅合歓) | 画:ライナグル 版刻:スタドラー | 1799年 | 47.2×36.0
- 6-16 ブルー・パッション・フラワー | 画:ライナグル 版刻:コールドウォール | 1800年 | 51.4×38.4
- 6-17 ウィングド・パッション・フラワー | 画:ヘンダーソン 版刻:ワーナー | 1802年 | 45.4×36.2
- 6-18 クアドランギュラー・パッション・フラワー | 画:ヘンダーソン 版刻:ホプウッド | 1802年 | 55.2×40.6
- 6-19 白百合 | 画:ヘンダーソン 版刻:スタドラー | 1800年 | 53.1×39.0
- 6-20 カナダユリ | 画:ライナグル 版刻:アールム | 1799年 | 48.0×36.0
- 6-21 ドラゴン・アルム | 画:ヘンダーソン 版刻:ウオード | 1801年 | 47.4×35.2
- 6-22 スタベリア | 画:ヘンダーソン 版刻:スタドラー | 1801年 | 52.2×40.2
- 6-23 ビッチャープラント | 画:ライナグル 版刻:ケーパー | 1803年 | 44.7×35.8
- 6-24 ウスイロシャクナゲ | 画:ヘンダーソン 版刻:コールドウォール | 1802年 | 52.8×40.2
- 6-25 アメリカン・カウスリッパ | 画:ヘンダーソン 版刻:ワーナー | 1801年 | 44.8×35.8
- 6-26 ハナガサシャクナゲ | 画:ライナグル 版刻:コールドウォール | 1804年 | 53.8×40.9
- 6-27 チャイナ・リモドロン | 画:ヘンダーソン 版刻:ランドゼア | 1802年 | 53.0×40.4
- 6-28 カンナ | 画:ヘンダーソン 版刻:コールドウォール | 1804年 | 54.0×41.0
- 6-29 エジプト・ハス | 画:ヘンダーソン 版刻:バーグおよびルイス | 1804年 | 45.8×37.7
- 6-30 エジプト睡蓮 | 画:ヘンダーソン 版刻:スタドラー | 1804年 | 51.8×39.8

■第2章 窓の光景

- 7 晒野団地西昌半端 | 齋藤芽生 | 2006年 | アクリルガッシュ、紙 | 40.0×40.0
 - 7-1 姥捨小町鉄の浮橋 | 山下裕二氏蔵
 - 7-2 愛され過ぎた狛犬の祠 | 個人蔵
 - 7-3 緋装束花嫁巡礼 | 個人蔵
 - 7-4 夜驚る女心の寝殿 | 金正のどか氏蔵
 - 7-5 暮れ泥む主婦の垣 | 個人蔵
 - 7-6 闇を往く娘達の顔 | 宮本泰輝氏蔵
 - 7-7 独寝の海の送り舟 | 坂田哲也氏蔵
 - 7-8 母待号棟梁の神 | 個人蔵
 - 7-9 蒼白き虚無の盆棚 | 個人蔵
 - 7-10 晒野団地金色堂 | 個人蔵
 - 7-11 花咲鈴の色褪せぬ神木 | 個人蔵
 - 7-12 晒野団地花御堂 | 個人蔵
- 8-1 晒野団地聖母子堂 | 齋藤芽生 | 2006年 | 顔料、アクリル、綿布、パネル | 70.0×70.0 | 作家蔵
- 8-2 晒野団地聖処女堂 | 齋藤芽生 | 2007-09年 | 顔料、アクリル、綿布、パネル | 70.0×70.0 | 作家蔵
- 9 ロビリンズ | 齋藤芽生 | 2012年 | アクリル、木製パネル | 70.0×70.0
 - 9-1 ロゼット・ネビュラ・パレス | 個人蔵
 - 9-2 ニルヴァーナ・ハイツ | 作家蔵
- 10 香星群アルデヒド | 齋藤芽生 | 2014年 | シルクスクリーン、紙 | ギャラリー・アートアンリミテッド
 - 10-1 鯨風星 | 20.1×20.3
 - 10-2 龍高星 | 17.2×23.8
 - 10-3 涙河星 | 19.5×20.8
 - 10-4 瞬艶星 | 19.8×20.4
 - 10-5 綿蝶星団 | 19.6×20.5
 - 10-6 棲鶉群星 | 18.7×19.4
 - 10-7 待雷星 | 20.3×18.1

■第3章 旅をする魂

- 11 《密愛村Ⅲ》 | 齋藤芽生 | 2011年 | 60.0×60.0 | 個人蔵
 - 11-1 IMMORALVILLE Ⅲ | ラムダプリント、紙
 - 11-2 Containers to Smuggle Maidens (密輸される乙女たち) | アクリル、紙
 - 11-3 The bride must marry at the risk of life. It is the rules of this Immoralville (花嫁は命を賭けて嫁がなければいけない、それが密愛村の掟だ。) | ラムダプリント、紙
 - 11-4 A Gas Station at the Border of Hell (地獄の境界のガソリンスタンド) | アクリル、紙
 - 11-5 The new life of lovers started in a night darkness. (恋人たちの新しい生活は、夜の闇の中で始まった。) | ラムダプリント、紙

11-6 The Bus Stop for the Escaped Brides (逃げた花嫁たちのためのバス停) | アクリル、紙

12 《密愛村IV》 | 齋藤芽生 | 2016年 | 60.0×60.0 | 崎須賀恭子氏蔵

12-1 IMMORALVILLE IV | インクジェットプリント、紙

12-2 A Spirit Enshrined by Female Miners (女鉱山師たちの祀る精霊) | アクリル、紙

12-3 Women keep digging the vein deposits called vanity. Though they will never strike the vein of glittering glory. (女たちは虚栄の鉱床を掘り続ける。しかし、最も光り輝く栄光の鉱脈に手が届くことは、永遠にない。) | インクジェットプリント、紙

12-4 The Goddess of Weather Disturbance (不安定な気象の女神) | アクリル、紙

12-5 My summer continues after the boy has left the forest. Perhaps it still will after the man disappears into the forest. (少年が森を去ってしまっても私の夏は続いている。男が森の中に消えたのちも私の夏は続くだろう。) | インクジェットプリント、紙

12-6 A Girl Who Sells Cicadas' Chorus (蝉時雨を売る少女) | アクリル、紙

13 《野火賊》 | 齋藤芽生 | 2012年、2016年 | アクリル、紙

13-1 火姫遊 | 2012年 | 45.0×45.0 | 個人蔵

13-2 奈落会 | 2012年 | 45.0×45.0 | 個人蔵

13-3 修羅浜 | 2012年 | 45.0×45.0 | 個人蔵

13-4 鶴来野 | 2012年 | 45.0×45.0 | 個人蔵

13-5 野籠駅 | 2012年 | 45.0×50.0 | 絹谷幸二氏蔵

13-6 暗号韻 | 2016年 | 45.0×45.0 | 個人蔵

13-7 密航子 | 2016年 | 45.0×45.0 | 個人蔵

13-8 恋流島 | 2016年 | 45.0×45.0 | 個人蔵

14 《獣道八十八号線》 | 齋藤芽生 | 2011年 | アクリル、紙 | 35.0×35.0

14-1 絶海泡沫浴場 | 個人蔵

14-2 レストラン把紅蓮狼 | 鈴木裕達氏蔵

14-3 ホテル母乳の宿 | 個人蔵

14-4 見世物通り一「ソレ突ケ堂」 | 個人蔵

14-5 見世物通り二「水神パレエ」 | 個人蔵

14-6 見世物通り三「ヤマガラ富士」 | 個人蔵

14-7 見世物通り四「星乗曲藝術団」 | 個人蔵

15 《暗虹街道》 | 齋藤芽生 | 2017年 | アクリル、紙 | 32.0×32.0

15-1 喫茶百果 | 個人蔵

15-2 遊色倶楽部 | 個人蔵

15-3 涅槃球室 | 個人蔵

15-4 白波待合 | ギャラリー・アートアンリミテッド

15-5 紅温泉 | 個人蔵

15-6 雪晴山荘 | 作家蔵

15-7 稀種眼科院 | 個人蔵

15-8 ケンネル蘭 | 個人蔵

15-9 放鳥区住宅 | 個人蔵



カタログ



A4チラシ

めぐろの子どもたち展

令和元年度 目黒区立幼稚園・こども園、小・中学校連合展覧会

会期：2020年1月18日(土)～2月2日(日) 14日間

会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール、ワークショップ、
区民ギャラリー

主催：目黒区立幼稚園・こども園長会、目黒区立小学校長会、
目黒区立中学校長会、目黒区立特別支援学級設置校長会、
目黒区教育会、目黒区美術館、目黒区教育委員会

入場者数：10,847人

担当学芸員：吉田暁子



同時開催：米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展

目黒区立の幼稚園・こども園、小・中学校の子どもたちの作品を、表現活動の成果として展示する展覧会。本展は教職員によって主導され、子どもたちの鑑賞教育の場として、また保護者や地域の人々が、教育現場における子どもたちの活動を理解する場として長きにわたりその役割を果たしている。今年度は、「米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展」を同時開催した。(出品数：4,088点)

●広報印刷物

ポスター B2／チラシ A4

チラシ裏面内容：ごあいさつ(主催者) | 幼稚園・こども園 | 小学校・図画工作 | 小学校・書写 | 中学校・美術 | 中学校・書写 | 特別支援学級 | 米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展



A4チラシ

目黒区美術館コレクション展 越境者たち BEYOND THE BORDERS 同時開催：山下新太郎のファミリーポートレート

会期：2020年2月15日(土)～3月22日(日) 32日間
会場：展示室ABC、展示ロビー、エントランスホール
主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館
入場者数：2,007人
担当学芸員：山田真規子

同時開催：ワークショップ春「からだのワークショップ：
からだを動かす・見つめる」【中止】



当館コレクションの中から、絵画の分野や材質技法にまつわる様々な境界を越えて新たな芸術表現を目指した画家たちの作品を展覧した。

第1章では「諏訪直樹 vs 川村清雄」と題し、額縁を超越して無限に展開する空間表現を目指した諏訪直樹と、明治初期より西洋渡来の新技法である油彩に挑み、日本の近代絵画の新たな地平を拓いた川村清雄の作品を対峙させた。本展示は、全国の諏訪作品を所蔵する美術館が連携した「諏訪直樹 没後30年 連鎖企画」の一環でもあった。第2章では「パンリアル」の挑戦」と題し、戦後に、抽象などの先鋭的な表現を日本画の技法により実現する「膠彩表現」で日本画を革新した「パンリアル美術協会」の画家たち(星野真吾、三上誠、下村良之介、不動茂弥、野村耕、木村嘉子)の作品を展示した。併せて、2018年度の新収蔵品を中心とした「山下新太郎のファミリーポートレート」を同時開催した。作品の寄贈者であり作品のモデルも務めた山下の娘、渡邊峯子さんからのヒアリングをもとに構成した解説をスマートフォンで聞くことのできる音声ガイドも展開した。会期中、新型コロナウイルスの感染の拡大に伴い全国の美術館で臨時休館が続く中、関連催事は中止としたものの、本展は会期終了予定日まで開会を継続した。

●広報印刷物

ポスター B2/チラシ A4
デザイン：井手久美子、河野伊央(idograph)

●関連催事

1. 舞踏パフォーマンス「肉体と平面」
講師：工藤丈輝(舞踏家)／開催予定日：3月20日(金・祝)／会場：展示室A
※新型コロナウイルスの感染拡大のため中止とした
2. 大人のための美術カフェ「越境し、連鎖する絵画たち」
ナビゲーター：山田真規子(当館学芸員)／開催予定日：3月14日(土)／予定参加定員：先着50人
※新型コロナウイルスの感染拡大のため中止とした



A4チラシ

出品リスト

凡例

・章ごとに分け、通し番号 | 作家名 | 作品名 | 制作年 | サイズ(縦×横×奥行) | 材質・技法 | 取得情報の順に記載した。

・所蔵欄の「※」印は「加島コレクション」を示す。

No.	作家名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法	取得情報
第1章 川村清雄 vs 諏訪直樹						
1	川村清雄	高砂	1920-34年頃(大正末～昭和初期)	42.4×136.4	油彩、銀箔・絹	2003年度 吹野トミ子氏寄贈※
2	川村清雄	鴨	1920-34年頃(大正末～昭和初期)	42.6×178.2	油彩、銀箔・絹	2003年度 吹野トミ子氏寄贈※
3	川村清雄	鸚鵡(おうむ)	1910-13年頃(大正期)	84.5×36.3	油彩・板(朱漆塗)	2009年度 吹野トミ子氏寄贈※
4	川村清雄	菊に雀	1920-34年頃(大正末～昭和初期)	30.2×53.5	油彩・板	2003年度 吹野トミ子氏寄贈※
5	川村清雄	まな・あらな	1912-26年(大正期)	36.3×72.7	油彩・絹本	2014年度寄託
6	川村清雄	鈴と絵馬	1920-34年頃(大正末～昭和初期)	21.9×47.4	油彩・絹(扇形色紙)	2003年度 吹野トミ子氏寄贈※
7	川村清雄	かれい	1920-34年頃(大正末～昭和初期)	21.7×47.4	油彩・絹(扇形色紙)	2003年度 吹野トミ子氏寄贈※
8	川村清雄	姫小松	1920-34年頃(大正末～昭和初期)	22.1×47.0	油彩・絹(扇形色紙)	2003年度 吹野トミ子氏寄贈※
9	川村清雄	村上彦四郎(村上義光 御旗本退園)	1920-34年頃(大正末～昭和初期)	147.5×147.0	油彩、金箔・絹、屏風 (二曲一隻)	2003年度 吹野トミ子氏寄贈※
10	川村清雄	妹背山婦女庭訓(2枚組)	1920-34年頃(大正末～昭和初期)	各36.2×6.1	油彩・絹(短冊)	2003年度 吹野トミ子氏寄贈※
11	川村清雄	(題不明)	1920-34年頃(大正末～昭和初期)	36.2×6.0	油彩・絹(短冊)	2003年度 吹野トミ子氏寄贈※
12	川村清雄	(題不明)	1920-34年頃(大正末～昭和初期)	36.2×6.0	油彩・絹(短冊)	2003年度 吹野トミ子氏寄贈※
13	川村清雄	(題不明)	1920-34年頃(大正末～昭和初期)	36.2×6.0	油彩・絹(短冊)	2003年度 吹野トミ子氏寄贈※
14	川村清雄	お玉が泄	1920-34年頃(大正末～昭和初期)	36.2×6.0	油彩・絹(短冊)	2003年度 吹野トミ子氏寄贈※
15	川村清雄	竹芝	1920-34年頃(大正末～昭和初期)	36.3×6.1	油彩・絹(短冊)	2003年度 吹野トミ子氏寄贈※
16	川村清雄	(題不明)	1920-34年頃(大正末～昭和初期)	36.2×6.0	油彩・絹(短冊)	2003年度 吹野トミ子氏寄贈※
17	川村清雄	貝合わせ	不詳	21.0×18.0	油彩・紙(色紙)	2010年度 長澤郁子氏寄贈
18	川村清雄	桜	不詳	21.0×18.0	油彩・紙(色紙)	2010年度 長澤郁子氏寄贈
19	川村清雄	小唄	1920-34年頃(大正末～昭和初期)	26.9×36.3×0.8	油彩・板、黒漆塗	2003年度 吹野トミ子氏寄贈※
20	川村清雄	太田道灌	不詳	22.8×22.8	油彩・板(黒漆角盆)	2004年度 大塚和氏寄贈
21	川村清雄	朝顔につるべとられて もらい水	不詳	22.8×22.8	油彩・板(黒漆角盆)	2004年度 大塚和氏寄贈
22	川村清雄	いにしへの奈良の都	1920-34年頃(大正末～昭和初期)	直径42.0 厚1.4	油彩、銀箔・板(桐)	2003年度 吹野トミ子氏寄贈※
23	川村清雄	三色すみれ	1920-34年頃(大正末～昭和初期)	直径34.7 厚0.8	油彩・板(杉)	2003年度 吹野トミ子氏寄贈※
24	諏訪直樹	無限連鎖する絵画 Part2 (No.14～30)[17点]	1989(平成元)年	下記に記載	アクリル・キャンバス	1993年度購入
No.14 180.0×105.1 / No.15 180.0×120.3 / No.16 180.0×90.1 / No.17 180.0×120.1 / No.18 180.0×90.1 No.19 180.0×139.9 / No.20 180.0×90.1 / No.21 180.0×120.0 / No.22 180.0×105.1 / No.23 180.0×140.0 No.24 180.0×120.0 / No.25 180.0×105.0 / No.26 180.0×139.9 / No.27 180.0×120.1 / No.28 180.0×104.5 No.29 180.0×120.0 / No.30 180.0×140.0						
25	諏訪直樹	PH-8-8419	1984(昭和59)年	200.0×140.0	アクリル・綿布(軸装)	1993年度 諏訪桃子氏寄贈
26	諏訪直樹	PH-9-8510	1985(昭和60)年	180.0×140.0	アクリル・綿布(軸装)	1993年度 諏訪桃子氏寄贈
第2章 パンリアルの挑戦						
27	野村耕	バグ	1964(昭和39)年	120.0×80.3	油彩、カシュー 紙型・ボード	1989年度購入
28	野村耕	集	1964(昭和39)年	151.8×91.0	油彩、カシュー 紙型・ボード	1989年度 野村耕氏寄贈
29	三上誠	極	1959(昭和34)年頃	121.5×66.9	顔料、縄・板	1991年度購入
30	三上誠	作品9	1963(昭和38)年	121.2×60.7	段ボール、顔料、木・板	1991年度購入
31	三上誠	無題	1968(昭和43)年頃	121.3×91.5	顔料・紙	1991年度購入
32	三上誠	作品	1964(昭和39)年頃	151.6×151.3	顔料、木・板	1990年度購入
33	下村良之介	鳥たちの壁A	1964(昭和39)年	181.0×545.0	紙粘土、顔料、紙・合板	1989年度購入
34	異野真吾	喪中の作品(赤)	1965(昭和40)年	182.0×91.0	岩絵具、箔・和紙	1993年度購入

No.	作家名	作品名	制作年	サイズ(cm)	材質・技法	取得情報
35	星野真吾	喪中の作品(白)	1965(昭和40)年	182.6×91.2	岩絵具、箔・和紙	1993年度購入
36	星野真吾	喪中の作品(碧)	1965(昭和40)年	183.0×122.5	岩絵具、箔・和紙	1993年度 星野真吾氏寄贈
37	木村嘉子	作品L	1963(昭和38)年	131.0×80.0	油彩・キャンバス	1991年度購入
38	木村嘉子	作品Y	1963(昭和38)年	137.0×80.0	油彩・キャンバス	1991年度 木村嘉子氏寄贈
39	木村嘉子	作品M	1963(昭和38)年	137.0×75.0	油彩・キャンバス	1991年度 木村嘉子氏寄贈
40	不動茂弥	庚神	1966(昭和41)年	182.3×130.3	顔料、麻紙、コンクリート 綿壁、和紙・板	1992年度購入
41	不動茂弥	落ちる文字	1967(昭和42)年	162.0×122.0	顔料、麻紙、コンクリート 綿壁、和紙・板	1992年度 不動茂弥氏寄贈

■同時開催：山下新太郎のファミリーポートレート

42	山下新太郎	ヨハナ	1911(明治44)年	8.0×6.9	コンテ、鉛筆・紙	2018年度 渡邊峯子氏寄贈
43	山下新太郎	峯子	1924(大正13)年	15.8×13.8	水彩、鉛筆・紙	2018年度 渡邊峯子氏寄贈
44	山下新太郎	峯子像	1925(大正14)年頃	18.5×13.8	油彩・キャンバス	2018年度 渡邊峯子氏寄贈
45	山下新太郎	山下峯子	1926(大正15)年	24.0×19.2	油彩・キャンバス	2018年度 渡邊峯子氏寄贈
46	山下新太郎	山下みね像	1926(大正15)年	23.8×19.3	油彩・キャンバス	2018年度 渡邊峯子氏寄贈
47	山下新太郎	峯子像	1929(昭和4)年	27.2×24.2(紙寸)	パステル、水彩・紙	2018年度 渡邊峯子氏寄贈
48	山下新太郎	海菜	1934(昭和9)年頃	23.7×19.0	油彩・キャンバス	2018年度 渡邊峯子氏寄贈
49	山下新太郎	私の庭のバラ	1939(昭和14)年	35.4×26.6	水彩、鉛筆・紙	2018年度 渡邊峯子氏寄贈
50	山下新太郎	峯子像	1942(昭和17)年	22.7×18.0	油彩・キャンバス	2018年度 渡邊峯子氏寄贈
51	山下新太郎	峯子像	1942(昭和17)年	24.4×19.2	油彩・キャンバス	2018年度 渡邊峯子氏寄贈
52	山下新太郎	あみもの	1946(昭和21)年	13.6×9.4(窓寸)	水彩、鉛筆・紙	2018年度 渡邊峯子氏寄贈
53	山下新太郎	渡邊夫人の像	1947(昭和22)年	43.8×34.5	油彩・キャンバス	2018年度 渡邊峯子氏寄贈
54	松田文雄	早春の庭	1967(昭和42)年	33.5×24.5	油彩・キャンバス	2018年度 渡邊峯子氏寄贈
55	山下新太郎	小春麗日	不詳	38.8×41.7	岩絵具、墨・紙	2018年度 渡邊峯子氏寄贈
56	山下新太郎	椿	不詳	38.7×27.7	岩絵具・紙	2018年度 渡邊峯子氏寄贈
57	山下新太郎	シクラメン	不詳	38.8×41.7	水彩・紙	渡邊峯子氏所蔵
58	山下新太郎	ブルガリア女流画家 アナタ・ホジナ嬢	不詳	21.2×18.2	素描・紙	2018年度 渡邊峯子氏寄贈
59	山下新太郎	読書	1955(昭和30)年	33.7×24.4	油彩・キャンバス	2018年度 渡邊峯子氏寄贈

あそびひと一人形と子どもの暮らし

会期：2020年6月20日(土)～8月23日(日) 56日間

会場：展示室ABC、展示ロビー

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

協力：株式会社アトリエ ニキティキ

入場者数：3,042人

担当学芸員：加藤絵美



当初、4月18日(土)～6月14日(日)の会期での開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発出により、予定していた会期中は臨時休館となり、その後の宣言解除後に館内の感染症対策を講じた上で、会期を変更しての開会となった。

本展では、アトリエ ニキティキの現代玩具コレクションから、ドイツ・スイスを中心としたヨーロッパの、主に1970年代以降の子ども向けの人形やドールハウスなどを3つのテーマで紹介した。「1. はじめて出会う人形」では、ベッドで長い時間を過ごす乳幼児向けの肌触りの良い人形や、わが子のために人形を作り始めた作家による人形を紹介した。「2. 人形の家」では、木製のドールハウス10数点を、街を構成するように立体的に展開し、加えてヨーロッパの伝統文化や風俗を示すミニチュアも展示した。「3. あやつり人形—お話から人形劇へ」では、民話や童話の登場人物(キャラクター)を表した指人形、ハンドパペット、マリオネットなどを取り上げ、実際に人形が動く様子が伝わるよう、会場内で動画も上映した。遊びと暮らしが密接に結びついた子どもの友達としての人形などを、成長段階に沿って紹介するとともに、人形にこめられた思いなどについても考察した。

また、外出自粛により来館できない方に向けて、当館で開設したYouTubeチャンネルから、展示の紹介動画を多数制作し発信し、好評を得た。

●カタログ

サイズ：18.2×12.8cm/124ページ

デザイン：矢部綾子(kidd)/発行：目黒区美術館

内容：

ごあいさつ | 子どもの暮らしと作り手の思い—展覧会によせて [西川敏子] | ドイツ、二つの人形を巡る感動の旅 [沖島博美] | 図版 1. はじめて出会う人形—感覚を育む / 2. 人形の家(ドールハウス)—暮らしを遊ぶ / 3. あやつり人形—お話から人形劇へ | ドイツ語文化圏の基層としての人形劇 [山口遥子] | 来たれ!人形参観へ [菊地浩平] | 人形、その不思議な存在 [加藤絵美] | 関連年表 | 本図録掲載主要メーカー・工房・デザイナー 一覧 | 作品リスト

●広報印刷物

ポスター B2/チラシ A4

デザイン：矢部綾子(kidd)

●関連催事

1. 「みんなでつくる思い出の人形アルバム」

開催期間：展覧会会期中/参加者数：40人

2. 大人のための美術カフェ ※新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした

●動画公開(「タイトル」公開日)

1. 「あそびひと展の紹介」 2020年5月13日

2. 「4人の人形作家さんのお話(前編)」 2020年5月23日

3. 「4人の人形作家さんのお話(後編)」 2020年5月31日

4. 「子どもが好きな、最初の人形玩具のお話」 2020年6月13日

5. 「人形の家のお話」 2020年6月20日

6. 「あやつり人形—指で手でのお話」 2020年7月5日

7. 「ネフのおもちゃであそんでみたい!のお話」 2020年7月19日

8. 「あやつってみた! ハンドパペット・棒人形・鉄棒人形・マリオネットのお話」 2020年8月2日

9. 「MMATミニワークショップ夏2020『くつ下パペットの冒険』」 2020年8月18日

10. 「MMATミニワークショップ夏2020『おうちにあるものでマリオネットをつくろう!』」 2020年8月18日

●主要関連記事

1. 「ミセスビュー ART」『ミセス』2020年6月号
2. 岡部匡志「おさなごに寄り添う リポート『あそぶひと—人形と子どもの暮らし』展 目黒区美術館」美術展ナビ(読売新聞ウェブ版) 2020年7月8日掲載
3. 「おでかけREPORT 人形の世界」NHKあさイチ 2020年7月16日放送

出品リスト

凡例

- ・出品作品について、章ごとに分けて記載した。
- ・作品のデータは、出品番号 | 作品名 | 制作者(デザイナー) | メーカー・工房 | 販売年・制作年 の順に記載した。ただし、作品の一部につき、作品名、制作者(デザイナー)、メーカー・工房、販売年・制作年において、同一項目が続く場合はまとめて記載した。
- ・作品名、メーカー・工房については、アトリエ ニキティキでの通称を採用した。作品名のうち、日本語の発音で表記しづらいものは、原題のまま掲載した。
- ・所蔵について、表記のないものはすべて、アトリエ ニキティキ蔵である。

No.	作品名	制作者(デザイナー)	メーカー・工房	販売年・制作年
-----	-----	------------	---------	---------

■第1章 はじめて出会う人形—感覚を養う

●生まれてすぐに、親から子へ

●ベビーベッドの中の世界

- | | |
|--------------|---|
| 1-1 | ボンガラッツ人形 ベビー エリザベス・ボンガラッツ 2004年～ |
| 1-2 | ファツヒェン人形 ゆりかご(グレドナー地方の木製人形の複製) ユディス・ゾトリファー 2000年代(オリジナルは17世紀～) |
| 1-3～7 | ファツヒェン人形(グレドナー地方の木製人形の複製) ユディス・ゾトリファー 2000年代(オリジナルは17世紀～) |
| 1-8 | 複製版胸像 ユディス・ゾトリファー 2000年代(オリジナルは17世紀～) |
| 1-9～11, 13 | 複製版木製人形 ユディス・ゾトリファー 2000年代(オリジナルは17世紀～) |
| 1-12 | 複製版木製人形4cm わっぱ入り ユディス・ゾトリファー 2000年代(オリジナルは17世紀～) |
| 1-14～16, 189 | ボンガラッツ ファツヒェン人形 エリザベス・ボンガラッツ 1980年代～ |
| 1-17 | figure(乳児玩具) アントニオ・ヴィターリ 1961-67年 |
| 1-19 | ガラガラ人形 アスタ・ベアリング ベアリング社 1980年頃 |
| 1-20 | サプライズ・サプライズ フレド・シャプルー ネフ社 1968年 |
| 1-21 | そら豆人形(白) ナナ & ビーター・センドケ ナンヒェン社 1983年～ |
| 1-23 | そら豆人形(緑) ナナ & ビーター・センドケ ナンヒェン社 1983年～ |
| 1-24 | 自在人形わっぱ入り赤ちゃん アスタ・ベアリング |
| 1-25～28 | タオルベビー ハンネ・クルーゼ ケテ・クルーゼ社 1970年代 |
| | 1-25 青 / 1-26 赤 / 1-27 水色 / 1-28 ピンク |
| 1-29 | MUMMELCHEN人形 ベビー Jolly ハンネ・クルーゼ ケテ・クルーゼ社 1981年 |
| 1-30 | MUMMELCHEN人形 ベビー Bibi ハンネ・クルーゼ ケテ・クルーゼ社 1981年 |
| 1-31 | ぬいぐるみ人形 ベビー アスタ・ベアリング プロフオンド社 1970年代 |
| 1-32 | メリヤス人形 アスタ・ベアリング ベアリング社 1980年代 |
| 1-34 | オルゴール付ぬいぐるみ人形 FRANZL(赤) アスタ・ベアリング ベアリング社 1980年代 |
| 1-36 | オルゴール付ぬいぐるみ人形 ベビー(青) アスタ・ベアリング プロフオンド社 1970年代 |
| 1-40, 43, 44 | 乳児玩具 フーゴ・キューケルハウス マイスターギルデ社 1936年考案 目黒区美術館蔵 |
| | 1-40 M1 / 1-43 たま / 1-44 さかな |
| 1-45～48 | 誕生ブック カトリン・キーナー キーナー社 1982年頃 |
| 1-49, 50 | ぬいぐるみ人形 大 アスタ・ベアリング プロフオンド社 1970年代 |
| | 1-49 男の子 / 1-50 女の子 |
| 1-61 | ケテ・クルーゼ人形 お風呂ベビー ハンネ・クルーゼ ケテ・クルーゼ社 1990年代(オリジナルは1963-74年) |
| 1-62 | ケテ・クルーゼ人形 お風呂ベビー Adam ハンネ・クルーゼ ケテ・クルーゼ社 1990年代(オリジナルは1963-74年) |
| 1-64 | ケテ・クルーゼ人形 訓練用ベビー(PUPPE Vs 複製版)Traümerchen ケテ・クルーゼ ケテ・クルーゼ社 1980年代(PUPPE Vs 初期モデルは1928年) |
| 1-65 | 柳のがらがら(フランス・アルデンヌ地方の民芸品) |
| 1-81～92, 102 | サーシャ人形(普及版)ベビー サーシャ・モルゲンターラー トレンドン社 1970-80年代 |
| 1-128 | ボンガラッツ人形 ベビー エリザベス・ボンガラッツ 1985年 |
| 1-129 | ボンガラッツ人形 ベビー エリザベス・ボンガラッツ 1986年 |
| 1-130 | ボンガラッツ人形 ベビー エリザベス・ボンガラッツ 1998年 |
| 1-154 | シルヴィア・ナテラ人形 ベビー(普及版)Lena シルヴィア・ナテラ プチ・コラン社 2017年 |

●私の妹・弟、子ども

◎ケテ・クルーゼ

- | | |
|------|--|
| 1-53 | ケテ・クルーゼ人形 Mimerle ケテ・クルーゼ ケテ・クルーゼ社 1990年(オリジナルは1970年代) |
| 1-54 | ケテ・クルーゼ人形 Mimerle ケテ・クルーゼ ケテ・クルーゼ社 1990年(オリジナルは1970年代) |

No.	作品名	制作者(デザイナー)	メーカー・工房	販売年・制作年
1-56	ケテ・クルーゼ人形 Fig ケテ・クルーゼ ケテ・クルーゼ社 1995年			
1-57	ケテ・クルーゼ人形 ケテ・クルーゼ ケテ・クルーゼ社 1945-51年(US-ZONE) 個人蔵			
1-58~60, 66~77, 190	ケテ・クルーゼ人形(普及版) ケテ・クルーゼ ケテ・クルーゼ社			
1-58	(PUPPE I 復刻版) Jockerle	2002年(PUPPE I 初期モデルは1910年)		
1-59	(PUPPE I 復刻版) Hemdenmatz	2000年(PUPPE I 初期モデルは1910年)		
1-60	(PUPPE I 復刻版) Margretchen	2000年(PUPPE I 初期モデルは1910年)		
1-66	Benedikt	1991年		
1-67	Walli	1998年		
1-68	(PUPPE VII 復刻版) Friedebald	1986年(PUPPE VII 初期モデルは1932年)		
1-69	(PUPPE VII 復刻版) Ilsebill	1986年(PUPPE VII 初期モデルは1932年)		
1-70	(PUPPE IX 復刻版) Mäcke	1997-2000年(PUPPE IX 初期モデルは1929年)		
1-71	(PUPPE IX 復刻版) Trud	1997-2000年(PUPPE IX 初期モデルは1929年)		
1-72	Laurie	1991年		
1-73	Luis	2000年代		
1-74	Carsten	2000年代		
1-75	(PUMMELCHEN) Hetty	1995年		
1-76	(PUMMELCHEN) Bernhard	1995年		
1-77	(PUPPE II 復刻版)	1987年		
1-190	SANDRA			
1-78	ケテ・クルーゼ人形(RUMPUMPEL) Eli ハンネ・クルーゼ ケテ・クルーゼ社 1990年代(オリジナルは1959年)			
1-79	ケテ・クルーゼ人形(RUMPUMPEL) Benjamin ハンネ・クルーゼ ケテ・クルーゼ社 1990年代(オリジナルは1960年)			

◎サーシャ・モルゲンターラー

1-80	サーシャ人形 サーシャ・モルゲンターラー 1974年			
1-93~121	サーシャ人形(普及版) サーシャ・モルゲンターラー トレンドン社			
1-93	Gregor	1970-80年代	1-94	Sasha 1970-80年代
1-95	Gregor	1970-80年代	1-96	Cora 1970-80年代
1-97	Gregor	1970-80年代	1-98	Sasha 1970-80年代
1-99	Sasha	1970-80年代	1-100	Sasha 1970-80年代
1-101	Sasha	1970-80年代	1-102	ベビー 1970-80年代
1-103	Caleb	1970-80年代	1-104	Harlequine 1984年
1-105	Pintucks	1982年	1-106	Sasha 1970-80年代
1-107	Gregor	1970-80年代	1-108	Caleb 1970-80年代
1-109	Cora	1970-80年代	1-110	Velvet 1970-80年代
1-111	Gregor	1970-80年代	1-112	Sasha 1970-80年代
1-113	Gregor	1970-80年代	1-114	Sasha 1970-80年代
1-115	Gregor	1970-80年代	1-116	Sasha 1970-80年代
1-117	Sasha	1970-80年代	1-118	Sasha 1970-80年代
1-119	Cora	1970-80年代	1-120	Gregor 1970-80年代
1-121	Sasha	1970-80年代		
1-124	サーシャ人形(普及版) きせかえ服 女の子用・男の子用・ベビー用 サーシャ・モルゲンターラー トレンドン社 1970-80年代			

◎エリザベス・ボングラッツ

1-125	ボングラッツ人形 女の子(初期布製ボディ) エリザベス・ボングラッツ 1982年頃			
1-126	ボングラッツ人形 男の子(オールウッド・つりズボン) エリザベス・ボングラッツ 1989年頃			
1-131~134	ボングラッツ人形(オールウッド) エリザベス・ボングラッツ 1983年頃~			
1-135	ボングラッツ人形 女の子(白ニットワンピース) エリザベス・ボングラッツ 1983年頃~			
1-136	ボングラッツ人形 女の子(藤色ニットワンピース) エリザベス・ボングラッツ 1983年頃~			

◎シルヴィア・ナテラ

1-137	シルヴィア・ナテラ陶磁器人形 Norwegerin シルヴィア・ナテラ 1990年代			
1-138	シルヴィア・ナテラ陶磁器人形 Ryo シルヴィア・ナテラ 2000年			
1-139	シルヴィア・ナテラ陶磁器人形 Rose シルヴィア・ナテラ 2001年			
1-141	シルヴィア・ナテラ陶磁器人形 Gwona シルヴィア・ナテラ			
1-142	シルヴィア・ナテラ陶磁器人形 Kolya シルヴィア・ナテラ 2001年			
1-143	シルヴィア・ナテラ陶磁器人形 Cecile シルヴィア・ナテラ 2002年			
1-145	シルヴィア・ナテラ人形(普及版) Clementine シルヴィア・ナテラ プチ・コラン社 2018年			
1-146	シルヴィア・ナテラ人形(普及版) Antonin シルヴィア・ナテラ プチ・コラン社 2017年			
1-147	シルヴィア・ナテラ人形(普及版) Ysolda シルヴィア・ナテラ ホワイ・バルーン社 2004年			
1-148	シルヴィア・ナテラ人形(普及版) Sylvie シルヴィア・ナテラ ケテ・クルーゼ社 2009年			
1-149	シルヴィア・ナテラ人形(普及版) Berlin シルヴィア・ナテラ ホワイ・バルーン社 1999年			
1-150	シルヴィア・ナテラ人形(普及版) Dublin シルヴィア・ナテラ ホワイ・バルーン社 2000年			
1-151	シルヴィア・ナテラ人形(普及版) Lina シルヴィア・ナテラ ケテ・クルーゼ社 2009年			
1-152	シルヴィア・ナテラ人形ベビー(普及版) Louisa シルヴィア・ナテラ ホワイ・バルーン社 2002年			

No.	作品名	制作者(デザイナー)	メーカー・工房	販売年・制作年
1-153	シルヴィア・ナテラ人形(普及版) Mimosa	シルヴィア・ナテラ	ツヴェルクナーゼ社	2000年代
1-155	シルヴィア・ナテラ人形ベビー(普及版) Golo	シルヴィア・ナテラ	ケテ・クルーゼ社	2013年

◎ロッセ・ジーバース＝ハーン

1-156	ハーン人形 Annika	ロッセ・ジーバース＝ハーン	ロッセ・ジーバース＝ハーン工房	1950-2010年代
1-157～162, 168	ハーン人形	ロッセ・ジーバース＝ハーン	ロッセ・ジーバース＝ハーン工房	1950-2010年代
1-157	Liesel	1-158 Martin	1-159 Volker	1-160 Lili
1-161 Tina	1-162 Ute	1-163 Oliver		
1-163	ハーン人形 木彫り人形家族(おばあさん、お父さん、お母さん、おじいさん、赤ちゃん、お兄さん、妹、お姉さん)	ロッセ・ジーバース＝ハーン	ロッセ・ジーバース＝ハーン工房	1945年～

◎ヘルガ・エレンド

1-165	ジルケ人形 Sven	ヘルガ・エレンド	エレンド社	1980年代～
1-166	ジルケ人形 Silke	ヘルガ・エレンド	エレンド社	1980年代～
1-167	GRANULAT(布団付き人形)	ヘルガ・エレンド	エレンド社	1980年代
1-169	ジルケ人形 ジルキー(毛糸)	ヘルガ・エレンド	エレンド社	1990年代～
1-170	ジルケ人形 ジルキー(モヘア)	ヘルガ・エレンド	エレンド社	1990年代～
1-171～174	エレンド人形	ヘルガ・エレンド	2008年	
1-175, 176	エレンド人形 ベビー	ヘルガ・エレンド	2008年	
1-177～179	ジルケ くま	エレンド社		
1-180	自在人形 ファミリー	アスタ・ベアリング	ベアリング社	1985年頃
1-181	人形の家用 自在人形 7人家族セット	イルミンガード・ヴォルフ	ヘアヴィック社	1958年～
1-182, 183	自在人形 テイル・オイレンシュピーゲル	イルミンガード・ヴォルフ	ヘアヴィック社	1958年～
1-184	人形の家用 自在人形	イルミンガード・ヴォルフ	ヘアヴィック社	1958年～
1-185	ハンドパペット すずの男の子	アスタ・ベアリング	プロフオンド社	1970年代
1-186	ぬいぐるみ人形 すずの男の子	アスタ・ベアリング	プロフオンド社	1970年代
1-187	ベグ人形 すずの男の子	アスタ・ベアリング	プロフオンド社	1970年代
1-188	飛び出し人形 すずの男の子	アスタ・ベアリング	プロフオンド社	1970年代
1-189～194	エレンド人形	ヘルガ・エレンド	2008年	

参考出品:人形のからだ

- *ケテ・クルーゼ人形 お風呂ベビー Taeubchen | ハンネ・クルーゼ | ケテ・クルーゼ社 | 1990年代(オリジナルは1963-74年)
- *エレンド人形 | ヘルガ・エレンド | 2008年
- *ハーン人形 Bastian | ロッセ・ジーバース＝ハーン | ロッセ・ジーバース＝ハーン工房 | 1950-2010年代
- *ボングラッツ人形 ベビー | エリザベス・ボングラッツ | 1982年
- *ケテ・クルーゼ人形 Mimerle | ケテ・クルーゼ | ケテ・クルーゼ社 | 1990年(オリジナルは1970年代)
- *サーシャ人形(普及版) Gregor | サーシャ・モルゲンターラー | トレンドン社 | 1970-80年代
- *シルヴィア・ナテラ人形(普及版) Cola | ホワイ・バルーン社 | 2002年

参考出品:カタログほか

- *サーシャ人形(普及版)箱 | トレンドン社 | 1970-80年代
- *サーシャ人形(普及版)なおしかたの説明書き | トレンドン社 | 1970-80年代
- *サーシャ人形(普及版)カタログ | トレンドン社 | 1983年
- *ドラ・クーン社カタログ | ドラ・クーン社 | マリアンネ社カタログ | マリアンネ社
- *スピールフォーム社カタログ | スピールフォーム社

■第2章 人形の家(ドールハウス)一暮らしを遊ぶ

●ミニチュア人形

2-45～57, 73～76	ケルスティン・フラデーデレクセル フラデー工房		
2-45	アドベントハウス	2000年代	2-46 マーケットのおもちゃ作り 2019年
2-47	マーケットのお菓子屋さん	2019年	2-48 花輪の女の子とボール 2013年
2-49	女の子と風船	2005年	2-50 男の子とでんとう虫 1999年
2-51	女の子とでんとう虫	1999年	2-52 プレツェルを持つ女の子 2019年
2-53	女の子とうば車	1997年	2-54 マーケットのパペット屋さん 2019年
2-55	カスパーシアター	2019年	2-56 マーケットスタンド2019(アトリエ ニキティキバージョン) 2019年
2-57	マーケットスタンド2019(アトリエ ニキティキバージョン)工程見本	2019年	
2-73	ジンジャーブレッドと天使		2-74 子猫を持つ少女
2-75	うさぎを持つ少女		2-76 テディを持つ少女

●ノアの方舟

2-58	ノアの方舟 アルフォンス・ブランク デコア社 1975年
------	------------------------------------

No.	作品名	制作者(デザイナー)	メーカー・工房	販売年・制作年
2-59	ノアの方舟セット	デヴィッド・ブレイジャーソン	ブリティッシュ・トイメーカーズ・ギルド	1981年
2-60	ノアの方舟セット	マリオ・プローニ社		2004年
2-61	ノアの方舟セット	ハンス＝ユルゲン・ジーバース	スピールフォーム社	
2-62	ノアの方舟	デュシマ社		1970年～
2-63	ノアの方舟 断面	クリスチアン・ヴェルナー	クリスチアン・ヴェルナー ライフェンドレーエン工房	1996年

●聖誕

2-65	ザイフェンの聖誕セット	ヴァルター・ヴェルナー	ヴァルター・ヴェルナー工房	1985年
2-66	聖誕セット	ロッテ・ジーバース＝ハーン	ロッテ・ジーバース＝ハーン工房	1930年代～
2-67	聖誕セット	ハンス＝ユルゲン・ジーバース	スピールフォーム社	
2-69	聖誕セット	イルミンガード・ヴォルフ	ヘアヴィック社	

●人形の家

1-18	ひと	アントニオ・ヴィターリ		1969年
2-1	ヴィターリ 人形の家、家具セット	アントニオ・ヴィターリ		1940年代
2-2	開閉式 人形の家	アルフォンス・ブランク	デコア社	1970年代
2-3	開閉式 人形の家、家具セット	アルフォンス・ブランク	デコア社	1970年代
2-4	家畜小屋、家具、動物セット	アルフォンス・ブランク	デコア社	1960年代頃
2-5	人形の家、家具セット	アルフォンス・ブランク	デコア社	1970年代
2-6	組立式 人形の家(階段+ベランダセット)	ハンス＝ユルゲン・ジーバース	スピールフォーム社	1980年代
2-7	人形の家用 家具セット	ハンス＝ユルゲン・ジーバース	スピールフォーム社	1980年代
2-8	木の動物、ひと、木など	ハンス＝ユルゲン・ジーバース	スピールフォーム社	1980～2000年代
2-10	人形の家(組立式)	ペア・クラーセン	ネフ社	1970年頃
2-11	人形の家用 家具	ペア・クラーセン	ネフ社	1970年頃
2-13	人形の家 山小屋	アスタ・ベアリング	プロフオンド社	1970年代
2-14	ベグ人形 家族(お母さん、男の子、お父さん、女の子)	アスタ・ベアリング	プロフオンド社	1970年代
2-15	小さなスウェーデンの家(Der kleine Schwede)復刻版	ジーナ社		1990年代～(オリジナルは1908年)
2-16	人形の家、家具セット	アルビスブラン社		1980年代
2-17	人形の家用 小物(三輪車、掃除用具入れ、すべり台、ブランコ、木馬、手押し車、ソリ)	ハーディ社		1962-2010年頃
2-24	人形の家 Berchtesgaden 家具36点セット	ドラ・クーン社		1980年代
2-25	人形の家 サンシャイン(開閉式)	ボードー・ヘニヒ社		2004年
2-26	人形の家用 自在人形	ヘアヴィック社		1958年～
2-27	人形の家 Tina	ボードー・ヘニヒ社		1980年代
2-28	人形の家 Allgäu	ボードー・ヘニヒ社		1980年代
2-31	木の動物たち	アルビスブラン社		1926年～
2-35	人形の家(組立式)	ケラー社		1973年
2-36	人形の家用 家具セット	ケラー社		1973年
2-37	人形の家	パウアー社		1980年代
2-38	人形の家用 家具18点セット	パウアー社		
2-70	犬小屋	ハンス＝ユルゲン・ジーバース	スピールフォーム社	1980年代
2-71	鳥小屋	ハンス＝ユルゲン・ジーバース	スピールフォーム社	1980年代
2-72	檻	ハンス＝ユルゲン・ジーバース	スピールフォーム社	1980年代

●ミニチュア家具と小物

2-9	人形の家用 食器	マリアンネ社		1980-2010年代
2-18	人形の家用 ガラス花瓶セット	ドラ・クーン社		1980-2010年代
2-19	人形の家用 家具、小物	ボードー・ヘニヒ社		1990-2000年代
2-20	人形の家用 食器	マリアンネ社		1980-2010年代
2-21	人形の家用 カントリー家具	ドラ・クーン社		1960-90年代
2-22	人形の家用 カントリー家具	ドラ・クーン社		1960-90年代
2-23	人形の家用 人形家族(お父さん、お母さん、赤ちゃん、男の子、女の子)	エルナ・マイヤー	ドラ・クーン社	1980年代(エルナ・マイヤーによるオリジナルは1945年～)
2-44	ガラスのミニチュア カップ&ソーサー	アトリエ・ブランシェ社		

■ 第3章 あやつり人形—お話から人形劇へ

●動かして遊ぶ人形

3-419	レッキイ	フリッツ・カールステン	カールステン社	1980年代
3-420	体操選手	アントニオ・ヴィターリ	ネフ社	1956-67年
3-421	トナーマックス	イルミンガード・ヴォルフ	ヘアヴィック社	1959-2000年代
3-422	ポキポキ人形 Joupil	パトリック・ライランズ	イル・レシオ社(オリジナルはネフ社)	2014年(オリジナルは1970年)

No.	作品名	制作者(デザイナー)	メーカー・工房	販売年・制作年
3-423	バウハウス スティック スピール	マルガレータ・ライヒャルド	ネフ社	1996年(オリジナルは1926年)
3-424	ミスターステッパー		ネフ社	1975年
3-425	ルイス	ハンスペーター・ルティ	ネフ社	1976年
3-426	バウハウス ハンベルマン	マルガレータ・ライヒャルド	ネフ社	1996年復刻(オリジナルは1926年)
3-427	ハンマーおじさん	アルフォンス・ブランク	デコア社	1970年代
3-428	羊の角	アルフォンス・ブランク	デコア社	1970年代
3-429	犬と猫	アルフォンス・ブランク	デコア社	1970年代
3-430	回転人形(小)	ユディス・ゾトリファー		2000年代(オリジナルは17世紀～)
3-431	回転人形(大)	ユディス・ゾトリファー		2000年代(オリジナルは17世紀～)
3-501	鉄棒人形(ドイツ・エルツ山地の工房)			
3-503	ブッフ	イル・レシオ社		1990年代
3-504	ケルナースティック	ゲオルク・ケルナー	ケルナー・スティックフィグーレン社	1920年代～

●いろいろあやつる

◎飛び出し人形

3-42～53	棒人形	ロッチ・ジーバース＝ハーン	ロッチ・ジーバース＝ハーン工房	1950年代～
3-54～59	飛び出し人形	アスタ・ベアリング	ケテ・クルーゼ社	1990年代
3-60～63	飛び出し人形	マイスターギルデ社		
3-64～69	飛び出し人形	マリオ・ブローニ社		
3-71～75	飛び出し人形	アスタ・ベアリング	ベアリング社	1980年代

◎指人形

2-12	工作指人形	マックス・リービヒ社		
3-2	ミニ指人形 ビエロ	マイスターギルデ社		
3-3	カスパシアター	(エルツ地方の工房)		
3-4	錫のカスパシアターセット	バベット・シュヴァイツァー社		
3-5	錫のカスパシアター	バベット・シュヴァイツァー社		
3-6	指人形家族	イルミンガード・ヴォルフ	ヘアヴィック社	1960-2010年代
3-7	指人形 カスパシアターセット	ブラジルのアーティストのハンドメイド	ネフ社	1990年代
3-8	指人形 サーカスセット	ブラジルのアーティストのハンドメイド	ネフ社	1990年代
3-9	棒人形セット	イルミンガード・ヴォルフ	ヘアヴィック社	1959～70年代頃
3-10～40	指人形	アスタ・ベアリング	ベアリング社	1980～90年代
3-513	指人形セット	マイスターギルデ社		

◎ハンドパペット

3-86-201

ハンドパペット(パルプ製)|ハーディ・レーラー|エリ社|1971年～

3-116	警察官	/	3-117	幽霊	/	3-119	カスパ
3-121	魔女	/	3-122	ライオン	/	3-127	インディアン
3-128	王様	/	3-129	王子様	/	3-130	悪魔
3-132	おじいさん	/	3-134	小鬼	/	3-135	コック
3-136	シャイフ	/	3-138	女王様	/	3-141	スルタン
3-142	ゼッペル	/	3-144	トロール	/	3-146	クラウン
3-147	ビエロ	/	3-148	泥棒	/	3-155	放浪者
3-157	魔法使い	/	3-167	おばあさん	/	3-168	ワニ
3-195	お姫様	/	3-199	赤ずきん	/	3-201	オオカミ

〈聖誕〉

3-86	若い羊飼	/	3-87	村人 女	/	3-88	若い女性
3-89	村人 男	/	3-90	羊飼	/	3-91	イエス・キリスト
3-92	天使	/	3-93	ヨセフ	/	3-94	マリアとイエス
3-95	メルキオール	/	3-96	バルタザール	/	3-97	カスパール

(※3-95-97は東方の三博士)

*先生、マックス、モーリッツ、もじゃもじゃペーター、長龍をはいたネコ

3-215～233	ハンドパペット(布製) アスタ・ベアリング ベアリング社 1980年代						
3-215	狩人	／	3-216	オオカミ	／	3-217	赤ずきん
3-218	市場の女の人	／	3-219	ゼッペル	／	3-220	教師
3-221	おまわりさん	／	3-222	おばあさん	／	3-223	庭師
3-224	悪党	／	3-225	悪魔	／	3-226	ムーア人
3-227	中国人	／	3-228	インディアン	／	3-229	ワニ
3-230	水兵	／	3-231	運転手	／	3-232	おじいさん
3-233	モーリッツ						

No. 作品名 | 制作者(デザイナー) | メーカー・工房 | 販売年・制作年

3-234~265 ハンドパペット(木製頭) アスタ・ベアリング ベアリング社 1980年代

3-234	すずの男の子 ウルスリ	/	3-235	泥棒	/	3-236	悪魔
3-237	赤ずきん	/	3-238	グレーテル	/	3-239	医者
3-240	花婿さん	/	3-241	農夫	/	3-243	庭師
3-246	森のこびと	/	3-248	看護婦	/	3-252	おばけ
3-253	おじいさん	/	3-254	コック	/	3-256	水兵
3-257	警官	/	3-261	野菜売りの女の人	/	3-262	ハンスグルスト
3-263	眼鏡おばあさん	/	3-264	先生	/	3-265	ゼツベル

*王様、お姫様、王子様、王妃様

3-266~319 ハンドパペット(木彫り) | ロッテ・ジーバース=ハーン | ロッテ・ジーバース=ハーン工房 | 1935年~

〈カスパールとゼツベル〉

3-266	ゼツベル	/	3-267	カスパール	/	3-310	ワニ
3-314	グレーテル	/	3-319	おまわりさん			

〈マックスとモーリッツ7つのいたずらのほなし〉

3-296	コックさん	/	3-305	ボルテおばさん	/	3-306	マックス
3-307	モーリッツ	/	3-316	先生			

〈いろんな国のひと〉

3-269	カウボーイ	/	3-282	アラブ人 シェイク	/	3-283	黒人(女の人)
3-284	黒人(男の人)	/	3-285	インディアン	/	3-286	インド人 スルタン
3-312	インディアンの娘						

〈赤ずきん〉

3-273	おばあさん	/	3-274	おおかみ	/	3-275	赤ずきん	/	3-276	狩人
-------	-------	---	-------	------	---	-------	------	---	-------	----

〈かえるの王さま、あるいは鉄のハインリヒ〉

3-277	王様	/	3-278	お姫様	/	3-279	王子様
3-280	魔法使い	/	3-281	かえるの王子様			

*悪魔、カラス、幽霊、死神、ドラゴン、ティル・オイレンシュピーゲル

参考出品 製作工程見本 | ロッテ・ジーバース=ハーン | ロッテ・ジーバース=ハーン工房 | 2020年

3-329~351 ハンドパペット(木製) イルミンガード・ヴォルフ ヘアヴィック社 1959-90年代

3-329~336	手人形家族	/	3-337	悪魔	/	3-338	王様
3-339	おじいさん	/	3-340	おばあさん	/	3-341	お姫様
3-342	カスパール	/	3-343	看護婦	/	3-344	サンタクロース
3-345	おまわりさん	/	3-346	魔女	/	3-347	幽霊
3-348	おじいさん	/	3-349	おばあさん	/	3-350	女の子
3-351	ピエロ						

(※3-348-351は棒付手人形)

◎マリオネット(糸あやつり・棒あやつり)

3-352~357 マリオネット 家族(大) | イルミンガード・ヴォルフ | ヘアヴィック社 | 1959-90年代

3-358~361 マリオネット 家族(小) | イルミンガード・ヴォルフ | ヘアヴィック社 | 1959-90年代

3-362~365 マリオネット(小) | イルミンガード・ヴォルフ | ヘアヴィック社 | 1959-90年代

3-362	カスパール	/	3-363	コックさん	/	3-364	ティル・オイレンシュピーゲル	/	3-365	水兵さん
-------	-------	---	-------	-------	---	-------	----------------	---	-------	------

3-366~377 マリオネット(大) | アスタ・ベアリング | ベアリング社 | 1980年代

3-366	魔女	/	3-367	庭師	/	3-368	王子
3-369	お姫様	/	3-370	魔法使い	/	3-371	スイスの男の子
3-372	エブロンお父さん	/	3-373	カスパール	/	3-374	こびと
3-375	女の子	/	3-376	クラウン	/	3-377	カラス

3-378~383 マリオネット(大) アスタ・ベアリング ベアリング社 1980年代

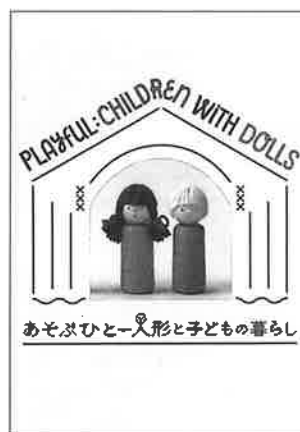
3-378	クマと女の子	/	3-379	粉挽きの女の子	/	3-380	スズの男の子
3-381	スイスの男の子	/	3-382	男の子	/	3-383	カスパール

3-412~416 マリオネット | ヘルガ・ブレーメ | ネフ社 | 1975年

No.	作品名	制作者(デザイナー)	メーカー・工房	販売年・制作年
3-412	イヌ(小)	/	3-413 男の人	/ 3-414 馬
3-415	ワニ	/	3-416 イヌ(大)	
3-417	マリオネット アヒル ヴェルナー・アーレンス ディ・ヴェルクシュタット社 1970年代			
3-418	マリオネット らくだ ヴェルナー・アーレンス ディ・ヴェルクシュタット社 1970年代			

●ハンペルマン

3-432	ハンペルマン ビエロ	カトリン・キーナー	キーナー社	1970年代～
3-433～443	ハンペルマン	ブライトシュベルツ社	1980～2000年代	
3-444	ハンペルマン ビエロ 特大	ブライトシュベルツ社	1980～2000年代	
3-445	ジャンボハンペルマン ビエロ	ラルフ・ヘラー	ヘラー社	1980～2000年代
3-446～468	ハンペルマン	ラルフ・ヘラー	ヘラー社	1980～2000年代
3-469, 470	ハンペルマン	デコア社		
3-474～478	ピッコロハンペルマン	ラルフ・ヘラー	ヘラー社	1980～90年代
3-479～483	ミニハンペルマン	ラルフ・ヘラー	ヘラー社	1970～80年代
3-484～486	ミニハンペルマン	ヤーン・ヘラー	ヘラー社	1990年代
3-487～499	木のハンペルマン	ロッテ・ジーバース＝ハーン	ロッテ・ジーバース＝ハーン工房	1950年～



カタログ



A4チラシ

目黒区美術館コレクション展 LIFE — コロナ禍を生きる私たちの命と暮らし

会期：2020年10月24日(土)～11月29日(日) 32日間

会場：展示室ABC、展示ロビー

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

入場者数：2,023人

担当学芸員：山田真規子



英語の「LIFE」には、「命」と「暮らし」の意味がある。コロナ禍を生きる私たちは、これまで以上に「命」と「暮らし」に思いを巡らせているのではないかと。当初予定していた内容から、下記の4つのテーマの下に目黒区美術館のコレクションをとおしてこの問題に向き合う展示へと変更した。

第1章「恐怖と不安、そして悲しみ」では、コロナ禍にあり、私たちが抱くこうした感情を表現したような作品を展観した。第2章「愛しき日々」では、いわゆる「オールド・ノーマル」、コロナ前の生活を描いた作品を展示した。当たり前と思っていた日常は、失われて初めてその素晴らしさが実感される。第3章は「それでも私たちは今を生きる」とし、コロナ禍でのステイ・ホームの生活を思わせる、屋内で、孤独にもしくは肩を寄せ合いながら生きる人々の姿を描いた作品を展示した。最後の第4章は「再び抱き合える日に」。戦争や災害など、人類はこれまでも様々な苦難を克服してきた。いつかまた、抱き合える日が来るという願いを込めて、再生や希望を想起させる作品を紹介した。

会場内に、来館者にマスク型の用紙にコメントを記入してもらおうコーナーを設けた。コロナ禍での苦しい思いや美術館で展示を観る喜びについての記述が印象的であった。

●広報印刷物

ポスター B2/チラシ A4

デザイン：台田祥之(Aida Yoshiyuki Design)

●関連催事

1. 目黒区美術館 マスク・プロジェクト「マスクに思いをのせて、つながろう」

開催期間：展覧会会期中／参加人数：235人

2. 大人のための美術カフェ

※新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした

●動画公開(「タイトル」公開日)

1. 「鉛筆画家・木下晋 コロナ禍につなぐ命のバトン」2020年10月24日

2. 「鉛筆画家・木下晋 掌中にある命の形」2020年10月24日

3. 「鉛筆画家・木下晋 愛猫シロと動物の命」2020年10月24日

●主要関連記事

1. 「コロナ下 日常と命思う」『読売新聞』2020年10月25日

2. 「[アートウォッチ]『希望をありがとう』…来館者の熱い声続々」産経ニュースWeb版 2020年11月18日

3. 「目黒区美術館コレクション展 LIFE コロナ禍を生きる私たちの命と暮らし」『新美術新聞』2020年10月11月号

出品リスト

凡例

・出品作品について、章ごとに分けて記載した。

・作品のデータは、出品番号 | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質・技法 | サイズ(縦×横) | 取得情報 の順に記載した。ただし、版画集の作品については、刊行情報等共通の情報はまとめて記載し、各々の作品情報は個別に記載した。

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	サイズ(cm)	取得情報
第1章 恐怖と不安、そして悲しみ						
1～10	駒井哲郎	銅版画集『Composition de la Nuit』	1970年	個別に記載	50.2×32.6(紙寸)	1984年度購入
		1 首つり		エッチング・紙	25.7×17.8	
		2 囚人		エッチング、雁皮刷・紙	25.6×17.8	
		3 崩解感覚		エッチング・紙	25.7×17.8	
		4 残像		エッチング・紙	26.3×18.1	
		5 地獄篇第28歌		エッチング・紙	25.8×17.8	
		6 顔の中の赤い月		エッチング・紙	25.7×17.8	
		7 肉体はぬれて		エッチング、雁皮刷・紙	25.8×18.3	
		8 暗い絵		エッチング・紙	26.0×18.3	
		9 作家の肖像		エッチング・紙	25.2×18.0	
		10 時計の眼		エッチング、雁皮刷・紙	25.7×17.8	
11～14	浜田知明	銅版画集『見える人』	個別に記載	個別に記載	41.3×31.7(紙寸)	1982年度購入
		11 孤独なやつ	1974年	エッチング、アクアチント 雁皮刷・紙	20.3×21.6	
		12 情報過多の人間	1975年	エッチング、雁皮刷・紙	22.3×14.5	
		13 顔	1975年	エッチング、雁皮刷・紙	22.6×16.8	
		14 顔	1975年	エッチング、雁皮刷・紙	19.3×19.3	
15～28	小作育史	石版画集『バリエーションD』 (群より一転写による軌跡)[全14点]	1976年	リトグラフ・紙	38.8×32.8 49.2×39.5(紙寸)	1982年度購入
29	飯田善國	戦争A—鎮魂歌—思い出す人々	1955年	油彩、コラージュ・キャンバス	162.7×130.0	1988年度購入
30	飯田善國	戦争B—文明の没落	1955年	油彩、コラージュ・キャンバス	162.7×130.0	1988年度購入
31	名井萬亀	無題	1951年	鉛筆・紙	40.5×29.2(紙寸)	1982年度 名井稔治氏寄贈
32	名井萬亀	無題	1950年	鉛筆・紙	40.5×29.2(紙寸)	1982年度 名井稔治氏寄贈
33	名井萬亀	無題	1950年	鉛筆・紙	40.5×29.2(紙寸)	1982年度 名井稔治氏寄贈
34	名井萬亀	無題	1950年	鉛筆・紙	40.5×29.2(紙寸)	1982年度 名井稔治氏寄贈
35	名井萬亀	無題	1951年	鉛筆・紙	40.5×29.2(紙寸)	1982年度 名井稔治氏寄贈
36	名井萬亀	無題	1950年	鉛筆・紙	40.5×29.2(紙寸)	1982年度 名井稔治氏寄贈
37	名井萬亀	割れた顔	1950年	油彩・キャンバス	53.4×41.5	1982年度 名井稔治氏寄贈
38～47	深沢幸雄	版画集『宮沢賢治「春と修羅」より』	1970年	個別に記載	29.7×23.7(紙寸)	1983年度購入
		38 序		アクアチント、エッチング マジックインク、メゾチント ドライポイント、雁皮刷・紙	16.4×14.9	
		39 オホーツク挽歌		アクアチント、ドライポイント マジックインク、 塗り分けによる多色、雁皮刷・紙	20.0×14.5	
		40 オホーツク挽歌		ディープエッチング エングレーヴィング アクアチント、エッチング 雁皮刷・紙	18.0×14.5	
		41 札幌市		アクアチント、エッチング ハンダ、塗り分けによる多色 雁皮刷・紙	19.8×14.9	
		42 作品1040番		エッチング、アクアチント ルーレット 塗り分けによる多色・紙	17.8×14.9	
		43 樺太鉄道		アクアチント、ハンダ ドライポイント 塗り分けによる多色、雁皮刷・紙	18.2×13.6	
		44 青森挽歌		メゾチント・紙	19.6×14.3	

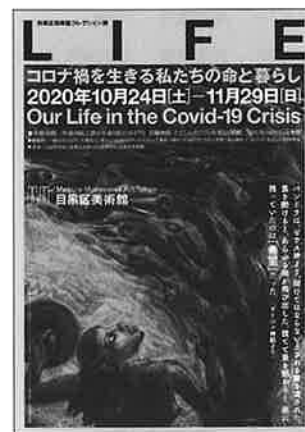
No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	サイズ(cm)	取得情報
		45 雲とはんのき		エッチング、アクアチント ルーレット、マジックインク 塗り分けによる多色、雁皮刷・紙	18.0×14.9	
		46 (堅い腰路は…)		エッチング、アクアチント ドライポイント、ハンダ 塗り分けによる多色、雁皮刷・紙	19.6×14.9	
		47 肺炎詩篇より		エッチング、アクアチント ドライポイント ソフトグラウンドエッチング・紙 エングレーヴィング・紙	18.2×14.9 22.8×17.2 46.8×38.0(紙寸)	
48~57	木原康行	銅版画集『死と転生』	1977年			1982年度購入
		48 死I				
		49 死II				
		50 死III				
		51 死IV				
		52 死V				
		53 転生I				
		54 転生II				
		55 転生III				
		56 転生IV				
		57 転生V				

第2章 愛しき日々

58	島村三七雄	セーヌの釣り	1929-36年	油彩・キャンバス	53.0×65.2	1983年度購入
59	清水登之	肉屋	1926年	油彩・キャンバス	80.0×65.2	1984年度購入
60	鈴木蔵	習作	1925年	油彩・キャンバス	52.0×71.7	1983年度購入
61	澤部清五郎	ニューヨーク風景	1910-12年	水彩・紙	55.5×33.2	1984年度 澤部つた氏寄贈
62	矢崎千代二	パリ風景	不詳	パステル・紙	33.0×23.0	木村悦雄・正子コレクション
63	藤田嗣治	カフェ・ラ・ロトンド	1925年	銅版・紙	19.0×14.5	1983年度購入
64	澤部清五郎	セーヌ河岸	1912年	油彩・板	15.2×22.0	1984年度 澤部つた氏寄贈
65	澤部清五郎	パリの街角	1913年	油彩・板	22.0×15.2	1984年度 澤部つた氏寄贈
66	澤部清五郎	初夏のカフェ	1912年	油彩・ボード	32.5×24.7	1984年度 澤部つた氏寄贈
67	澤部清五郎	ルクサンブルの冬	1912年	油彩・ボード	35.0×27.0	1984年度 澤部つた氏寄贈
68	澤部清五郎	ムードンの画室街	1912年	油彩・ボード	27.0×35.0	1984年度 澤部つた氏寄贈
69	澤部清五郎	パリの朝	1913年	油彩・ボード	27.0×35.0	1984年度 澤部つた氏寄贈
70	澤部清五郎	カブリ	1913年	油彩・ボード	27.0×35.0	1984年度 澤部つた氏寄贈
71	澤部清五郎	ルクサンブルの人形芝居	1913年	油彩・ボード	27.0×35.0	1984年度 澤部つた氏寄贈
72	宮田武彦	声楽	不詳	油彩・キャンバス	91.0×91.0	1991年度 宮田國氏寄贈
73	古茂田守介	踊り子達	1946年	油彩・キャンバス	112.5×146.0	1990年度 古茂田美津子氏寄贈
74	岡田謙三	幕合	1938年	油彩・キャンバス	130.8×97.3	1988年度購入
75	篠原有司男	コニーアイランド遊園地	1974年	アクリル・キャンバス	193.0×245.0	1986年度購入
76	高崎剛	軽業師D	1928年	油彩・キャンバス	92.0×28.0	2010年度購入
77	中村義夫	たき火	不詳	油彩・キャンバス	80.0×65.0	1985年度 中村一雄氏寄贈
78	須山計一	殴られる「彼」築地小劇場より 「コンスエラ」、「道化役」	1925年	インク、水彩・紙	14.5×22.5	1981年度 須山和彦氏寄贈
79	須山計一	殴られる「彼」衣裳 築地小劇場より 「太陽のジャックソン」、「彼」	1925年	インク、水彩・紙	14.5×22.5	1981年度 須山和彦氏寄贈
80	須山計一	暖かい日のスケッチ	1923年	インク、パステル・紙	18.1×13.7	1981年度 須山和彦氏寄贈
81	須山計一	目白より原宿に至る電車にて	1923年	インク、水彩・紙	18.1×13.7	1981年度 須山和彦氏寄贈
82	須山計一	RESTA...	1924年	鉛筆、水彩・紙	21.2×25.5	1981年度 須山和彦氏寄贈
83	須山計一	仕上げる女たち	1943年頃	鉛筆・紙	56.0×62.5	1981年度 須山和彦氏寄贈
84	須山計一	保育所		鉛筆・紙	49.8×58.5	1981年度 須山和彦氏寄贈
85	須山計一	工場風景	1954年	木炭、パステル、水彩・紙	75.8×56.5	1981年度 須山和彦氏寄贈

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	サイズ(cm)	取得情報
86	秋岡芳夫	水放館	1950年	着彩・紙	35.5×47.3	2011年度 秋岡陽氏寄贈
87	秋岡芳夫	ジャングルジム	1950年	着彩・紙	34.5×47.7	2011年度 秋岡陽氏寄贈
第3章 それでも私たちは今を生きる						
88	白瀧幾之助	室内	不詳	木炭・紙	47.0×62.0	1984年度購入
89	白瀧幾之助	室内	不詳	木炭・紙	43.7×57.6	1984年度購入
90	中村義夫	寝室	1921-26年頃	パステル・紙	63.2×48.2	1983年度 中村一雄氏寄贈
91	中村義夫	午睡	1921-26年頃	パステル・紙	51.0×66.1	1983年度 中村一雄氏寄贈
92～93	相笠昌義	銅版画集『女・時の過ぎゆくまに』より	1979年	エッチング、アクアチント・紙	39.5×42.0(紙寸)	1982年度購入
		92 うたたね			14.0×25.0	
		93 ねむる女			21.0×17.0	
94	小林孝亘	Television	1993年	リトグラフ・紙	25.0×25.5 45.0×32.0(紙寸)	2002年度購入
95	小林孝亘	Class Room	1993年	リトグラフ・紙	35.0×25.5 45.0×32.0(紙寸)	2002年度購入
96	小堀四郎	無題(女二人)	不詳	油彩・キャンバス	162.0×130.0	2001年度 小堀四郎氏寄贈
97	近藤吾朗	パリの窓	1957年	油彩・キャンバス	100.5×80.9	1984年度 東江道夫氏寄贈
98	古茂田守介	母子	1946年	油彩・キャンバス	91.5×117.0	1990年度 古茂田美津子氏寄贈
99	古茂田守介	工房	1949年	油彩・キャンバス	144.5×155.0	1990年度 古茂田美津子氏寄贈
100	古茂田守介	母子	1953年	油彩・キャンバス	130.0×97.0	1990年度 古茂田美津子氏寄贈
101	中村義夫	あやす	不詳	油彩・キャンバス	80.5×60.8	1983年度 中村一雄氏寄贈
102	古茂田守介	黄色いリボンの少女	不詳	油彩・板	33.4×24.0	1992年度購入
103	高島達四郎	食卓	1927年	油彩・キャンバス	80.9×99.8	1985年度購入
104	中川紀元	女と猫	1920年	油彩・キャンバス	143.8×59.2	1988年度購入
105	木下晋	シロ I	1988年	鉛筆・ケント紙	50.0×99.8 62.0×112.1(紙寸)	1992年度作者寄贈
106	中村義夫	少憩	1923-28年	油彩・キャンバス	100.1×80.9	1983年度購入
107	山口眞	読書する女	1925-29年頃	油彩・キャンバス	73.0×61.0	1986年度購入
108	南政善	かたぐるま	1936年	クレヨン、水彩・紙	35.0×28.6	1983年度 南多嘉子氏寄贈
109	南政善	かたぐるま	1936年	クレヨン、水彩・紙	34.8×28.5	1983年度 南多嘉子氏寄贈
110	南政善	かたぐるま	1936年	インク、クレヨン・紙	18.4×13.6	1983年度 南多嘉子氏寄贈
111	南政善	かたぐるま	1936年	インク・紙	34.5×28.5	1983年度 南多嘉子氏寄贈
112	南政善	かたぐるま	1936年	インク、クレヨン・紙	18.4×13.6	1983年度 南多嘉子氏寄贈
113	南政善	かたぐるま	1936年	インク、クレヨン・紙	17.4×13.6	1983年度 南多嘉子氏寄贈
第4章 再び抱きあえる日に						
114	須山計一	焼跡風景	不詳	木炭、コンテ、パステル・紙	56.9×75.5	1981年度 須山和彦氏寄贈
115～119	野中ユリ	版画集『イリュミネーション』	1975年	リトグラフ、コロタイプ・紙	55.0×41.4 59.3×44.1(紙寸)	1984年度購入
		115 大洪水の後				
		116 神秘				
		117 神秘				
		118 花々				
		119 野蜜				
120	矢崎千代二	夜明け	1921年	パステル・紙	23.0×33.0	木村悦雄・正子コレクション
121	藤田嗣治	接吻	1904年	水彩・紙	15.0×11.5	1983年度購入
122	藤田嗣治	キス・ミー(人形、顔)	1946年	彩色・木	h.8.5×w.19.0×d.4.5	1983年度購入
123	藤田嗣治	キス・ミー(人形、全身)	1946年	彩色・木	h.4.5×w.16.5×d.4.5	1983年度購入
124	武内鶴之助	虹のある風景	1909-10年頃	油彩・板	28.9×39.3	1983年度購入
125	須山計一	和彦像	1941年頃	鉛筆、水彩・紙	18.0×27.1	1981年度 須山和彦氏寄贈

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	サイズ(cm)	取得情報
126	中村義夫	あやす	不詳	油彩・キャンバス	53.1×45.8	1983年度 中村一雄氏寄贈
127	青山義雄	母と子	1926年	油彩・キャンバス	46.3×55.4	1986年度購入
128	小作青史	銅版画集『ギリシア神話より』 パンドラ	1968年	エッチング、アクアチント・紙	24.6×19.0 39.7×56.0(紙寸)	1984年度購入
129	木下晋	無-I	1992年	鉛筆・ケント紙	165.0×99.5	1992年度購入
130	山下新太郎	峯子	1924年	水彩、鉛筆・紙	15.8×13.8	2018年度 渡邊峯子氏寄贈



A4チラシ

視ることの楽しみ ―画材と素材の引き出し博物館

会期：2021年1月16日(土)～1月13日(日) 14日間
 会場：展示室BC、展示ロビー
 主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館
 入場者数：1,430人
 担当学芸員：佐川タ子



新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、当初予定していた「めぐろの子どもたち展」の中止となった為、同会期に本館2階展示スペースの約半分を会場とし開催した。

「画材と素材の引き出し博物館」は、開館以来、展覧会とともに教育普及活動も力を注いできた当館が、美術作品と鑑賞者を結ぶツールとして企画・制作したオリジナルの美術教材で、その制作の端緒は1980年代半ばの美術館開設準備室時代にさかのぼる。作品制作に欠かせない画材や素材の実物資料を、テーマごと「引き出し」にレイアウトしたもので、これまでワークショップで用いるほか、企画展の中でも美術作品の資料として展示活用してきた。本展では、それら全ての「引き出し」を一堂に展示し、様々な美術の表現を支えてきた画材や素材を知り、また知ることで美術作品をこれまでとは違った角度から“視る”という楽しみの発見へとつながることを期待した。14日間という短い会期で、広報も限定的なものであったが、1日平均約100名の来館者を数え、予想以上の来館者に恵まれた。熱心に熟覧する姿が多く見られた。

●広報印刷物

ポスター B2／ハガキ A5
 デザイン：SPREAD

●関連催事

1. トーク&ミニライブ「音楽家の引き出し、お見せします。大口俊輔編ーお話&演奏ー」(めぐろパーシモンホール×目黒区美術館 共同企画)
 出演：大口俊輔氏(作曲家、ピアニスト、アコーディオン奏者)／開催日時：1月24日(日)／会場：本館2階A展示室／参加人数：50人



B2ポスター

出品リスト

凡例

- ・「画材と素材の引き出し博物館」と参考出品した絵画作品・資料に分けて記載した。
- ・引き出し博物館の情報は、資料番号 | 資料名の順に記載した。
- ・絵画作品は、通し番号 | 展示場所 | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質・技法 | サイズ(縦×横)の順に、資料は、通し番号 | 展示場所 | 資料名等 | 制作年 | 材質・技法 | 備考の順に記載した。
- ・「画材」の引き出し博物館は本展開催時に引き出しのタイトルを変更したものがあある(1, 2, 3, 4, 5, 7, 11, 12)。資料名部分の()内に旧名称を付した。
- ・情報末尾に「*」印をつけた引き出しは、本来「さわれる実物資料」として制作したものだが、本展では展示ケース内に展示した。
- ・所蔵は、特に記載にないもの以外はすべて目黒区美術館蔵である。

No. 資料名

■画材と素材の引き出し博物館

BOX 1 画材 Painting materials | 画材の引き出し博物館

- 日本の色材—天平の色(旧:天然顔料[天平の色—日本画])
- 日本画の色材—天然岩絵具(粒子径の違い)(旧:天然顔料[現代の天然岩絵具—日本画])
- 西洋の色材—14・15世紀イタリアの色(旧:天然顔料[西洋画])
- 日本画の色材—新岩絵具(旧:人工顔料[新岩絵具—日本画])
- 現代の色材—合成顔料他(旧:人工顔料[西洋画])
- 練り剤による色味の違い
- 日本画の色材—絵具(旧:絵具[日本画])
- 油絵具の昔と今[油彩画]
- にかわ
- 画用液
- 水彩絵具(旧:絵具[水彩画])
- 合成樹脂絵具(旧:絵具[合成樹脂絵具])
- 木炭・コンテ
- 鉛筆
- パステル
- クレヨン・オイルパステル
- 色鉛筆
- 筆の原料
- 筆[日本画]
- 刷毛[日本画]
- 筆[西洋画]
- 刷毛[西洋画]
- 支持体[日本画]
- 支持体[フレスコ画]
- 支持体[テンペラ画]
- 支持体[油彩画]
- 水彩画用紙 ※本展では展示せず
- パステル画用紙 ※本展では展示せず
- 顔料から絵具へ[西洋画]

BOX 2 木 Wood | 素材の引き出し博物館—木

- 木の表情—日本の木
- 木の表情—世界の木
- 木の表情—時の刻印 1
- 木の表情—時の刻印 2
- 木からモノへ—木からとれる色
- 木からモノへ—樹皮
- 木からモノへ—木肌と仕上げ
- 木からモノへ—繊維特性 ※本展では展示せず
- 木のモノ—食
- 木のモノ—遊
- さまざまな木*
- 不思議な木の玉*
- 樹皮のついた木片*
- 木腕の工程*

15. ツゲ櫛の工程＊
16. キリ下駄の工程＊

BOX 3 紙 Paper | 素材の引き出し博物館—紙

1. 紙以前—パピルス・バイラン
2. 紙以前—パーチメント(羊皮紙)
3. 紙以前—アマテ紙
4. 紙以前—タバ
5. 日本の手すき紙—こうぞ紙
6. 日本の手すき紙—みつまた紙
7. 日本の手すき紙—がんび紙
8. 世界の手すき紙—中国
9. 世界の手すき紙—韓国
10. 世界の手すき紙—ネパール・インド
11. 世界の手すき紙—イタリア
12. 世界の手すき紙—フランス
13. 機械すき紙—洋紙の原料
14. 機械すき紙—型押し
15. 紙の表情—すき込み
16. 紙の表情—透かし
17. 紙の表情—和紙の形 1
18. 紙の表情—和紙の形 2
19. 紙の表情—洋紙の形 1
20. 紙の表情—洋紙の形 2
21. 日本の手すき紙

BOX 4 金属 Metal | 素材の引き出し博物館—金属

1. いろいろな金属—鉱石と金属 1
2. いろいろな金属—鉱石と金属 2
3. 金属の表情—表面処理 1
4. 金属の表情—表面処理 2
5. 金属の特性—展延性 1
6. 金属の特性—展延性 2
7. 金属の特性—熱・電気伝導性
8. 金工技法 1—接合と切断
9. 金工技法 2—彫金
10. 金工技法 3—鋳金
11. 金工技法 4—鍛金
12. 金工技法 5—鍛造
13. 金属のモノ！遊＊
14. 金属のモノ！音＊
15. 金属のモノ！3＊

No.	展示場所	作家名	作品名	制作年	材質・技法	サイズ(cm)	作品分類番号
■参考出品＜作品＞							
作品 1	画材	川村清雄	まな・あらな	1912-26年	油彩・絹	36.3×72.7	か007-043
作品 2	画材	川村清雄	幼児石膏習作	1873-81年頃	コンテ・紙	12.0×11.8	か007-004
作品 3	画材	川村清雄	裸体習作(横位置)	1873-81年頃	コンテ・紙	23.9×31.9	か007-002
作品 4	画材	武内鶴之助	風景	1910-12年頃	パステル・紙	12.6×17.8	た003-002-(14)
作品 5	画材	栗原忠二	ベニス	1926年頃	水彩(グアッシュ)・紙	24.6×35.5	く007-002
作品 6	画材	小川千襲	フランクフルト風景	1913年頃	水彩・紙	19.5×17.4	お015-001-(2)

No.	展示場所	資料名等
-----	------	------

■参考出品＜資料＞

資料 1	画材	伊原宇三郎旧蔵の画材より オーバル型の木枠
資料 2	画材	伊原宇三郎旧蔵の画材より 戦前のペインティングオイル各種
資料 3	画材	伊原宇三郎旧蔵の画材より 愛用の画筆
資料 4	紙	羊皮紙に描かれたテンペラ画(今村友宣 作) 2008 年 テンペラ・皮 個人蔵
資料 5	紙	ネパールの紙漉き道具(ロクタ紙の漉き術と紙の原料をすくうお玉)
資料 6	紙	「第42回デザインギャラリー展覧会 三浦公亮一宇宙構造のフォルム展」パンフレット(1990年2月28日-3月19日、松屋デザインギャラリー/銀座)
資料 7	紙	MIURA 折り(榎本寿紀 制作) 1990年

としなり 前田利為 春雨に真珠をみた人 —前田家の近代美術コレクション—

会期：2021年2月13日(土)～3月22日(日) 32日間

会場：展示室ABC、展示ロビー

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

特別協力：公益財団法人前田育徳会

助成：公益財団法人花王芸術・科学財団

入場者数：4,075人

担当学芸員：吉田暁子



同時開催：ワークショップ春「離れてあそぶ初めてのうちんち！
ワークショップ」

加賀百万石で知られる前田家の旧邸宅が目黒区駒場に所在する縁で、目黒区と金沢市は友好都市協定により結ばれており、また当館においても上記の邸宅の建築鑑賞ツアーを以前より実施していた。公益財団法人前田育徳会の協力を得て実現した本展は、前田家の第16代当主利為の手によって収集された美術コレクションを、彼の審美眼に着目して紹介した。副題に付けた「春雨に真珠をみた人」は、利為が撮影して「綾真珠」と名付けた写真に由来する。

展示室Aでは「若き侯爵の審美眼—利為のコレクションをひもとく—」として、1910(明治43)年の明治天皇による本郷邸臨幸に先立って収蔵された林忠正旧蔵の西洋絵画にはじまる利為のコレクションを展示した。展示室Bでは「名家の歴史を担って—前田家の事跡を伝える—」として、利為が終生尊敬し、財団設立などの文化施策においても範とした第5代当主綱紀の肖像画など、前田家の歴史にまつわる作品を紹介した。展示室C及び展示ロビーでは、「駒場邸での暮らし」として、1926(大正15)年に本郷との土地交換が成立し、1929(昭和4)年に洋館、1930(昭和5)年に和館が竣工した駒場邸に飾られた作品や建築図面、新築に合わせてイギリスに特注された家具のデザイン図などを展示した。また会期中、展示室Bの一角において約16分のインタビュー動画(下記参照)を上映した。

●カタログ

サイズ：29.7×21.1cm/64ページ

デザイン：大森裕二(オオモリデザインオフィス)／発行：目黒区美術館

内容：

ごあいさつ | 出品作品 | 前田利為の生涯と近代美術コレクション[菊池浩幸] | 作家作品解説 | 前田利為略年譜 | 出品リスト

●広報印刷物

ポスター B2/チラシ A4

デザイン：大森裕二(オオモリデザインオフィス)

●上映展示

記録動画「前田家第十八代当主 前田利祐(としやす)氏 特別インタビュー」

上映期間：展覧会会期中／上映場所：展示室B／制作：目黒区美術館／撮影協力：公益財団法人前田育徳会／編集協力：岡川純子

●主要関連記事

石川健次「Art Scene」『サンデー毎日』2021年3月21日

出品リスト

凡例

・作品のデータは、出品番号 | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質・技法 / 形状 | 員数 | サイズ(縦×横)の順に記した。

・寸法の大きさの内、★とあるものは額、マットなどの内寸を計測した数値。

・所蔵は、すべて公益財団法人前田育徳会の所蔵である。

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法 / 形状	員数	サイズ(cm)
1	ジャン＝バティスト・アルマン・ギョーマン	湖水	1894年	油彩・画布 / 額	1面	★63.7×79.4
2	ルイ＝ジョゼフ＝ラファエル・コラン	庭の隅	1895年	油彩・画布 / 額	1面	143.9×195.4
3	ジャン＝レオン・ジェローム	アラビア人に馬		油彩・画布 / 額	1面	17.5×31.5
4	アルベール＝シャルル・ルブール	河景	1890年	油彩・画布 / 額	1面	41.2×74.5
5	ヴィクトール・ヴィオレ＝ル＝デュク	小河図		油彩・板 / 額	1面	★39.8×22.7
6	ピーテル・フランシス・ピーテルス	月光		油彩・板 / 額	1面	21.7×25.9
7	下村観山	臨幸画卷	1931(昭和6)年	絹本着色 / 卷子	4巻	(麟)45.2×560.5 (鳳)45.2×618.8 (龜)45.2×757.0 (龍)45.2×801.0
8	下村観山	前田綱紀(松雲公)画像	1906(明治39)年	絹本着色 / 軸	1幅	108.8×70.0
9	下村観山	楠公孝勅下山之図	1910(明治43)年	絹本着色 / 軸	1幅	139.4×56.0
10	米原雪海	看月人物像	1912(大正元)年	木彫	1体	16.0×18.0×35.7
11	川邊御橋	末森赴援画卷	1903(明治36)年	絹本着色 / 卷子		49.9×1789.5 ※上中下巻の内、下巻のみを展示
12	牛田雞村	鎌倉の一日 小下西	1917(大正6)年	紙本着色 / 卷子	1巻	4.6×179.9
13	牛田雞村	鎌倉の一日	1917(大正6)年	紙本着色 / 卷子	2巻	(上)20.6×813.8 (下)20.6×693.7
14	吉田登毅	孔雀図屏風	1918(大正7)年	絹本着色 / 屏風	2曲1隻	166.0×162.8
15	エドモン・アマン＝ジャン	婦女弾琴図	1922年	油彩・画布 / 額	1面	99.0×130.9
16	フェルディナン・ウンベール	前田利為肖像画	1922年	油彩・画布 / 額	1面	130.8×82.8
17	マルセル・パッシェ	前田漢子肖像画	1922年	油彩・画布 / 額	1面	129.8×83.0
18	マルセル・パッシェ	前田菊子肖像画	1930年	パステル・紙 / 額	1面	55.8×42.8
19	グザヴィエ・ブリカール	少女海水浴図	1924年以前	油彩・画布 / 額	1面	61.5×50.5
20	フランソワ・ボンボン	シロクマ	1930年	石彫(大理石)	1体	45×11×24.7
21	フランソワ・ボンボン	パン	1930年	鋳造彫刻(ブロンズ)	1体	11.7×27×25.3
22	ジャンヌ・ピファール	ヒョウ	1920年以前	鋳造彫刻(ブロンズ)	1体	42.8×8×18.1
23	ビエール＝オーギュスト・ルノワール	アネモネ		油彩・画布 / 額	1面	20.9×31.8
24	岡見富雄	夏山風景	1930(昭和5)年	油彩・画布 / 額	1面	54.9×73.9
25	岡見富雄	城壁(入江にヨット図)		油彩・画布 / 額	1面	60.5×73.2
26	竹内栖鳳	南支風色	1926(大正15)年	紙本着色 / 軸	1幅	76.5×84.8
27	小杉放菴	銀鵝	1940(昭和15)年以前	紙本着色 / 軸	1幅	59.3×68.9
28	平福百穂	蒹葭之図	1931(昭和6)年	紙本着色 / 軸	1幅	73.2×82.1
29	横山大観	秋景	1926(大正15)年以前	絹本墨画 / 軸	1幅	60.7×87.7
30	富岡鉄斎	仁者梁山	1917(大正6)年	絹本着色 / 軸	1幅	159.2×50.8
31	山元春挙	富士裾野図	1927(昭和2)年	絹本着色 / 軸	1幅	120.3×36.5
32	堂本印象	春遊図	1927(昭和2)年	紙本着色 / 軸	1幅	49.6×59.8
33	勝田蕉琴	金輪白鷹図	1930(昭和5)年	絹本着色 / 軸	1幅	141.6×50.5
34	郷田丹陵	高徳公赴末森城之救援図	1927(昭和2)年以前	絹本着色 / 軸	1幅	127.0×50.5
35	永井幾麻	葛葉物語	1940(昭和15)年	絹本着色 / 卷子	2巻	(上)32.1×1382.4 (下)32.1×997.0
36	西村五雲	敗荷翡翠図	1935(昭和10)年	絹本着色 / 軸	1幅	45.1×50.1

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法／形状	員数	サイズ(cm)
37	西村五雲	春乃海		紙本着色／軸	1幅	43.7×46.7
38	堂本印象	賊籠図		紙本着色／軸	1幅	30.5×34.1
39	西山翠嶂	葡萄図	1936(昭和11)年以前	紙本着色／軸	1幅	36.5×58.0
40	鈴木華邨	鵝図屏風		絹本着色／屏風	2曲1隻	142.0×142.4
41	清水登之	前田利為肖像	1945(昭和20)年以前	油彩・画布／額	1面	45.3×37.4
42	高沢圭一	前田利為行軍圖	1942(昭和17)年	油彩・画布／額	1面	50.0×60.3
43	久保田金徳	駒場本邸図		水彩・紙／額	1面	★41.3×55.7
44	久保田金徳	駒場御本邸面帖	1940(昭和15)年	絹本着色／面帖	1冊(15面)	各29.9×43.0
45		三連リキュール入れ		ガラス・銀	1台(3口)	18.5×39.5×35
46		駒場邸備付家具写真等14 ビューロー写真(A15318)		印刷物	1点	16.0×10.1
47		駒場邸備付家具写真等32 寝室家具3点デザイン画		鉛筆・紙	1点	40.5×56.6
48		駒場邸備付家具写真等46 椅子デザイン画(C13575 Special)		鉛筆・紙	1点	30.0×22.3
49		駒場邸備付家具写真等41 椅子写真(C13575)		印刷物	1点	22.5×8.9
50		駒場邸備付家具写真等32 柱時計デザイン画(9497A)		鉛筆・紙	1点	29.9×22.6
51		駒場邸備付家具写真等15 柱時計写真(C9497)		印刷物	1点	20.8×12.1
52		駒場邸備付家具写真等35 安楽椅子写真(S11663)		印刷物	1点	13.5×14.3
53		駒場邸備付家具写真等26 オットマンソファ写真(S11571)		印刷物	1点	10.6×17.9
54		駒場邸備付家具写真等27 安楽椅子写真(S14819)		印刷物	1点	10.3×17.1
55		蓋・手付カラフェ		ガラス	1口	8.5×12.5×24
56		蓋付カラフェ		ガラス	1口	φ10.0×28.0
57		赤葡萄酒用グラス		ガラス	1口	φ7.3×12.0
58		白葡萄酒用グラス		ガラス	1口	φ7.4×12.0
59～61		ワイングラス(大・中・小)		ガラス	各1口	φ7.5×17.3, φ6.0×13.0 φ3.8×9.2
62		リキュールグラス		ガラス	1口	φ4.5×9.5
63		銀皿(中)		銀	1枚	φ27.3×2.5
64		小物入れ		銀／ベッ甲／革	1口	φ10.0×5.0
65		駒場本邸図面01 敷地現状図		印刷物	1点	54.3×74.1
66		駒場本邸図面42 大広間詳細図		印刷物	1点	55.7×101.3
67		駒場本邸図面52 大階段詳細其の一		印刷物	1点	91.3×54.0
68		駒場本邸図面55 御書斎詳細図		印刷物	1点	52.9×71.9



カタログ



A4チラシ

●新型コロナウイルス感染拡大のため、下記の三つの展覧会は、延期または中止となった

包む 日本伝統パッケージ

当初予定会期：2020年7月11日(土)～8月30日(日) 44日間

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

※令和3(2021)年度に延期

障がいのあるアーティストによる作品展 一日々のよろこび2020

当初予定会期：2020年11月10日(土)～11月29日(日) 18日間

主催：(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館、目黒区

※令和3(2021)年度に延期

めぐろの子どもたち展 令和2年度 目黒区立幼稚園・こども園 小・中学校連合展覧会

当初予定会期：2021年1月16日(土)～1月31日(日) 14日間

主催：目黒区立幼稚園・こども園長会、目黒区立小学校長会、目黒区立中学校長会、目黒区立特別支援学級設置校長会、目黒区教育会、目黒区美術館、目黒区教育委員会

※中止

II 教育普及事業

* pp.65-67掲載画像、R2-③-A、(5)-30、(5)-R2の撮影：岡川純子

(1) ワークショップ活動

【平成30(2018)年度】

① ワークショップ夏 【自然のモチーフで遊ぶ】

「フィンランド陶芸—芸術家たちのユートピア」展と関連する4回のワークショップを多彩に展開。やきものの原料となる土や、森などの自然にまつわるプログラムを開催した。花瓶や壺などフィンランドの地域性を表した作品を展示室で「みる」とこととあわせて、実際に手を動かしながら、その魅力を実感して頂く内容となった。

ア. キヨキヨワークショップ 森のパレード—いろんな生きものになろう!

講師：清瀬ゆり亜(ミュージアム・エデュケーター)

開催日：8月18日(土)・19日(日) 10:30~16:30 ※2日間コース

対象・定員：小学1年生以上中学生まで 25名

参加者：25人

ダイナミックに取り組む子どものためのコースでは、初日は緑色の布を思い切り裂いた。普段できない行為に子どもたちは歓声を上げ、続いて木の幹に見立てた紙管に、裂いた布や古着のTシャツを巻き付けて、会場全体に大きな森をつくり上げた。2日目には、子どもたちは、森に住む生きものをイメージしてパレードを行った後、Tシャツを切り落とし、さらに布やポンポンなどで思い思いに飾りをつけ、生きものの形態を進化させた。参加した子どもたちは、全身を駆使して遊びながら、森の生成から消失までを実感した様子であった。



30-①-A

イ. 粘土と語って遊ぼう—見えない「内側」のかたちを探る

講師：高木香織(造形作家)

開催日：7月28日(土)・8月4日(土) 10:30~16:30 ※2日間コース

対象・定員：小学4年生以上中学生まで 10名、高校生以上 10名

参加者：11人

参加者は10代から50代までの幅広い年齢層となった。まずは思う存分粘土に触れ、その後、さまざまな物を粘土に包み込みながら形を作り、そしてそれをワイヤで切り出して、絶えず変形させた。一週間おいて、今度は乾燥した粘土を割り、中身を掘り出したり、他の参加者と作品の一部を交換したりした。明確なゴールのない抽象的な内容ではあったものの、刻々と変化する粘土という素材に触れながら、自身の創作意欲と向き合う内容となった。



30-①-イ

ウ. ファミリーワークショップ 土のえのぐであそぼう! —みんなの森をかこう

講師：目黒区美術館TVT(トイコレクション ボランティア チーム)

開催日：8月11日(土・祝)・12日(日) 13:00~16:00 ※2日間コース

対象・定員：4歳以上の2名1組の家族 12組

参加者：11組(24人)

やきものの原料にもなる、土に着目したワークショップ。当館ボランティアの協力を得て、目黒区内を中心にさまざまな場所から集めた土をふるった後、のりと水を混ぜて土のえのぐを作った。赤味や黒味など、微妙に色味の異なる土の色の豊かさが参加者を驚かせた。段ボールで練習した後、幅3m高さ6mの巨大な不織布に、フィンランドの自然をイメージしながら、湖、木、木の葉や動物などたくさんの命にあふれる森を描きだした。



30-①-ウ

エ. 遊びの広場 フィンランドの妖精・トントゥとその仲間たちをつくろう!

講師：小川千尋(アーティスト)

開催日：7月19日(木)、29日(日)、8月2日(木)、9日(木)、26日(日)、9月1日(土)

各日13:00~16:00

対象・定員：観覧会来場者

参加人数：延べ111人

観覧会の来場者ならどなたでも参加できる無料のプログラム。フィンランドに古くから伝わる妖精・トントゥは、森や家の中に住みついて、人間を助けてくれるという。本プログラムでは、まずは観覧会「フィンランド陶芸—芸術家たちのユートピア」を鑑賞し、イ



30-①-エ

メージをふくらませ、紙コップや折り紙、布など身近な材料を用いて、トントウとその仲間たちをつくった。普段工作をしない大人も一人で参加していた他、子どもとともに参加するうちに夢中になって手を動かす大人も見られた。

② ワークショップ春「美術を見る・知るⅣ」

目黒区美術館では、美術表現をめぐる制作と鑑賞を掘り下げて経験できるワークショップを実施してきた。こどものコースでは身体を使った体験を主とした内容を、大人のコースでは専門性の高い講座を開催し、様々な角度から「美術を見る・知る」ことに踏み込んだ。

ア. こどものためのワークショップ ニューカオカオ星人—美術館で遊ぼう

講師：メグロアソビ冒険隊(中村良子・山本桃子・澤村幸子ほか)

開催日：平成31(2019)年3月16日(土)、3月17日(日) 各日10:30~16:30

対象・定員：新小学1年生から中学生まで 25名

参加者：3月16日 17人/3月17日 17人

参加した子どもたちは、顔をドーランで白塗りして、いつもとは違う自分に変身。変身後に精神的に解放された状態で展示室へ行き、コレクション展を鑑賞した。抽象的な絵画作品に様々な形を発見し、また彫刻作品の形の真似をして楽しんだ後、作品から受けた刺激を身体で表現する発表を行った。最後は顔のドーランを黒い紙に写し取り、白塗りになった証拠を残した。参加者の中にはリピーターが多くみられた。当館のワークショップに子どもの頃から参加していたメグロアソビ冒険隊がナビゲートするプログラムが、回数を重ねる毎に定着していることを示す事例と言えるだろう。



30-②-ア

イ. おとなのためのワークショップ ラインを探せ! —鉛筆や墨でのびのび描いて遊ぶ

講師：山本品(画家)

開催日：2019年3月2日(土)・3日(日) 10:30~16:30 ※2日間コース

対象・定員：高校生以上 20名

参加者：13人

鉛筆、墨、木炭やコンテなど様々な描画材を用いて、のびのびとした線の表現を楽しむプログラム。参加者同士がポーズを取ってクロッキーをし、また植物などをスケッチしながら、線の表情を探し出した。それらを組み合わせながら、7種類用意した和紙と洋紙から1種類を選んで自由に描き、最後は全員作品をつなげ、さらに加筆して大きな作品を作り上げた。大きく描くことで描線が変化してみえるさまに、参加者は新鮮な驚きを感じていたようだ。



30-②-イ

ウ. 古典技法への旅 中世の華・羊皮紙に描くミニアチュール3

講師：石原靖夫(美術家)

開催日：2019年3月10日(日)・21日(木・祝)・24日(日) 10:30~17:30 ※3日間コース

対象・定員：高校生以上20名

参加者：19人

羊皮紙に描くミニアチュール(細密画)の3回目となる本プログラムでは、顔料と卵の黄身を練った絵具で細密に描く古典技法・テンペラ画を学んだ。初日は、模写をする中世の写本から図柄を選んで羊皮紙に転写し、アシーゾという盛り上げ材で金箔を貼る下地をつくった。2日目は、下地に湿気を与えながら金箔を重ねて貼り、3日目は鮮やかな顔料を卵黄で溶いて彩色を施した。中世の古典的な技法を初めて体験する参加者も多く、難しくもやりがいのある内容に、真剣に取り組む様子がみられた。



30-②-ウ

【平成31/令和元(2019)年度】

① ワークショップ夏 【建築教室—光と遊ぶ】

「太田喜二郎と藤井厚二—日本の光を追い求めた画家と建築家」にちなみ、建築や光に関連する内容で開催した。子どものコースでは影絵や薄い紙を使って光で遊び、大人と子どものプログラムでは色鉛筆を使って混色の仕組みを探り、大人のプログラムでは、都内に現存する画家のアトリエを訪ねた。

ア. ゆれる ゆらぐ 光と遊ぶ

講師：メグロアソビ冒険隊(中村良子・山本桃子・澤村幸子)

開催日：7月20日(土)・21日(日) 10:30~16:30 ※2日間コース

対象・定員：小学1年生以上中学生まで 25名

参加者：25人

ダイナミックに取り組む子どものためのコースの1日目では、書道用の半紙を、ボンド水でビニール傘に貼り、オリジナルの和傘を制

作。展示会もじっくり観覧し、光に対しての興味を喚起する。2日目には、乾いた半紙を傘から剥がし、張り子状になった紙をつなげて天井から吊るし、装飾を加えながら、大きな生きものを作り上げた。最後に部屋を暗くして、この張り子に赤・青・黄・緑の光を当て幻想的な空間の中で遊んだ。参加した子どもたちは、全身を使って光で遊ぶ楽しさを実感した。

イ. 色は光—5色の色鉛筆で光を描く

講師：徳永雅之(画家)

開催日：7月27日(土)・28日(日) 10:30～16:30 ※2日間コース

対象・定員：小学4年生以上中学生まで10名、高校生以上10名

参加者：18人

10代から60代まで、幅広い年齢層が参加した。プログラムでは、発色の良い、赤・黄・水色・紫・ピンクの5色の色鉛筆だけを用い、これらを塗り重ねることで色幅を広げることを意識してもらった。1日目は、2色3色と重ねて混色を試すカラーチャートを作った後、光に対して抱くイメージを絵にした。制作の途中、展示室で太田喜二郎作品を、講師と参加者がともに観賞する時間を設け、太田の描く影の色が暗くないことに注目した。2日目は、参加者が持ち寄った白いモチーフ、ストール、傘、ぬいぐるみ、花など、様々なものを台上に組み合わせ、好きな場所から描いた。1枚をじっくり描く参加者もいれば、次々と複数枚を描く参加者もあり、最初は混色に戸惑う参加者もいたが、最後はヴァリエーションに富んだ作品が出来上がった。



31-①-ア



31-①-イ

ウ. 画家と建築・アトリエ探訪—新宿編

ナビゲーター：降旗千賀子(フリーランスキュレーター)

解説：守谷賢一(新宿区立新宿歴史博物館 副館長)

開催日：8月11日(土・祝)・12日(日) 13:00～16:00 ※2日間コース

訪問場所：中村舜アトリエ記念館、佐伯祐三アトリエ記念館、林芙美子記念館

対象・定員：高校生以上20名

参加者：21人

開催中の「太田喜二郎と藤井厚二」展では太田喜二郎のアトリエを取り上げた。これに関連し、都内・新宿区落合に現存する、20世紀初頭に活躍した画家のアトリエを訪ねた。案内役の降旗氏とともに、洋画家・中村舜と佐伯祐三、そして文筆家の林芙美子の夫で画家の手塚緑敏、全3箇所のアトリエをまわった。画家が作品を生み出した場所で、参加者は思いを巡らせていたようだった。



31-①-ウ

エ. トイでつくる光と影の街

講師：目黒区美術館TVT(トイコレクション ボランティア チーム)

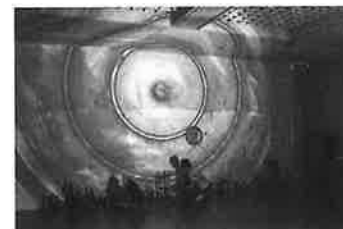
開催日：8月10日(土)・11日(日) 13:00～16:00 ※2日間コース

対象・定員：4歳以上の2名1組の家族12組

参加人数：15組(30人)

毎夏恒例、トイコレクション ボランティア チーム(TVT)が手掛ける、親子向けのプログラム。申込から数日で定員に達し、本プログラムの人気の高さがうかがわれた。

今回は光と影をテーマとし、1日目は、大きな障子紙をスクリーン代わりに吊るし、影絵遊びを行った。その後、水を入れた透明なボウルにカラフルなインクを垂らし、インク水のスライドを作るなど、光を用いた様々な方法で遊んだ。2日目は、当館が所蔵するトイ(おもに木製の積木)で住んでみたい家を家族毎に作り、さらにつなげて大きな街に広げた。その後、部屋を暗くし、光源を搭載した電車の模型をトイの街に走らせ、浮かび上がる家の形を見る。参加した親子は、トイと光と影の効果を、夢の中の景色を見るかのように楽しんでいた。



31-①-エ

② ワークショップ春 【からだのワークショップ：からだを動かす・見つめる】

開催中の「目黒区美術館コレクション展 Beyond the Borders」展の会期中、「からだ」をテーマに美術との関係をさぐる下記のプログラムを予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、中止とした。

ア. 動くからだハンコと美術館のひみつ

※新型コロナウイルス感染拡大により中止

講師：メグロアソビ冒険隊(中村良子・山本桃子・澤村幸子ほか)

当初開催予定日：令和2(2020)年2月29日(土)・3月1日(日) 10:30～16:30 ※2日間コース

対象・定員：新小学1年生から6年生まで 25名

開催中の展覧会「越境者たち」に出品されている星野真吾の人拓の作品に注目し、絵具を自分のからだに塗って、からだハンコに挑戦。2日間、からだを目一杯使って遊ぶ、ダイナミックなワークショップを予定していた。

イ. おとなのためのワークショップ 踊りってなに？ からだを見つめなおす

※新型コロナウイルス感染拡大により中止

講師：工藤丈輝（舞踏家）

当初開催予定日：〔鑑賞編〕令和2（2020）年3月20日（金・祝）14:00～16:00

〔実践編〕3月21日（土）10:30～16:30 ※2日間コース

対象・定員：中学生以上 20名

電子機器や乗り物などの道具に依存し、自身のからだを動かしたり向きあったりする機会のほとんどない現代の我々。1日目は、開催中の「越境者たち」展の展覧会場の作品の前で、舞踏家の工藤丈輝氏の舞踏を鑑賞。2日目は基本的な体操からはじまり、からだを使って行う表現などを体験するワークショップを予定していた。

【令和2（2020）年度】

① ワークショップ夏

※新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

② ワークショップ春 【離れてあそぶ初めてのうちんち！ ワークショップ】

新型コロナウイルス感染拡大により、濃厚接触を伴う対面のワークショップが開催困難であることから、“おうち”に居ながら参加できるオンライン方式のワークショップを企画。初めてのオンラインによる実施となるため、秋に実施した初回は、ワークショップ春の準備編とした。「ソーシャル・ディスタンス」を“距離”や“長さ”といった観点に替え、身の回りの物を使って、“距離”や“長さ”をポジティブに捉え直すことを目指す内容とした。

ア. 離れてあそぶ初めてのうちんち！ ワークショップ〈遠のくあそび・近づくあそび vol.0〉

Aコース：いきなり！レシート

Bコース：ぱり、しわ、くん、びり！新聞紙

Cコース：もりもり！トイレットペーパー

講師：& 4 + doメグロアソビ冒険隊（降旗千賀子・中村良子・山本桃子・澤村幸子）

開催日：11月23日（月・祝）

A=10:30～11:30/B=13:45～14:45/C=15:45～16:45

会場：オンライン（Zoomを使用） 配信場所は目黒区美術館 1階 ワークショップ

対象・定員：各コース 小学1年生以上・2人以上1組の家族、7組

参加者数：A=7組、B=5組、C= 7組



R2-②-ア

“おうち”に居ながら参加できるオンライン方式のワークショップで取り上げたのは、いずれも身近な素材であるレシート、新聞紙、トイレットペーパー。幅も長さも一番短い感熱紙レシートは、熱などで白黒に変わる現象を利用しグラフィカルな創作を、平たくて大きい新聞紙は柔らかくなるまで揉んで帽子やリボンなどファッショナブルな作品制作に、トイレットペーパーは体や家具などに巻きつけるなどして長さを体感した。

イ. 離れてあそぶ初めてのうちんち！ ワークショップ〈遠のくあそび・近づくあそび vol.1〉

Aコース：ぐるぐる！トイレットペーパー

Bコース：おどろき！レシート

Cコース：へんしん！しんぶんし！

講師：& 4 + doメグロアソビ冒険隊（降旗千賀子・中村良子・山本桃子・澤村幸子）

開催日：令和3（2021）年3月21日（日）

A=10:30～11:30/B=13:00～14:00/C=15:00～16:00

会場：オンライン（Zoomを使用） 配信場所は目黒区美術館 1階 ワークショップ

対象・定員：各コース：小学1年生以上 2人以上1組の家族、8組

参加者数：A=10組、B=9組、C=11組



R2-②-イ

準備編として実施した初回の内容をブラッシュアップさせ、対象を家族だけでなく大人のみも可の講座として実施。今回も身近な素材のトイレットペーパー、レシート、新聞紙でコースを設定した。Aコースで使った素材、トイレットペーパーは、長さとしなやかさを、部屋一面に張りめぐらせたり体に巻き付けたりして体全体で遊び、Bコースの感熱紙のレシートでは、各組で目をひくグラフィック作品が完成。Cコースの新聞紙は、1枚1枚を床に広げ紙の大きさを体感し、柔らかくなるまで揉んでリボンやマント、靴などを作って変身して遊んだ。

(2) アウトリーチ | トイの日

① アウトリーチ

目黒区美術館トイコレクション ボランティア チーム(TVT)が当館の教材であるトイコレクションを使った活動を実施した。



(2)-①-30-イ

【平成30(2018) 年度】

ア. つみ木でカラフルランドをつくろう！

進行: TVT

開催日: 5月26日(土) 13:30~15:00

場所: 目黒区民センター児童館

参加者: 53人

イ. トイでつくる美しい湖と森

進行: TVT

開催日: 11月24日(土) 13:30~15:00

場所: 目黒区民センター児童館

参加者: 56人

【平成31/令和元(2019) 年度】

ア. 雲の上に虹をかけよう

進行: TVT

協力: 目黒区民センター児童館

開催日: 5月25日(土) 13:30~15:00

場所: 目黒区民センター児童館

参加者: 71人

イ. 窓からのぞく積み木の世界

進行: TVT

開催日: 11月16日(土) 13:30~15:00

場所: 目黒区民センター児童館

参加者: 49人

【令和2(2020) 年度】

新型コロナウイルス感染拡大のため、濃厚接触を伴う対面での活動を全て中止とした。替わって、これまでのアウトリーチの活動を紹介する動画をTVTが制作し、YouTubeにアップし、当館ホームページからも視聴できるようにした。

ア. 動画「トイコレクション ボランティア チーム アウトリーチ編」

制作: TVT

配信日: 令和3(2021)年1月7日(木)~

配信媒体: 目黒区美術館YouTubeチャンネル及びホームページ



(2)-①-R2-ア

② トイの日

美しく造形的な積み木での感性教育、造形遊びを養うために実施。TVTが、当館の教材であるトイコレクションでの遊びをサポートした。

【平成30(2018) 年度】

開催日: 平成31年(2019)年2月17日(日)、23日(土)

各日13:00~16:00

参加者: 延べ118人

【平成31/令和元(2019) 年度】

開催日: 令和2(2020)年2月16日(日) 13:00~16:00

参加者: 56人

※2月22日(土)実施予定の回は、新型コロナウイルス感染拡大により中止

【令和2(2020) 年度】

新型コロナウイルス感染拡大のため、濃厚接触を伴う対面での活動を全て中止とした。替わって、これまでのトイの日の活動を紹介する動画をTVTが制作し、YouTubeにアップし、当館ホームページからも視聴できるようにした。

ア. 動画「トイコレクション ボランティア チーム トイの日編」

制作: TVT

配信日: 令和3(2021)年2月18日(木)~

配信媒体: 目黒区美術館YouTubeチャンネル及びホームページ

(3) ギャラリーツアー(小学校の授業と連携)

【平成30(2018) 年度】

藤田嗣治 本のしごと展

・五本木小学校	5月31日	4年生	73人
---------	-------	-----	-----

【平成31/令和元(2019) 年度】

世紀末ウィーンのグラフィック展

・五本木小学校	5月31日	4年生	76人
---------	-------	-----	-----

【令和2(2020) 年度】

目黒区美術館コレクション展LIFE展

・向原小学校	11月12日	4年生	45人
--------	--------	-----	-----

(4) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー

【共催：目黒区】

建築家・村野藤吾が設計した目黒区総合庁舎(旧千代田生命本社)の見どころを、高い専門性を持つ当館建築ボランティアが解説。[通常コース][和室集中コース]は、建築ボランティアの個性を活かした、多様な切り口で人気が高い。新設された[楽しく見るコース][英語コース]も好評で、各コースとも積極的なやりとりがみられた。令和2(2020)年度も計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、中止とした。



(4)ー30

【平成30(2018)年度】

案内役：目黒区美術館 建築ボランティア

開催日：4月20日(金)、4月28日(土)、5月20日(日)、6月1日(金)

時間：14:00～16:00

参加人数：延べ344人

【平成31令和元(2019)年度】

案内役：目黒区美術館 建築ボランティア

開催日：4月19日(金)、5月11日(土)、5月19日(日)、5月31日(金)

時間：14:00～16:00

参加人数：延べ314人

【令和2(2020)年度】

案内役：目黒区美術館 建築ボランティア

当初開催予定日：4月29日(水・祝)、5月9日(土)、5月17日(日)、
5月29日(金)

時間：14:00～16:00

※新型コロナウイルス感染拡大により中止

(5) デザインキャンプ

平成24(2012)年から、アメリカの家具会社であるハーマンミラー・ジャパン株式会社と目黒区美術館の共同開催として、デザインの本質を掘り下げ、一般教育として行う目的で始めた、デザインに関するワークショップ。好評を得て、近年人気のプログラムとして定着してきた。平成31令和元(2019)年度は開催に向けて準備してきたが、新型コロナウイルスの感染が拡大したため中止とし、当初の内容をオンライン向けに組みなおし、令和2(2020)年度に実施した。

【平成30(2018)年度】

Design Camp #8 ハーマンミラーで、『椅子』と遊ぶ&イームズ16mm映画の上映

講師：①石田潤(建築家/リンク建築設計工房)

②降旗千賀子(当館学芸員)

開催日：①3月30日(土) 10:30～16:30

②3月31日(日) 10:30～17:30 ※2日間コース

開催場所：①ハーマンミラーストア&ショールーム

②目黒区美術館ワークショップ室

対象・定員：①高校生以上 20名

②高校生以上 50名

参加者：①22人、②62人

初日はハーマンミラーストア&ショールームで、椅子のスケッチやペーパークラフトの組み立て等とおし、様々な角度から椅子と向き合った。2日目は、当館が所蔵する、イームズ関連の貴重な16mmフィルム34本を一挙に上映した。



(5)ー30

【平成31令和元(2019)年度】

Design Camp #9 イームズの『Powers of Ten』×日本の『庭園』

※新型コロナウイルス感染拡大により中止

講師：重森千青(作庭家/重森庭園設計研究室主宰)

当初開催予定日：①3月7日(土) 10:30～17:00

②3月8日(日) 10:30～17:30

※2日間コース

当初開催予定場所：①ハーマンミラーストア&ショールーム

②国際文化会館

対象・定員：高校生以上 20名

作庭家の重森千青氏を講師に迎え、チャールズ&レイ・イームズのフィルムと日本の「庭」を結びつけることを試みる内容であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止とした。

【令和2(2020)年度】

Design Camp #10 日本の『庭園』×イームズの『Powers of Ten』
—時間と空間の宇宙—

講師：重森千青(作庭家/重森庭園設計研究室主宰)

開催日：①11月29日(日) 10:30～12:30

②令和3(2021)年1月30日(土) 13:00～16:00

※2日間コース

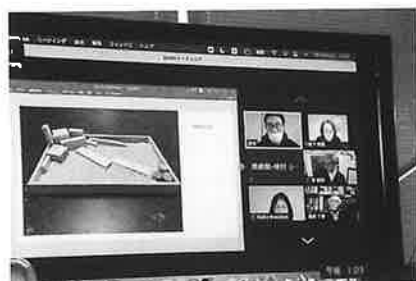
開催場所：オンライン(①はWebex、②はZoomを使用)

対象・定員：①高校生以上 50名

②①の受講者 15名(抽選)

参加者：①57人、②12人

前年度に開催予定であった第9回目の内容をオンライン向けに新たに内容を組み立て直し、第10回目として開催。作庭家の重森千青氏を招き、ハーマンミラーのデザイナー、イームズ夫妻のデザインと日本の「庭園」を結びつける試みとして、夫妻の制作した映画『Powers of Ten』と、石や砂、水など、自然の素材で様々な風景を凝縮させた日本の庭園が表現する宇宙観について、①講義編と②実践編の二段階に分けて考察し、体感した。



(5)ーR2

(6) 美術講座

◎館長トーク

インドに留学し、仏教遺跡の現地調査を多数行ってきた秋山館長が、自ら撮影した数々の貴重な画像とともに、仏教関連遺跡や美術について、解りやすく語るプログラム。平成31/令和元(2019)年度開催予定だった第4回目は、新型コロナウイルスの感染拡大により開催を見合わせ延期とし、令和2(2022)年度に、展示替期間中で展示室を使用しない時期に、ソーシャルディスタンスを確保できる展示室Aにて開催。第5回目も同様の方法で実施した。

【平成30(2018)年度】

ア. 館長トークⅢ ブッダの生涯と美術

講師：秋山光文(当館館長)

1. 誕生から出家まで

開催日：8月22日(水) 18:30～19:45/参加者：63人

2. 正覚から精舎の誕生まで

開催日：8月29日(水) 18:30～19:45/参加者：66人

3. ブッダ最後の旅—涅槃にいたる道

開催日：9月2日(日) 14:00～16:00/参加者：66人

開催場所：目黒区美術館 1階 ワークショップ

対象・定員：高校生以上 各回50名

参加者：延べ 195人

【平成31/令和元(2019)年度】

ア. 館長トークⅣ インドの仏教美術

1. 大猿本生/2. ルル鹿本生/3. 六牙象本生

講師：秋山光文(当館館長)

当初開催予定日：

1=令和2(2020)年2月23日(日・祝) 14:00～15:30

2=2月24日(月・休) 14:00～15:15

3=2月24日(月・休) 15:30～16:45

当初開催予定場所：目黒区美術館 1階 ワークショップ

対象・定員：高校生以上 各回50名

※新型コロナウイルス感染拡大により次年度に延期

【令和2(2020)年度】

ア. 館長トークⅣ インドの仏教美術

1. 大猿本生/2. ルル鹿本生/3. 六牙象本生

講師：秋山光文(当館館長)

開催日：9月12日(土) 13:30～17:00

開催場所：目黒区美術館 2階 展示室A

対象・定員：高校生以上 50名

参加者：31人

イ. 館長トークⅤ 60分でインド旅行

1. 北インド編/2. 南インド編

講師：秋山光文(当館館長)

開催日：令和3(2021)年1月16日(土) 14:00～16:15

開催場所：目黒区美術館 2階 展示室A

対象・定員：高校生以上 50名

参加者：37人

(7) めぐるオータムアート

目黒区、めぐるパーシモンホール、目黒区美術館の連携事業として、音楽と美術、音楽と建築の融合をテーマにワークショップ等を実施した。

平成31/令和元(2019)年度の音楽と美術のワークショップシリーズ第8回「コマ撮りアニメで創る、私たちの愉快ないたずら」は、当初開催予定日10月13日及び14日が台風19号上陸により延期となり、延期日3月28日及び29日は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となった。令和2(2020)年度は、いずれの事業も新型コロナウイルス感染拡大のため実施しなかった。

【平成30(2018)年度】

ア. 音楽と美術のワークショップシリーズ第7回「音の玉手箱—竹と木で作るサウンドオブジェと民族楽器」

講師：関根秀樹(技術文化史研究家/和光大学、桑沢デザイン研究所、多摩美術大学 講師)

開催日：10月27日(土)・28日(日) 10:30～16:30

※2日間コース

開催場所：目黒区美術館 1階 ワークショップ

対象・定員：小学3年生以上 20名

参加者：14人



(7)ー30ーア

イ. 目黒建築めぐり塾「親子東大探検隊」

講師：折茂克哉(東京大学教養学部駒場博物館助教)

開催日：10月20日(土) 10:00～12:00

開催場所：東京大学駒場 I キャンパス、東京大学駒場博物館

対象・定員：小学5、6年生・中学生とその保護者 10組 20名程度

参加者：15人(7組+1人)

ウ. 目黒建築めぐり塾「『駒場』を『読む』—東京大学駒場キャンパスと旧前田家本邸和館」

講師：永井達也(建築家)、岸敏彦(建築家)、折茂克哉(東京大学教養学部駒場博物館助教)

開催日：10月20日(土) 13:30～16:30

開催場所：東京大学駒場 I キャンパス、東京大学駒場博物館、旧前田家本邸和館

対象・定員：高校生以上 20名
参加者：20人

【平成31/令和元(2019) 年度】

ア. 目黒建築めぐり塾「親子東大探検隊」

講師：折茂克哉(東京大学教養学部駒場博物館助教)
開催日：10月19日(土) 10:00~12:00
開催場所：東京大学駒場Ⅰキャンパス、東京大学駒場博物館
対象・定員：小学5、6年生・中学生とその保護者 10組 20名程度
参加者：13人(6組+1人)



(7)-31-ア

イ. 目黒建築めぐり塾「『駒場』を『読む』—旧前田家本邸洋館・和館+日本民藝館」

講師：永井達也(建築家)、岸敏彦(建築家)、杉山亨司(日本民藝館学芸部長)
開催日：10月24日(木) 10:30~16:00
開催場所：旧前田家本邸洋館・和館、日本民藝館
対象・定員：高校生以上 20名
参加者：16人



(7)-31-イ

ウ. 音楽と美術のワークショップ シリーズ第8回「コマ撮りアニメで創る、私たちの愉快ないたずら」

※台風19号上陸及び新型コロナウイルス感染拡大により中止

講師：井上真洋(デザイナー、アニメーター、株式会社コピト)、Yuqi (UQIYO)、秋岡 陽(音楽史、フェリス学院大学学長)

当初開催予定日：10月13日(日)・14日(月・祝)
10:30~17:30

当初延期予定日：令和2(2021)年3月28日(土)・29日(日)

開催予定場所：目黒区美術館 1階 ワークショップ

対象・定員：小学5年生以上 20名

【令和2(2020) 年度】

ア. 目黒建築めぐり塾

※新型コロナウイルス感染拡大により実施せず

イ. 音楽と美術のワークショップ

※新型コロナウイルス感染拡大により実施せず

(8) その他

【平成30(2018) 年度・平成31/令和元(2019) 年度】

目黒区総合庁舎 西ロビー展示

開催期間：平成30(2018)年7月30日(月)~8月13日(金)

開催期間：平成31/令和元(2019)年7月1日(月)~10日(水)

例年に引き続き、目黒区美術館の立地や収蔵品などの概要、また展覧会事業や教育普及などの活動について、区民を対象とし、パネルによる広報活動を行った。

※令和2(2020)年度は、目黒本庁舎 西ロビーの新型コロナウイルス感染拡大等による使用制限により、実施しなかった。

Ⅲ 新収蔵作品 【平成30(2018)年度】

凡例

- ・平成27(2015)年度～令和2(2020)年度までに目黒区美術館収蔵委員会の承認を得て取得した作品を掲載(寄託作品も含む)。上記の期間、実際に収蔵の行われたのは平成30(2018)年度だけである。
- ・各作品のデータは、原則として下記の順に掲載した。
五十音順に分類番号 | 作家名(和文) | 生没年(西暦) | 作家名(英文) | 材質・技法 | サイズ(縦×横/cm) | エディション | 制作年 | 画面等への書込 | 受入方法 | 備品番号(目黒区が受入時に付与した番号)
- ・署名など画面等への書込は、書込位置を示して記した。
- ・作品名が不明なもの、本人が付けていないと思われるものは[]内に仮題を付した。
- ・資料類は一式を1件1点としたが、一式の後ろの[]内に、内訳の点数を記した。

【平成30(2018)年度】

購入・寄贈:79件/79点

寄託:2件/2点



あ021-016

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

静物
Still Life

油彩・キャンバス/73.0×106.5/1950年代
寄贈 3000046222



あ021-017

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

静物
Still Life

油彩・キャンバス/53.0×65.0/1950年代
寄贈 3000046223



あ021-018

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

目黒風景
Landscape of Meguro

油彩・キャンバス/73.0×106.5/1950年頃
寄贈 3000046225



あ021-019

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

赤い家
Red House

着彩・紙/20.5×35.0/1948年
寄贈 3000046224



あ021-020

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

けんかした
We Had a Fight

着彩・紙/36.3×37.0/1948年
寄贈 3000046227



あ021-021

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

ボートのある風景
Landscape with a Boat

着彩・紙/30.0×30.0/1949年
「yoshio 29」(画面左下)
寄贈 3000046229



あ021-022

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

飛行カバン(アンデルセン童話)
The Flying Suitcase (Andersen's Fairy Tale)

墨・紙/47.8×39.0/1954年
寄贈 3000046228



あ021-023

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

Atomic Age
Atomic Age

着彩・紙/20.0×30.0/1950年代
「Atomic Age」(画面左下)
寄贈 3000046226



あ021-024

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

秋岡芳夫資料-1
アルバム(大)一式 [31点]
AKIOKA Yoshio's Materials-1;
A set of His Photo Albums

写真/1953-64年頃
寄贈 3000046230



あ021-025

秋岡芳夫 1920-1997
AKIOKA, Yoshio

秋岡芳夫資料-2
工業デザイン製品一式 [17点]
AKIOKA Yoshio's Materials-2;
A set of his Industrial Design Products

プラスチック・金属/1953-64年頃
寄贈 3000046231



い010-005

伊原宇三郎 1894-1976
IHARA, Usaburo

「伊原宇三郎滞欧期資料群」
一式 [2,126点]
IHARA Usaburo's Materials;
From the Period Spent in Europe

紙類/1925-29年
寄贈 3000046233



し011-002

篠田教夫 1947-
SHINODA, Norio

海辺の断崖
Cliff on the Shore

鉛筆、水彩・ケント紙/40.0×68.0/2000-02年
「N. Shinoda」(画面右下)
寄贈 3000046221



す009-001

鈴木省三 1946-
SUZUKI, Shozo

森 II
Forest II

油彩、オイルスティック・ゴムボード/
120.0×70.0/1983年
寄贈 3000046220



す009-002

鈴木省三 1946-
SUZUKI, Shozo

静かな呼吸 I
Quiet Breathing I

油彩、オイルスティック、リキッドゴム・キャンバス、パネル/180.0×130.0/1994-95年
寄託



す009-003

鈴木省三 1946-
SUZUKI, Shozo

地面からの空-IV
Sky from the Ground IV

油彩、オイルスティック、リキッドゴム・キャンバス、パネル/180.0×130.0/1997年
寄託



た003-009

武内鶴之助 1881-1948
TAKEUCHI, Tsurunosuke

川治温泉近く
Near the Kawaji Onsen

パステル・紙／40.0×53.0／不詳
寄贈 3000046174



た003-010

武内鶴之助 1881-1948
TAKEUCHI, Tsurunosuke

雷鳴
Thunder

パステル・紙／38.0×45.5／不詳
寄贈 3000046175



た003-011

武内鶴之助 1881-1948
TAKEUCHI, Tsurunosuke

冬の小川
Winter Stream

パステル・紙／45.3×33.3／1918年
「T. Takeuchi」(画面左下)
寄贈 3000046176



た003-012

武内鶴之助 1881-1948
TAKEUCHI, Tsurunosuke

川奈ゴルフ場
Kawana Golf Course

パステル・紙／40.0×53.0／1931年
寄贈 3000046234



た003-013

武内鶴之助 1881-1948
TAKEUCHI, Tsurunosuke

馬の背
Umanose

油彩・キャンバス／60.8×91.0／不詳
「T. Takeuchi」(画面右下)
寄贈 3000046178



た003-014

武内鶴之助 1881-1948
TAKEUCHI, Tsurunosuke

桑名川の雪(冬の山々)
Snow over the Kuwana River
(Winter Mountains)

パステル・紙／22.0×27.0／不詳
「T. Takeuchi」(画面右下)
寄贈 3000046179



た003-015

武内鶴之助 1881-1948
TAKEUCHI, Tsurunosuke

佐渡小木の港
Port of Ogi in Sado

パステル・紙／18.0×25.0／不詳
寄贈 3000046180



た003-016

武内鶴之助 1881-1948
TAKEUCHI, Tsurunosuke

ばら
Roses

パステル・紙／22.0×31.0／不詳
「T. Takeuchi」(画面右下)
寄贈 3000046181



た003-017

武内鶴之助 1881-1948
TAKEUCHI, Tsurunosuke

森の奥(赤城山)
Deep in the Forest (Mt. Akagi)

パステル・紙／13.0×18.0／不詳
「T. Takeuchi」(画面右下)
寄贈 3000046182



た003-018

武内鶴之助 1881-1948
TAKEUCHI, Tsurunosuke

秋の風景
Autumn Landscape

パステル・紙/22.0×27.0/不詳
「T. Takeuchi」(画面右下)
寄贈 3000046183



た003-019

武内鶴之助 1881-1948
TAKEUCHI, Tsurunosuke

蒸気船のある風景
Landscape with a Steamboat

パステル・紙/18.0×25.0/不詳
「T. Takeuchi」(画面左下)
寄贈 3000046184



た003-020

武内鶴之助 1881-1948
TAKEUCHI, Tsurunosuke

平和なる山里
Peaceful Mountain Village

パステル・紙/18.0×25.0/1932年
「T. Takeuchi」(画面右下)
寄贈 3000046185



た003-021

武内鶴之助 1881-1948
TAKEUCHI, Tsurunosuke

大和吉野川
The Yoshino River in Yamato

パステル・紙/47.8×60.2/不詳
「T. Takeuchi」(画面右下)
寄贈 3000046186



た003-022

武内鶴之助 1881-1948
TAKEUCHI, Tsurunosuke

城門から(支那)
From the Castle Gate (China)

パステル・紙/24.0×33.0/不詳
「T. Takeuchi」(画面右下)
寄贈 3000046187



た003-023

武内鶴之助 1881-1948
TAKEUCHI, Tsurunosuke

冬山落日
Sunset in the Winter Mountain

油彩・キャンバス/25.0×35.0/不詳
「T. Takeuchi」(画面右下)
寄贈 3000046188



た003-024

武内鶴之助 1881-1948
TAKEUCHI, Tsurunosuke

ばら
Roses

油彩・板/27.0×22.0/不詳
「T. Takeuchi」(画面右下)
寄贈 3000046189



た003-025

武内鶴之助 1881-1948
TAKEUCHI, Tsurunosuke

イギリス風景(ガラス絵)
Landscape of England (Reverse Glass
Painting)

油彩・ガラス/11.8×16.3/不詳
寄贈 3000046190

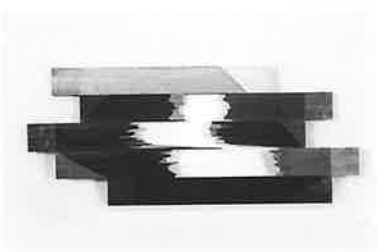


つ007-026

土屋幸夫 1911-1996
TSUCHIYA, Yukio

[無題]
[Untitled]

油彩・キャンバス/130.5×97.5/1955年
「Y. Touchiya 1955」(画面右下)
寄贈 3000046217



つ007-027

土屋幸夫 1911-1996
TSUCHIYA, Yukio

〔無題〕
〔Untitled〕

ステン、アクリル・木／86.0×194.5×4.5
／1980年代
寄贈 3000046218



つ007-028

土屋幸夫 1911-1996
TSUCHIYA, Yukio

断続
Intermittent

ステン、アクリル・木／270.0×67.0×3.0
／1980年代
寄贈 3000046219



て004-001

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

〔巴里 ニウフの橋〕
〔Paris; Le Pont Neuf〕

コンテ・紙、黒バックに貼り付け／10.1×
13.8(紙寸)／1910-20年
「T. T.」(画面右下)
寄贈 3000046149



て004-002

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

〔ポンペイとベスビオ(ベスピアス)ピナ
ス宮殿の近く〕
〔Ponpei and Vesvio (Vesuvius) near the
House of Venus〕

コンテ・紙／14.1×20.2(紙寸)／1908-16年
「Takeo Terasaki」(画面左下)
寄贈 3000046150



て004-003

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

〔赤い家 イタリア〕
〔Red House; Italy〕

テンペラ・紙／31.4×48.2(紙寸)／1908-16年
印(画面右下)
寄贈 3000046151



て004-004

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

〔イタリアの夏 橋のかかる小道の村〕
〔Summer in Italy; Village with a Bridge
over a Little Lane〕

パステル、水彩・紙／47.4×31.0(紙寸)／
1908-16年
「Takeo Terasaki」(画面右下)
寄贈 3000046152



て004-005

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

ベニス 冬の暮れ
Venice: Nightfall in Winter

版画／33.1×50.6(紙寸)／1908-16年
「Takeo Terasaki」(画面右下)
寄贈 3000046153



て004-006

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

〔黄帆船図〕
〔Yellow Sailing Ship〕

着色(パステル)・絹本／53.0×43.1(画布寸)
／1920年代
「TAKEO TERASAKI」(画面左下)、印(寺崎)
(画面右下)
寄贈 3000046154



て004-007

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

〔ゴンドラの岸〕
〔Bank of Gondola〕

水彩、パステル・紙／52.0×33.0(紙寸)／
1920年代
印(画面右下)
寄贈 3000046155



て004-008

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

ティエポロ「クレオパトラの饗宴」模写
Copy after "The Banquet of Cleopatra"
by Tiepolo

油彩・画布／70.3×38.3(画布寸)／1908-16年
寄贈 3000046156



て004-009

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

〔天正遣欧使節団 法王の謁見(下絵)〕
〔Study of "Tensho's Last European
Mission Audience with Pope"〕

パステル・紙／40.4×62.9〔49.9×65.0(紙寸)〕
／1951-56年頃
寄贈 3000046157



て004-010

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

〔天正遣欧使節団 ヴァティカン広場歓迎
(下絵)〕
〔Study of "Tensho's Last European
Mission Welcome at Vatican Square"〕

テンペラ・紙／36.5×62.9〔50.0×65.0(紙寸)〕
／1951-56年頃
寄贈 3000046158



て004-011

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

〔天正遣欧使節団〕
〔Study of "Tensho's Last European
Mission"〕

着彩(水彩、パステル)・紙／58.6×42.6(紙寸)
〔61.5×45.5(台紙寸)〕／1951-56年頃
寄贈 3000046159



て004-012

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

〔磔刑〕
〔Crucifixion〕

テンペラ・紙／59.1×42.8(紙寸)〔58.7×42.5
(台紙寸)〕／不詳
寄贈 3000046160



て004-013

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

〔グロリア〕
〔Gloria〕

テンペラ、墨・紙／42.2×52.0(紙寸)／不詳
寄贈 3000046161



て004-014

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

巴里
Paris

コンテ・紙／9.0×13.7(紙寸)／1910-20年
「T. T.」(画面左下)
寄贈 3000046162



て004-015

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

〔ヴェニス サンマルコ寺院〕
〔St Mark's Basilica in Venice〕

パステル・紙／43.5×28.8／1908-16年
「Takeo Terasaki」(画面左下)
寄贈 3000046163



て004-016

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

〔イタリア風景〕
〔Landscape of Italy〕

パステル・紙／32.5×23.4〔34.5×25.5(紙寸)〕／1908-16年
寄贈 3000046164



て004-017

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

〔ヴェニス風景〕
〔Landscape of Venice〕

パステル・紙／28.7×45.3(31.5×48.0(紙寸))／1908-16年
「Takeo Terasaki」(画面右下)
寄贈 3000046165



て004-018

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

〔窓からの眺め〕
〔View from the Window〕

パステル・紙／48.2×31.1／1908-16年
「Takeo Terasaki」(画面左下)
寄贈 3000046166



て004-019-(1)

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

寺崎武男資料一式[3点]の内
(1)〔鳥〕
A set of TERASAKI Takeo's Materials
〔Bird〕

水彩・紙／52.9×43.5／1910年
寄贈 3000046167-(1)



て004-019-(2)

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

寺崎武男資料一式[3点]の内
(2)〔ローマ市寄贈の碑〕
A set of TERASAKI Takeo's Materials
〔Column Donated by the City of Rome〕

水彩・紙／77.8×56.0／1928年
寄贈 3000046167-(2)



て004-019-(3)

寺崎武男 1883-1967
TERASAKI, Takeo

寺崎武男資料一式[3点]の内
(3)〔ヴェロネーゼ「レヴィ家の饗宴」模写〕
A set of TERASAKI Takeo's Materials
〔Copy after "The Feast in the House of Levi"
by VERONESE〕

油彩・キャンバス／85.5×170.5／不詳
寄贈 3000046167-(3)



と003-001

都鳥英喜 1873-1943
TOTORI, Eiki

ヴィラローズパリ宿舍
Villa Rose; Boarding House in Paris

油彩・キャンバス／72.2×61.3／1920年
寄贈 3000046212



と003-002

都鳥英喜 1873-1943
TOTORI, Eiki

巴里郊外(Reims)
Suburbs of Paris (Reims)

油彩・板／23.8×32.7／1919年
「SOISSON: FRANCE E. Totori 1919」(画面右下)
寄贈 3000046213



と003-003

都鳥英喜 1873-1943
TOTORI, Eiki

巴里郊外中ノ島のポプラ
Poplar Trees on Towhead in Suburbs
of Paris

油彩・板／32.9×24.3／1919年
寄贈 3000046214



と003-004

都鳥英喜 1873-1943
TOTORI, Eiki

巴里河畔上流(モンティニー)
Upstream Riverside of Paris (Montigny)

油彩・板／23.8×32.8／1919年
寄贈 3000046216



と003-005

都鳥英喜 1873-1943
TOTORI, Eiki

花
Flowers

油彩・キャンバス／45.4×38.0／不詳
寄贈 3000046215



ま001-002

松田文雄 1908-1971
MATSUDA, Fumio

早春の庭
Garden in Early Spring

油彩・キャンバス／33.5×24.5／1967年
「Fumio. M」(画面右下)
寄贈 3000046211



や010-003

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

山下峯子
Portrait of YAMASHITA Mineko

油彩・キャンバス／24.0×19.2／1926年
「大正十五年夏於熱海寫山下峯子當四歳」
寄贈 3000046191



や010-004

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

〔峯子像〕
〔Portrait of Mineko〕

油彩・キャンバス／18.5×13.8／不詳
「Yamas.」(画面右下)
寄贈 3000046192



や010-005

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

山下みね像
Portrait of YAMASHITA Mine

油彩・キャンバス／23.8×19.3／1926年
寄贈 3000046193



や010-006

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

峯子
Portrait of Mineko

水彩、鉛筆・紙／15.8×13.8／1924年
「峯子」(画面右上)、「Le Fevrie 1924 S.Yamas.」
(画面右下)
寄贈 3000046194



や010-007

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

〔峯子像〕
〔Portrait of Mineko〕

油彩・キャンバス／22.7×18.0／1942年
「Yamas.」(画面右上)
寄贈 3000046195



や010-008

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

〔峯子像〕
〔Portrait of Mineko〕

油彩・キャンバス／24.4×19.2／1942年
「Yamas.」(画面右上)、木梓書込「昭和十七年
六月寫山下新太郎」
寄贈 3000046196



や010-009

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

〔峯子像〕
〔Portrait of Mineko〕

水彩、パステル・紙／27.2×24.2(紙寸)／不詳
「1929 Yamas.」(画面左下)、「みね子」(画面左上)
寄贈 3000046197



や010-010

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

あみもの
Knitting

水彩・鉛筆・紙／13.6×9.4(窓寸)／1946年
「昭和二十一年十一月 Yamas.」(本紙右下)、
「昭和廿一年十一月八日」(台紙右下)
寄贈 3000046198



や 010-011

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

読書
Reading

油彩・キャンバス／27.2×19.0[33.7×24.4
(キャンバス寸)]／1955年
寄贈 3000046199



や010-012

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

海棠
Cherry Apples

油彩・キャンバス／23.7×19.0／不詳
「Yamas.」(画面左上)
寄贈 3000046200



や010-013

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

軍艦山城
Warship Yamashiro

油彩・ボード／17.9×14.2／1939年
「Yamashiro Le 9 juin 1939 Yamas.」(画面左下)
寄贈 3000046201



や010-014

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

伊太利フロランスにて 東方雲の遠山を望む
Overlooking the Distant Mountains and
Clouds in the Eastern Sky in Florence, Italy

油彩・板／15.0×22.0／1909年
「S.yamas.」(画面右下)
寄贈 3000046202



や010-015

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

十九世紀佛蘭西畫家 模写
Copy after the Work by French Painter
of the 19th Century

油彩・板／13.2×19.4／1930年
「十九世紀仏蘭西畫家本作昭和五年春孟春
山下新太郎模」(裏面書込)
寄贈 3000046203



や010-016

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

渡邊夫人の像
Portrait of Mrs. WATANABE

油彩・キャンバス／43.8×34.5／1947年
「Yamas.」(画面左上)
寄贈 3000046204



や010-017

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

〔椿〕
〔Camellias〕

岩絵具・紙／38.7×27.7／不詳
「四月二十五日 印(新太郎)」(画面左下)
寄贈 3000046205



や010-018

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

小春麗日
Beautiful Indian Summer Day

岩絵具・墨・紙／38.8×41.7／不詳
「画題小春麗日 山下新太郎筆」(画面左)、
印(山下新太郎)(画面左下)
寄贈 3000046206



や010-019

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

私の庭のバラ
Roses in My Garden

水彩、鉛筆・紙／35.4×26.6／1939年
「Roses dans mon Jardin S.Yamas. Le 31
mai 1939」(画面左下)
寄贈 3000046207



や010-020

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

ブルガリア女流画家 アネタ・ホジナ嬢
Bulgarian Female Painter

素描・紙／21.2×18.2／不詳
「S.Y.」(画面左上)
寄贈 3000046208



や010-021

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

ヨハナ
Johanna

コンテ、鉛筆・紙／8.0×6.9／1911年
「Johanna S.Y.1911」(画面左上)
寄贈 3000046209



や010-022

山下新太郎 1881-1966
YAMASHITA, Shintaro

ゲインズバラ「婦人像」模写
Copy after "Portrait of a Lady" by
Gainsborough

油彩・板／55.2×46.0／不詳
寄贈 3000046210



よ004-001

吉村弘 1940-2003
YOSHIMURA, Hiroshi

サウンド・オブジェ等資料一式[537点]
A Set of Materials i. e. Sound Objects

紙・金属・プラスチック／1980-90年代
寄贈 3000046232

IV 作品等貸出

※展覧会の開催初日順に掲載し、掲載年度は展覧会の開催年度によるものとする。

【平成30(2018)年度】

●作品貸出 合計点数 86点

1. 中村研一「モレー風景」

展覧会名： 没後50年 中村研一展
貸出先： 新居浜市美術館、福岡県立美術館(平成29(2017)年度に貸出済)
会期： [新居浜] 平成30(2018)年4月28日～6月10日
貸出期間： 平成30(2018)年1月24日～6月20日

2. 阿部展也「作品1、WHITE SCRIPT (D)」/「SCRITTURA in BIANCO」

展覧会名： 阿部展也展 ―あくなき越境者―
貸出先： 新潟市美術館、埼玉県立近代美術館、広島市現代美術館(平成29(2017)年度に貸出済)
会期： [新潟] 平成30(2018)年6月23日～8月26日、[埼玉] 9月15日～11月4日
貸出期間： 平成30(2018)年3月13日～11月14日

3. 藤田嗣治「葉書(澤聖治宛)」(12点)/「動物群」/「赤毛の女」/「メキシコの少年」/「シャーマン氏像」/「人形を持った少女」/「小鳥と少女」/「接吻」/「静物(糸巻)」/「静物(インク壺)」/「立っている裸婦」/「横たわる裸婦」/「裸婦」/「裸婦と猫」/「帽子をかぶった少女」/「少年像」/「グッバイ・ニューヨーク」/「二匹の猫」/「書簡(フランク・シャーマン宛)」(28点)[合計便箋34枚]/「陶器「顔(8枚組皿)」/「エッフェル塔」/「アダムとイヴ」/「燭台女」/「猫とねずみ」(5点)/「キス・ミー」(顔)・(全身)(2点)/「円形テーブル」/「トランク(遺品)」/「ポスター『時代の証人の画家たち―青春』展」/「裸婦(キキ・ド・モンパルナス)」/「自画像」(ふ003-050)/「10人の子どもたち」

展覧会名： 没後50年 藤田嗣治 本のしごと 一文字を装う絵の世界
貸出先： ベルナール・ピュフェ美術館、東京富士美術館、西宮市大谷記念美術館
会期： [ピュフェ] 平成30(2018)年6月23日～10月30日[富士] 平成31(2019)年1月19日～3月24日
貸出期間： 平成29(2017)年12月16日～平成31(2019)年3月27日

4. 藤田嗣治「鶴」/「殉教者」

展覧会名： 没後50年 藤田嗣治展
貸出先： 東京都美術館、京都国立近代美術館
会期： [東京] 平成30(2018)年7月31日～10月8日、[京都] 10月19日～12月16日
貸出期間： 平成30(2018)年7月19日～12月22日

5. 白髪一雄「天機星智多星」

展覧会名： 没後10年 白髪一雄「水滸伝シリーズ」展
貸出先： 公益財団法人尼崎市文化振興財団(尼崎市総合文化センター 美術ホール)
会期： 平成30(2018)年11月10日～12月16日
貸出期間： 平成30(2018)年10月23日～12月25日

6. 矢崎千代二「ロンドン橋」/「マルセーユ」

展覧会名： 矢崎千代二 絵の旅
貸出先： 横須賀美術館
会期： 平成30(2018)年11月17日～12月24日
貸出期間： 平成30(2018)年11月6日～平成31(2019)年1月8日

7. 小川治平「普選の花」(東京バック原画)/「憤、この立憲政治」(東京バック原画)

展覧会名： Oh! マツリゴト 昭和・平成の日本のヒーロー&ピーポー
貸出先： 兵庫県立美術館
会期： 平成31(2019)年1月12日～3月17日
貸出期間： 平成30(2018)年12月15日～平成31(2019)年3月24日

8. 福沢一郎「大砲のある静物」

展覧会名： 福沢一郎展 このどうしようもない世界を笑いとばせ
貸出先： 東京国立近代美術館
会期： 平成31(2019)年3月12日～5月26日
貸出期間： 平成31(2019)年3月1日～5月30日

●資料貸出 合計点数 54点

1. 藤田嗣治関係図書資料23点

展覧会名： 没後50年 藤田嗣治 本のしごと 一文字を装う絵の世界

貸出先： ベルナール・ビュフェ美術館、東京富士美術館、西宮市大谷記念美術館

会期： [ビュフェ] 平成30(2018)年6月23日～10月30日[富士] 平成31(2019)年1月19日～3月24日

貸出期間： 平成29(2017)年12月16日～平成31(2019)年3月27日

2. 若山為三関係資料31点 若山為三宛書簡(ポストカード)27枚/『嫩草会展』画集 昭和5年(1930)1冊/若山為三個展案内ハガキ1枚/「若山為三氏作品展覧」1枚/「若山為三邦画会趣意」1枚

展覧会名： 美の新風 ～奈良と洋画～

貸出先： 奈良県立美術館

会期： 平成30(2018)年7月21日～9月17日

貸出期間： 平成30(2018)年7月5日～9月21日

【平成31/令和元(2019)年度】

●作品貸出 合計点数 14点

1. 藤田嗣治「カフェ・ラ・ロンド」/藤田嗣治「猫のいる自画像」/藤田嗣治「自画像」(ふ003-031)/藤田嗣治「自画像」(ふ003-050)

展覧会名： 絵を見るとき、あなたは何を見ているの？

貸出先： 栃木県立美術館

会期： 令和元(2019)年6月29日～8月25日

貸出期間： 令和元(2019)年6月20日～8月29日

2. 坂田一男「浴室の二人の女」

展覧会名： キュビズムと高橋節郎

貸出先： 安曇野高橋節郎記念美術館

会期： 令和元(2019)年7月13日～9月16日

貸出期間： 令和元(2019)年7月5日～9月25日

3. 石橋和訓「裸婦習作」/鹿子木孟郎「外国風景」/武内鶴之助「ロンドン郊外」/武内鶴之助「パトニーブリッジ」/武内鶴之助「虹のある風景」/武内鶴之助「稲妻」/山下新太郎「ゲインズバラ《夫人像》模写」

展覧会名： おかえりく美しき明治

貸出先： 府中市美術館

会期： 令和元(2019)年9月14日～12月1日

貸出期間： 令和元(2019)年9月6日～12月11日

4. 小堀四郎「モンシーニ老人」

展覧会名： 小堀四郎洋画展

貸出先： 松村外次郎記念庄川美術館

会期： 令和元(2019)年10月12日～11月10日

貸出期間： 令和元(2019)年10月7日～11月29日

5. 坂田一男「浴室の二人の女」

展覧会名： 坂田一男展

貸出先： 東京ステーションギャラリー、岡山県立美術館

会期： [東京] 令和元(2019)年12月7日～令和2(2020)年1月26日/[岡山] 令和2(2020)年2月18日～3月22日

貸出期間： 令和元(2019)年11月20日～令和2(2020)年4月15日

●資料貸出 合計点数 5点

1. 藤田嗣治関連書籍『モンパルナスの芸術家たち(Les Montparnos)』(ミシェル・ジョルジュ＝ミシェル著、1929年/ファスケル出版)

展覧会名： 絵を見るとき、あなたは何を見ているの？

貸出先： 栃木県立美術館

会期： 令和元(2019)年6月29日～8月25日

貸出期間： 令和元(2019)年6月20日～8月29日

2. 森田恒友関連画材より4点／ボード入れ／組み立て式椅子／オイル入れ(長方形)／オイル入れ(楕円形)

展覧会名： 森田恒友展

貸出先： 福島県立美術館、埼玉県立近代美術館

会期： [福島] 令和元(2019)年11月23日～令和2(2020)年1月29日／[埼玉] 令和2(2020)年2月1日～3月22日

貸出期間： 令和元(2019)年7月25日～令和2(2020)年4月15日

【令和2(2020)年度】

●作品貸出 合計点数 16点

1. 小林萬吾「西洋婦人」／瀧谷国四郎「ブルターニュ」／安井曾太郎「パリの公演」

展覧会名： 白馬のゆくえ 小林萬吾と日本洋画50年

貸出先： 香川県立ミュージアム、久留米市美術館、高梁市成羽美術館

会期： [香川] 令和2年4月11日～6月7日、[久留米] 令和2年6月20日～8月23日、[高梁] 令和2年9月5日～11月29日

貸出期間： 令和2年3月27日～12月8日

2. 高野三三男「ヴァイオリンのある静物(コンポジション)」／高野三三男「人形を持ったパリジェンヌ(アルルカンとコロンビーヌ)」／高野三三男「デコちゃん(高峰秀子)」／加山四郎「寺の小路」／大月源二「どうぞご心配なく」／大月源二「一寸こちらで一息」／大月源二「燃える支那」／大月源二「興亜会議」／青山襄「伝単 共産党圧迫民衆」

展覧会名： わが青春の上社会 一昭和を生きた洋画家たち

貸出先： 神戸市立小磯記念美術館、豊田市美術館

会期： [神戸] 令和2年10月3日～12月13日、[豊田] 令和3年1月5日～3月14日

貸出期間： 令和2年9月19日～令和3年3月26日

3. 藤田嗣治「メキシコの少年」／藤田嗣治「静物(糸巻)」

展覧会名： 藤田嗣治と彼が愛した布たち

貸出先： 福岡市美術館

会期： 令和2年10月17日～12月13日

貸出期間： 令和2年10月2日～12月24日

4. 高島野十郎「百合とヴァイオリン」／高島野十郎「牡丹花」

展覧会名： 生誕130年記念 高島野十郎

貸出先： 久留米市美術館、奈良県立美術館、高崎市美術館

会期： [久留米] 令和3年1月20日～4月4日、[奈良] 令和3年4月17日～5月30日、[高崎] 令和3年9月5日～11月7日

貸出期間： 令和3年1月9日～6月7日、令和3年8月26日～11月15日

●資料貸出 合計点数 0点

V 刊行物

(1) ミュージアムシート

目黒区美術館では、美術館活動の記録と広報を目的に、平成24(2013)年より「ミュージアムシート」を発行している。内容は、展覧会や教育普及活動の紹介、調査研究結果の公開などであり、執筆編集は原則的に職員が行い、外部の寄稿を依頼する場合もある。

【平成30(2018)年度】

- ・[020] 1987年に開館した目黒区美術館
- ・[021] フィンランド陶芸—芸術家たちのユートピア
- ・[022] 村上友晴—ひかり、降りそそぐ
- ・[023] めぐろの障がい者アート展の開催に向けて

【平成31/令和元(2019)年度】

- ・[024] 「太田喜二郎と藤井厚二—日本の光を追い求めた画家と建築家」展を終えて—太田喜二郎篇
- ・[025] 「太田喜二郎と藤井厚二—日本の光を追い求めた画家と建築家」展を終えて—藤井厚二篇
- ・[026] 特集展示 鈴木省三の絵画
- ・[027] 線の迷宮III—齋藤芽生とフローラの神殿

【令和2(2020)年度】

- ・[028] 2020年コロナ禍の目黒区美術館の記録
- ・[029] 視ることの楽しみ—画材と素材の引き出し博物館
- ・[030] 前田家コレクション展にみる日本の近代美術黎明期

(2) その他

- ・記録集 目黒区美術館2018ワークショップ夏 自然のモチーフで遊ぶ
サイズ: A4/31ページ
デザイン: 井手久美子、河野伊央(idograph)
発行: 平成30(2018)年10月31日

(3) 目黒区美術館年報

- ・平成27(2015)・28(2016)・29(2017)年度
サイズ: A4/96ページ
発行: 平成31(2019)年3月29日



30—[020]



30—[021]



30—[022]



30—[023]



31—[024]



31—[025]



31—[026]



31—[027]



2—[028]



2—[029]



2—[030]



2018ワークショップ記録集



目黒区美術館年報

VI 入館状況

【平成30(2018)年度】

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
没後50年 藤田嗣治 本のしごと 文字を装う絵の世界	30年4月14日～ 30年6月10日	50日間	10,834人	217人	A,B,C,E,L,W	
フィンランド陶芸 —芸術家たちのユートピア	30年7月14日～ 30年9月6日	47日間	10,211人	217人	A,B,C,E,L	
村上友晴 一ひかり、降りそそぐ	30年10月13日～ 30年12月6日	47日間	4,223人	90人	A,B,C,E,L	
めぐろの子どもたち展	31年1月19日～ 31年2月3日	14日間	10,499人	750人	A,B,C,E,L,W,G	
目黒区美術館コレクション展 コレク ションの〈現在〉—絵画・彫刻・版画	31年2月16日～ 31年3月24日	32日間	2,447人	76人	A,B,C,E,L	
合 計		190日間	38,214人	201人		

協力事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
区展(区民作品展)	30年9月19日～ 30年9月30日	11日間	3,211人	292人	A,B,C,E,L,W,G	

共催事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区書作家協会展	30年5月16日～ 30年5月20日	5日間	328人	66人	G	
目黒区美術家協会展	30年6月20日～ 30年6月24日	5日間	243人	49人	G	
目黒区美芸作家協会展	31年3月26日～ 31年3月31日	5日間	606人	121人	G	

注：A＝展示室A、B＝展示室B、C＝展示室C、E＝エントランスホール、L＝展示ロビー、W＝ワークショップ室、G＝区民ギャラリー

【平成31/令和元(2019)年度】

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
世紀末ウィーンのグラフィック ーデザインそして生活の刷新にむけて	31年4月13日～ 31年6月9日	50日間	13,348人	267人	A,B,C,E,L	
太田喜二郎と藤井厚二 日本の光を追い求めた画家と建築家	31年7月13日～ 31年9月8日	50日間	6,970人	139人	A,B,C,E,L	
めぐろの障がい者アート展 日々のごよび	31年8月7日～ 31年8月18日	11日間	975人	89人	G	
線の迷宮<ラビリンス>Ⅲ 齋藤芽生とフローラの神殿	元年10月12日～ 元年12月1日	44日間	5,263人	120人	A,B,C,E,L,W	10月12日は台風 19号による臨時 休館のため43日 間の実施
めぐろの子どもたち展	2年1月18日～ 2年2月2日	14日間	10,847人	775人	A,B,C,E,L,W,G	
目黒区美術館コレクション展 越境者たち Beyond the Borders	2年2月15日～ 2年3月22日	32日間	2,007人	63人	A,B,E,L	
同時開催:山下新太郎のファミリー ポートレート					C	
合 計		190日間	38,435人	202人		

協力事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
区展(区民作品展)	31年9月18日～ 31年9月29日	11日間	3,458人	314人	A,B,C,E,L,W,G	

共催事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区書作家協会展	31年5月15日～ 31年5月19日	5日間	352人	70人	G	
目黒区美術家協会展	31年6月19日～ 31年6月23日	5日間	350人	70人	G	
目黒区美芸作家協会展						新型コロナウイルスの 影響により中止

注: A=展示室A、B=展示室B、C=展示室C、E=エントランスホール、L=展示ロビー、W=ワークショップ室、G=区民ギャラリー

【令和2(2020)年度】

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
あそびひと 一人形と子どもの暮らし	2年6月20日～ 2年8月23日	56日間	3,042人	54人	A,B,C,L	
包む 一日本の伝統パッケージ						令和3年度に延期
目黒区美術館コレクション展 LIFE —コロナ禍を生きる私たちの命と暮らし	2年10月24日～ 2年11月29日	32日間	2,023人	63人	A,B,C,L	
障がいのあるアーティストによる作品展 日々のごよび 2020						令和3年度に延期
視ることの楽しみ —画材と素材の引き出し博物館	3年1月16日～ 3年1月31日	14日間	1,430人	102人	B,C,L	中止になった「めぐろの子どもたち展」の代替展
前田利為 春雨に真珠をみた人 —前田家の近代美術コレクション	3年2月13日～ 3年3月21日	32日間	4,075人	127人	A,B,C,L	
合 計		134日間	10,570人	79人		

協力事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
区展(区民作品展)						新型コロナウイルスの影響により中止

共催事業

展覧会名	会期	開催日数	入館者数		会場	備考
			総数	一日平均		
目黒区書作家協会展						新型コロナウイルスの影響により中止
目黒区美術家協会展						新型コロナウイルスの影響により中止
目黒区美芸作家協会展						新型コロナウイルスの影響により中止

注：A＝展示室A、B＝展示室B、C＝展示室C、E＝エントランスホール、L＝展示ロビー、W＝ワークショップ室、G＝区民ギャラリー

VII 区民ギャラリー

【平成30(2018)年度】

	展覧会名	貸出期間	日数	入場者
1	第53回目黒区文化祭 華茶道展	4/3 ~ 4/8	6	224
2	第20回ゆうの会・微彩会合同展覧会	4/10 ~ 4/15	6	639
3	第56回目黒区自主グループ作品展	4/17 ~ 4/22	6	413
4	墨雲会・水墨画の展示会	4/24 ~ 4/29	6	450
5	悠久の美 ~平成からのメッセージ~	4/24 ~ 4/29	6	250
6	新宅喜治・信子写真展 二人の旅 イタリア	5/2 ~ 5/6	5	501
7	目黒区書作家協会展	5/15 ~ 5/20	6	328
8	第14回サタディ・アート展	5/22 ~ 5/27	6	111
9	リヒト会 水彩画展	5/22 ~ 5/27	6	110
10	御嶽山噴火災害、あの日からの写真展	5/29 ~ 6/3	6	685
11	萌画会	5/29 ~ 6/3	6	531
12	山根秋郷	6/5 ~ 6/10	6	110
13	一樹会展	6/5 ~ 6/10	6	112
14	炎と筆の競演2018	6/12 ~ 6/17	6	108
15	日本アート教育振興会	6/12 ~ 6/17	6	487
16	目黒区美術家協会展	6/19 ~ 6/24	6	243
17	19+∞展	6/26 ~ 7/1	6	390
18	クラフトバンド作品展 2018	7/3 ~ 7/8	6	630
19	七月展	7/10 ~ 7/16	7	108
20	シボリコミュニティ東京展	7/18 ~ 7/22	5	126
21	大山直也展 "Focus"	7/18 ~ 7/22	5	120
22	天真書法塾支部教室	7/25 ~ 7/30	6	160
23	第28回勤労者美術展	7/24 ~ 7/29	6	178
24	JR東海生涯学習水墨画グループ展	8/7 ~ 8/12	6	203
25	CRAWL vol.16「図鑑」	8/14 ~ 8/19	6	400
26	ナツテン。(千葉工業大学・東京電機大学合同写真展)	8/21 ~ 8/26	6	125
27	第68回旧三商大写真展東京展	8/21 ~ 8/26	6	200
28	らゆう展	8/28 ~ 9/2	6	431
29	犬捨て山が終わるときー山梨県犬の多頭飼育現場の軌跡を伝える写真展	9/4 ~ 9/9	6	313
30	第16回水彩画合同展	9/4 ~ 9/9	6	268
31	区展	9/17 ~ 9/27	11	1,883
32	第3回望の会(西野正望教室展)	10/4 ~ 10/9	6	225
33	Visions Palette	10/4 ~ 10/9	6	462
34	2018グレートリープ選抜展	10/10 ~ 10/14	5	187
35	目黒イーゼル会作品展	10/16 ~ 10/21	6	200
36	第32回水曜会展	10/16 ~ 10/21	6	120
37	B&A美術展2018	10/23 ~ 10/28	6	679
38	第10回図エランド展	10/30 ~ 11/4	6	1,325
39	第2回絵楽展	11/6 ~ 11/4	6	200
40	第9回祐天寺アトリエ彩屋とサボリンカオリ展	11/6 ~ 11/11	6	143
41	第14回MOA美術館目黒区児童作品展	11/13 ~ 11/18	6	430
42	第55回ユネスコ美術展	11/20 ~ 11/25	6	282
43	立教大学書道研究会 第57回書道展	11/27 ~ 1/31	6	130
44	第11回 ATELIER EBI・omo 展 前期	12/4 ~ 12/9	6	850
45	第11回 ATELIER EBI・omo 展 後期	12/11 ~ 12/16	6	1,380
46	imaging -2018横浜美術大学助手展・	12/18 ~ 12/24	7	263
47	めぐろの子どもたち展	1/12 ~ 2/6	※	※
48	アトリエ・エビス画室 ゼミ展2019!	2/5 ~ 2/11	7	210
49	すべての出来事に意味があったとして 中国、台湾、日本の若手作者12人による写真展	2/5 ~ 2/11	7	175
50	東京総合写真専門学校	2/13 ~ 2/17	5	200
51	写真教室アルトフォーカス	2/19 ~ 2/24	6	236
52	山田弘和・デザインの軌跡 横浜美術大学教員退任記念展	2/19 ~ 2/24	6	213
53	日本写真芸術専門学校 I・II部 卒業作品展	2/26 ~ 3/3	6	300
54	第六十五回 国公立展	3/5 ~ 3/10	6	173
55	有象無象展 第6回	3/12 ~ 3/17	6	158
56	「墨雲会」水墨画の作品展	3/19 ~ 3/24	6	441
57	金工分岐	3/19 ~ 3/24	6	245
58	第24回美芸展	3/26 ~ 3/31	6	606
	合計	—	316	18,949

※「めぐろの子どもたち展」は本館の入場者数に含まれるため、ギャラリーの日数、入場者の合計にカウントしていない。

【平成31/令和元(2019)年度】

	展覧会名	貸出期間	日数	入場者
1	第54回目黒区文化祭 目黒区民の華道展・呈茶席	4/2 ～ 4/7	6	500
2	第21回ゆうの会・徹彩会合同展覧会	4/9 ～ 4/7	6	553
3	第54回目黒区文化祭 自主グループ作品展	4/16 ～ 4/21	6	412
4	第29回「だん」展	4/23 ～ 4/21	6	200
5	そこに存在したこと	4/23 ～ 4/28	6	52
6	目黒区書作家協会展	5/14 ～ 5/19	6	352
7	Visions Palette 展 vol.3	5/23 ～ 5/26	4	564
8	第37回萌画会展	5/28 ～ 6/2	6	406
9	第12回 リヒト会水彩画展	5/28 ～ 6/2	6	103
10	第3回 東雲会 ～日本画展～	6/4 ～ 6/9	6	315
11	第30回 一樹会展	6/4 ～ 6/9	6	210
12	第28回目黒イーゼル会展	6/11 ～ 6/16	6	200
13	目黒区美術家協会展	6/18 ～ 6/23	6	350
14	Abox Photo Academy 写真展 2019	6/25 ～ 6/30	6	279
15	七月展	7/2 ～ 7/7	6	100
16	20+∞(ムゲンダイ)展	7/9 ～ 7/15	7	390
17	JR東海生涯学習水墨画グループ展	7/17 ～ 7/21	5	230
18	現代のマンダラ展 ベンジャミン・クレーム	7/23 ～ 7/28	6	263
19	南京牛首山仏頂宮写真展示	7/30 ～ 8/4	6	520
20	めぐろの障がい者アート展 日々のよろこび	8/6 ～ 8/4	12	975
21	クラフトバンド作品展2019	8/20 ～ 8/25	6	650
22	第33回 らゆう展'19	8/27 ～ 9/1	6	300
23	第3回緑彩会展	9/3 ～ 9/8	6	291
24	水彩画合同展	9/3 ～ 9/8	6	200
25	第43回 区展(目黒区民作品展)	9/18 ～ 9/28	11	1,395
26	MEOTO ART EXHIBITION	10/1 ～ 10/6	6	121
27	JEARA 公式 Art Photo展 in 2019	10/8 ～ 10/14	7	410
28	第2回天真書法塾 支部教室発表会「歩」～継続は力なり～	10/16 ～ 10/20	5	130
29	グレートリープ 選抜3人展	10/16 ～ 10/20	5	210
30	望の会2019 ～西野正望とその教室展	10/22 ～ 10/27	6	252
31	第33回水耀会展	10/22 ～ 10/27	6	105
32	炎と筆の競演2019	11/6 ～ 11/10	5	89
33	第15回MOA美術館目黒区児童作品展	11/12 ～ 11/17	6	473
34	ゲッスイトリエンナーレ'19	11/19 ～ 11/24	6	500
35	第58回 雪道展	11/26 ～ 12/1	6	121
36	4AP展	11/26 ～ 12/1	6	150
37	B & A展 2019	12/3 ～ 12/8	6	600
38	第13回東京四大学連合同写真展	12/3 ～ 12/8	6	276
39	第53回駒澤大学書道部書展	12/10 ～ 12/15	6	120
40	第5回記念 菱川賞展	1/7 ～ 1/13	7	215
41	めぐろの子どもたち展	1/15 ～ 2/2	※	※
42	目黒稲門会 20周年記念会員作品展	2/4 ～ 2/9	6	255
43	遊美塾東京 写真展	2/4 ～ 2/9	6	413
44	いま生きているということ	2/11 ～ 2/16	6	375
45	はるてん。 そつてん	2/18 ～ 2/24	7	200
46	東京ガラス工芸研究所 卒業・修了制作展2020	2/18 ～ 2/24	7	229
47	【開催中止】 写真教室アルトフォーカス 第12回受講生作品展	2/26 ～ 3/1	5	0
48	東京学芸大学 日本画研究室 芳春展	2/26 ～ 3/1	5	61
49	【開催中止】 始展・力展・作姚展	3/3 ～ 3/8	6	0
50	2019年度 東京総合写真専門学校卒業制作展	3/10 ～ 3/15	6	186
51	第22回ゆうの会・徹彩会合同展覧会	3/17 ～ 3/22	6	300
52	【開催中止】 第25回美芸展	3/24 ～ 3/29	6	0
53	【開催中止】 第55回目黒区文化祭	3/31 ～ 4/5	6	0
	合計	—	350	15,682

※「めぐろの子どもたち展」は本館の入場者数に含まれるため、ギャラリーの日数、入場者の合計にカウントしていない。

【令和2(2020)年度】

	展覧会名	貸出期間	日数	入場者
1	【開催中止】 第6回 東京 アール・パレ展	4/7 ~ 4/12	6	0
2	【開催中止】 墨雲会・水墨画の展示会	4/7 ~ 4/12	6	0
3	【開催中止】 スーパーポンテンコラリーアート	4/16 ~ 4/19	4	0
4	【開催中止】 第54回目黒区文化祭	4/21 ~ 4/26	6	0
5	【開催中止】 高梨裕理展 「深淵の森一空」	4/28 ~ 5/6	9	0
6	【開催中止】 交龍会	5/2 ~ 5/6	5	0
7	【開催中止】 交龍会	5/8 ~ 5/10	3	0
8	【開催中止】 目黒区書作家協会展	5/12 ~ 5/17	6	0
9	【開催中止】 種房ひさ子回顧展	5/19 ~ 5/24	6	0
10	【開催中止】 第38回萌画会展	5/26 ~ 5/31	6	0
11	【開催中止】 第29回目黒イーゼル会展	5/26 ~ 5/31	6	0
12	【開催中止】 中野陽介 世界巡回絵画展「美の冒険」	6/2 ~ 6/7	6	0
13	【開催中止】 東雲会	6/9 ~ 6/14	6	0
14	【開催中止】 第30回 一樹会展	6/9 ~ 6/14	6	0
15	【開催中止】 目黒区美術家協会展	6/16 ~ 6/21	6	0
16	【開催中止】 図エランド	6/23 ~ 6/28	6	0
17	【開催中止】 大東文化大 書道学科	6/30 ~ 7/5	6	0
18	【開催中止】 大山直也	6/30 ~ 7/5	6	0
19	黄柏仁 企画展「犬ノート」	7/7 ~ 7/12	6	68
20	【開催中止】 七月展	7/7 ~ 7/12	6	0
21	山口善史 木彫展 ー集柱の型ー	7/14 ~ 7/19	6	80
22	【開催中止】 第30回目黒区勤労者美術展	7/14 ~ 7/19	6	0
23	【開催中止】 JR東海生涯学習水墨画グループ展	7/21 ~ 7/26	6	0
24	【開催中止】 20+∞(ムゲンダイ)展	7/28 ~ 8/2	6	0
25	【開催中止】 クラフトバンド作品展2019	8/4 ~ 8/10	7	0
26	【開催中止】 blank/black展 ※未利用	8/12 ~ 8/16	5	0
27	【開催中止】 CRAWL	8/18 ~ 8/23	6	0
28	【開催中止】 日本アート教育振興会	8/18 ~ 8/23	6	0
29	【開催中止】 第22回・のいちご・葉月展	8/18 ~ 8/23	6	0
30	沈黙	8/18 ~ 8/23	6	228
31	【開催中止】 中野陽介 世界巡回絵画展「美の冒険」	8/25 ~ 8/30	6	0
32	Object	9/1 ~ 9/6	6	140
33	【開催中止】 第44回 区展	9/16 ~ 9/26	11	0
34	【開催中止】 美術サークルだん	9/29 ~ 10/4	6	0
35	【開催中止】 水彩画合同展	9/29 ~ 10/4	6	0
36	中野陽介 世界巡回絵画展「美の冒険」	10/6 ~ 10/11	6	120
37	【開催中止】 らゆう会(天野政雄)	10/6 ~ 10/11	6	0
38	【開催中止】 第2回天真書法塾 支部教室発表会「歩」～継続は力なり～	10/13 ~ 10/18	6	0
39	【開催中止】 水耀会展	10/13 ~ 10/18	6	0
40	工大展	10/13 ~ 10/18	6	111
41	【開催中止】 マザーズキルト	10/20 ~ 10/25	6	0
42	墨刻大作展	10/27 ~ 11/1	6	319
43	美澄会 日本画展	11/3 ~ 11/8	6	238
44	【開催中止】 第15回MOA美術館目黒区児童作品展	11/10 ~ 11/15	6	0
45	写真教室アルトフォーカス 第12回受講生作品展	11/10 ~ 11/15	6	233
46	望の会2020 ～西野正望とその教室展	11/10 ~ 11/15	6	170
47	【開催中止】 ユネスコ美術展	11/17 ~ 11/23	7	0
48	体験 体感 元気な 個展	11/17 ~ 11/23	7	220
49	第38回 萌画会展	11/25 ~ 11/29	5	243
50	【開催中止】 立教大学書道研究会	11/25 ~ 11/30	6	0
51	【開催中止】 本田ゆうこ個展	11/25 ~ 11/30	6	0
52	第6回 東京アール・パレ展	12/1 ~ 12/6	6	40
53	【開催中止】 一樹会(クロッキーの会)	12/1 ~ 12/6	6	0
54	東京総合写真専門学校 写真芸術第一学科 進藤環ゼミ写真展	12/1 ~ 12/6	6	100
55	写真展『ひびき』	12/8 ~ 12/13	6	252
56	【開催中止】 四大学連合写真部	12/8 ~ 12/13	6	0
57	香港人は変幻自在展 友よ、水になれ	12/8 ~ 12/13	6	0
58	香港人は変幻自在展 友よ、水になれ	12/15 ~ 12/20	6	800
59	第12回 図エランド展	12/22 ~ 12/27	6	1,075
60	【開催中止】 めぐるの子どもたち展	1/15 ~ 2/7	24	0

	展覧会名	貸出期間	日数	入場者
61	第12回 ATELIER EBI・omo 展	1/26 ～ 1/31	6	820
62	【開催中止】 日本写真芸術専門学校 総合写真研究ゼミ2年生合同写真展	2/2 ～ 2/7	6	0
63	【開催中止】 emotion「私を選ぶ」展覧会	2/9 ～ 2/14	6	0
64	Abox Photo Academy 写真展2021	2/9 ～ 2/14	6	250
65	連枝書道會展	2/16 ～ 2/21	6	524
66	炎と筆の競演2020	2/23 ～ 2/28	6	83
67	【開催中止】 第67回国公立展	3/2 ～ 3/7	6	0
68	サロン・ド・フィナール展	3/9 ～ 3/14	6	171
69	フリー・()・フリー	3/9 ～ 3/14	6	161
70	第54回駒澤大学書道部書作展	3/16 ～ 3/21	6	78
71	東京ガラス工芸研究所 卒業制作展2021	3/16 ～ 3/21	6	193
72	【開催中止】 シェア・イン・インターナショナル・ネットワーク	3/23 ～ 3/28	6	0
73	【開催中止】 第24回美芸展	3/23 ～ 3/28	6	0
74	感情展「私に会おう」展覧会	3/23 ～ 3/28	6	250
	合計	—		6,967

※「めぐろの子どもたち展」は本館の入場者数に含まれるため、ギャラリーの日数、入場者の合計にカウントしていない。

VIII ボランティア

生涯学習の振興に向けてボランティア活動の重要性が指摘される中、地域においても美術館を通しての社会奉仕活動を希望する人々が多く存在するようになってきている。美術館としてもそのような要望に応え、また住民のニーズを把握し、美術・文化活動の地域への振興を図っていくためにボランティア活動を積極的に援助し、活用していく必要がある。

目黒区美術館では、昭和62年11月の開館時よりボランティアを受け入れ、現在はラウンジ(喫茶コーナー)の運営、ワークショップ、アウトリーチ、目黒区総合庁舎建築ガイドツアー、広報活動補助等を中心に幅広い活動が行われている。

1. ボランティア数 87名 令和3(2021)年3月31日現在

2. 活動内容

(1) ラウンジ運営 ーラウンジ営業部

活動時間：展覧会会期中の12:30～16:30

(ラウンジの営業時間は、13:00～16:00)

当番：原則として毎日2名

※令和2(2020)年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で「目黒区美術館コレクション展 LIFE ーコロナ禍を生きる私たちの命と暮らし」展(32日間)のみの活動となった。

(2) ワークショップ活動 ー学芸部トイコレクション班

※詳細は、教育普及の項参照(P.65、67、69)

【平成30(2018)年度】

① ワークショップ夏「自然のモチーフで遊ぶ」

ファミリーワークショップ 土のえのぐであそぼう！ーみんなの森をかこう

開催日：8月11日(土・祝)、12日(日)／参加者：11組(24名)

② トイの日 いっしょにあそぼうみきであそぼう

開催日：2月17日(日)、23日(土)／参加者：延べ118名

【平成31/令和元(2019)年度】

① ワークショップ夏「建築教室 ー光と遊ぶ」

ファミリーワークショップ トイでつくる光と影の街

開催日：8月10日(土)、11日(日)／参加者：15組(30名)

② トイの日 いっしょにあそぼうみきであそぼう

開催日：令和2(2020)年2月16日(日)／参加者：延べ56名

※令和2(2020)年2月22日(土)実施予定の回は、新型コロナウイルス感染拡大により中止

【令和2(2020)年度】

① 動画「トイコレクションボランティアチーム トイの日編」

制作：トイコレクション ボランティア チーム(TVT)／配信日：2月18日(木)～

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、対面でのプログラムは中止した。替わって、これまでのトイの日の活動を紹介する動画を制作し、Youtubeにアップし、当館ホームページから視聴できるようにした。

(3) アウトリーチ活動(出張美術館) ー学芸部トイコレクション班

※詳細は、教育普及の項参照(p.69)

【平成30(2018)年度】

① つみ木でカラフルランドをつくろう！

進行：トイコレクション ボランティア チーム(TVT)／開催日：5月26日(土)／場所：目黒区民センター児童館／参加者：53名

② トイでつくる美しい湖と森

進行：トイコレクション ボランティア チーム(TVT)／開催日：11月24日(土)／場所：目黒区民センター児童館／参加者：56名

【平成31/令和元(2019)年度】

① 雲の上に虹をかけよう

進行：トイコレクション ボランティア チーム(TVT)／開催日：5月25日(土)／場所：目黒区民センター児童館／参加者：71名

② 窓からのぞく積み木の世界

進行：トイコレクション ボランティア チーム(TVT)／開催日：11月16日(土)／場所：目黒区民センター児童館／参加者：49名

【令和2(2020)年度】

① 動画「トイコレクション ボランティア チーム アウトリーチ編」

制作：トイコレクション ボランティア チーム(TVT)／配信日：令和3(2021)年1月7日(木)～

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、対面でのプログラムは中止した。替わって、これまでのアウトリーチの活動を紹介する動画を制作し、Youtubeにアップし、当館ホームページから視聴できるようにした。

- (4) 目黒区総合庁舎ガイドツアー ―学芸部建築班
*詳細は、教育普及の項参照(p.70)

【平成30(2018)年度】	開催日	4月20日	4月28日	5月20日	6月1日
	参加者	78名	92名	84名	90名
【平成31/令和2(2019)年度】	開催日	4月19日	5月1日	5月19日	5月31日
	参加者	68名	90名	80名	76名
【令和2(2020)年度】	新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止				

- (5) 学芸資料、図書整理作業 ―学芸部学芸班
【平成30(2018)年度・平成31/令和元(2019)年度・令和2(2020)年度】
毎月2回程度書庫整理／1名

- (6) チラシなどの発送作業 ―広報部
【平成30(2018)年度】
「フィンランド陶芸 ―芸術家たちのユートピア」展ほか、ポスター・チラシ等発送作業 3回
【平成31/令和元(2019)年度】
「太田喜二郎と藤井厚二 日本の光を追い求めた画家と建築家」展ほか、ポスター・チラシ等発送作業 3回
【令和2(2020)年度】
新型コロナウイルス感染拡大の影響で作業は行わなかった。

- (7) バスツアー
【平成30(2018)年度】
開催日：9月14日(金)／場所：公益財団法人 遠山記念館、さいたま市大宮盆栽美術館／参加者：57名
【平成31/令和元(2019)年度】
開催日：12月5日(木)／場所：DIC川村記念美術館、国立歴史民俗博物館／参加者：38名
【令和2(2020)年度】
新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止

- (8) その他
曜日別見学会、総会実施

IX 博物館実習

学芸員資格取得単位修得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多くあることから、平成8年度を初年度としてこれを受け入れている。実習期間、実習内容等については、担当学芸員との面接により決定する。
(提出書類)履歴書、アンケート、学長からの依頼書等。

- 【平成30(2018)年度】 12名
東洋英和女学院2名、お茶の水女子大学、桜美林大学、女子美術大学、清泉女子大学、専修大学、多摩美術大学、法政大学、明治学院大学、和光大学、東京女子大学大学院 各1名
【平成31/令和元(2019)年度】 14名
東京造形大学4名、お茶の水女子大学2名、青山学院大学、多摩美術大学、東京情報大学、東京農業大学、日本女子大学、法政大学、和光大学、和洋女子大学 各1名
【令和2(2020)年度】 10名
多摩美術大学2名、武蔵野美術大学2名、青山学院大学、東京都立大学大学院、尚美学園大学、昭和女子大学、専修大学、東京造形大学 各1名

X 名簿

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団 評議員・理事・監事名簿

(令和3年6月21日現在)

評議員

	役職	氏名	備考
1	評議員(議長)	あら い あつみ 新井 篤美	早稲田大学招聘研究員
2	評議員	いとう まさあき 伊藤 昌明	目黒信用金庫理事相談役
3	〃	かしわや ひでお 柏谷 秀男	弁護士
4	〃	しおた じゅんいち 塩田 純一	多摩美術大学客員教授
5	〃	いのうえ ゆかこ 井上 裕佳子	音楽関係通訳・翻訳家
6	〃	きだ まわこ 木田 左和子	ピアニスト・昭和女子大学非常勤講師
7	〃	はこもり あいいち 箱守 栄一	美術品リスクコンサルタント
8	〃	はしもと やすお 橋本 安男	目黒区民交響楽団副団長
9	〃	のじま あゆむ 野島 稔	東京音楽大学学長
10	〃	みやまこ まさあき 宮廻 正明	東京藝術大学名誉教授
11	〃	うへだ けんじ 植田 健二	目黒吹奏楽団団長

(以上11名)

理事

	役職	氏名	備考
1	理事長	しみず みちお 清水 美知雄	ワッティー株式会社代表取締役
2	副理事長	やました なおずみ 山下 直純	山下寝具株式会社社長
3	常務理事	あきまる としひこ 秋丸 俊彦	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事務局長 パーシモンホール館長
4	理事	えんどう ゆきこ 遠藤 幸子	弁護士
5	〃	たなか はるひさ 田中 晴久	平和祈念展示資料館学芸員
6	〃	あきやま てるふみ 秋山 光文	目黒区美術館館長
7	〃	なかや えきこ 中屋 早紀子	声楽家・桐朋学園芸術短期大学音楽科講師
8	〃	わたべ ひろし 渡部 弘	行政経験者
9	〃	あきおか よう 秋岡 陽	フェリス女学院大学名誉教授

(以上9名)

監事

	役職	氏名	備考
1	監事	よこ 直樹 余語 直樹	税理士
2	〃	よこた としふみ 横田 俊文	行政経験者

(以上2名)

XI 施設

●工事概要

建築

所在地：東京都目黒区目黒二丁目4番36号
 地域・地区：住居地域・準防火地域・第3種高度地区
 敷地面積：2,033.53㎡
 建ぺい率：66.45%
 容積率：199.61%
 構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造
 地上3階・地下1階
 建物高さ：17.89m
 延床面積：4,059.21㎡

構造

主体構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
 その他：外壁花崗岩貼りジェットパーナー仕上げ(乾式工法)
 工期：着工昭和60年12月2日
 竣工昭和62年3月31日
 設計・監理：株式会社日本設計事務所
 建築：株式会社竹中工務店東京本店
 空調設備：株式会社朝日工業社本店
 衛生設備：足立工業株式会社東京支店
 電気設備：中国電気工事株式会社東京支店
 昇降機設備：横浜エレベーター株式会社

●面積表

展示・教育普及

展示室A：319.10㎡
 展示室B：170.46㎡
 展示室C：65.80㎡
 展示ロビー：44.80㎡
 ワークショップ：148.47㎡
 廊下・階段・その他：203.17㎡
 小計：951.8㎡

区民ギャラリー

区民ギャラリー：379.53㎡
 控室：14.5㎡
 区民ギャラリーエントランス・階段・その他：198.82㎡
 小計：592.85㎡

研究調査

資料室：102.79㎡
 修復室：46.09㎡
 小計：148.88㎡

收藏

收藏庫A：408.36㎡
 收藏庫B：53.85㎡
 前室：48.53㎡
 荷解室：62.58㎡
 搬出入口：56.57㎡
 展示用具室：73.40㎡
 エレベーター・倉庫・その他：229.63㎡
 小計：932.92㎡

管理

事務室：58.05㎡
 館長室：32.47㎡
 理事長室：24.58㎡
 中央管理室：20.64㎡
 休養室：24.29㎡
 ワークショップ準備室：31.36㎡
 映像準備室：14.40㎡
 廊下・階段・その他：178.18㎡
 小計：383.97㎡

ホール等

エントランス：169.85㎡
 ラウンジ：55.84㎡
 ベビーコーナー：5.27㎡
 廊下・その他：343.58㎡
 小計：574.54㎡

機械室等

機械室：277.14㎡
 電気室：67.59㎡
 エレベーター機械室・自家発電電気室・その他：129.52㎡
 小計：474.25㎡

合計：4,059.21㎡

XII 沿革

昭和45年	長期計画基本構想で「芸術文化の振興の拠点として総合文化施設の設置」を決定	昭和60年3月	目黒区美術館(仮称)実施設計策定
昭和54年7月	長期計画実施計画で「美術館の設置」を決定	6月	目黒区美術館開設準備委員・臨時委員設置
12月	美術館開設準備室設置	8月	目黒区美術館開設準備顧問就任 目黒区美術館マーク制作
昭和55年3月	目黒区美術博物館建設検討委員会設置	11月	「プレビュー・目黒区美術館」展開催 (11/12 - 11/17)
4月	「東京都目黒区博物館資料取得基金条例」施行	12月	目黒区美術館(仮称)新築工事起工式(12/12)
昭和56年1月	目黒区美術博物館建設検討委員会答申「目黒区が建設する美術博物館の基本構想のあり方について」	昭和61年7月	美術館管理運営の財団委託方針決定
3月	目黒区美術博物館建設専門委員設置	9月	「プレビュー・目黒区美術館2」展開催 (9/9 - 9/15)
4月	目黒区美術博物館(仮称)設置の方針策定	12月	目黒区美術館(仮称)新築工事定礎式(12/5)
11月	目黒区立美術館(仮称)資料収集委員会要綱を制定	昭和62年3月	「目黒区美術館条例」公布
昭和57年2月	博物館併設構想から美術館単独構想へ変更	4月	目黒区美術館新築工事落成式(4/14)
3月	第一回資料収集委員会開催一資料収集を開始	10月	財団法人目黒区芸術文化振興財団設立(10/1)
10月	区制施行50周年記念事業に位置づけ	11月	目黒区美術館開館(11/15)
昭和59年2月	目黒区美術館(仮称)基本構想策定 (58年6月策定開始)	平成23年4月	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団認可 (4/1)
10月	目黒区美術館(仮称)基本設計策定		

XIII 案内

観覧時間:午前10時—午後6時

(ただし入館は午後5時30分まで)

休 館 日:月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)

年末年始

観 覧 料:展覧会ごとにその都度定める



交通案内:

●JR山手線目黒駅(西口)、東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線 目黒駅より徒歩10分

●バス、渋谷駅より東急 渋谷41—大井町駅行、田道小学校入口 下車3分

目黒駅より東急

黒01—大岡山小学校行

黒02—二子玉川駅行

黒06—三軒茶屋駅行

黒07—弦巻営業所行

東98—等々力操車所行

権之助坂下車
下車5分

目黒区美術館年報 平成30(2018)・31/令和元(2019)・2(2020)年度

令和4(2022)年3月15日発行

編集・発行 一 (公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館

〒153-0063 東京都目黒区目黒2-4-36

TEL. 03-3714-1201(代)

